ISBN4-88846-047-7 C3087 ¥2800E

定価：本体2800円(税別)



ロシア語通訳コミュニケーション教本

会話からスピーチ・交渉へ

徳永晴美著

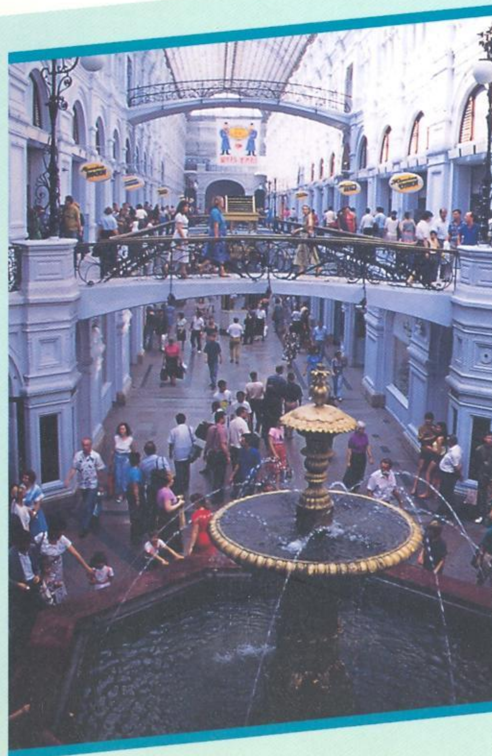
ナウカ

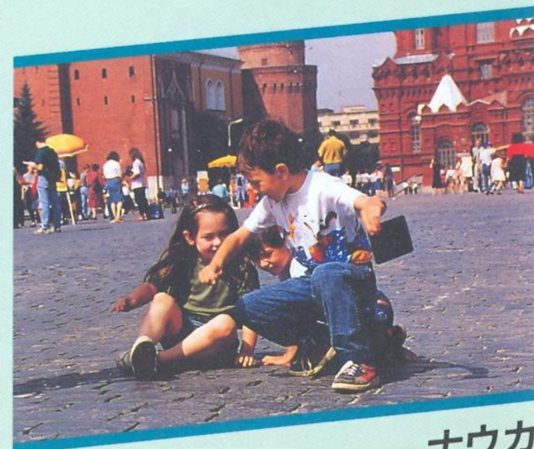


徳永晴美 著

ロシア語通訳
コミュニケーション教本

会話からスピーチ・交渉へ





ナウカ

ロシア語通訳コミュニケーション教本

会話からスピーチ・交渉へ

徳永晴美 著



ナウカ

まえがき

政治、経済、歴史……どこを覗いてみてもロシアは実におもしろい顔を見せてくれる。まさに劇場国家。この隣国はいま、巨大な大国として甦るために懊悩と試行錯誤を続けていますが、いつかは必ず、我が国にとって頼もしい長期・戦略的なパートナーとなるに違いありません。また、ソ連崩壊後、旧ソ連から独立した諸国家の一部ではロシア離れの傾向が見られるとはいえ、それら諸国民へのロシア文化の影響力が一挙に衰退するわけでもありません。ロシア語はいまだに重要な言語の１つです。

通訳者としても知られる青山学院大学の村田真一助教授も、『21世紀の国際コミュニケーション』[1]の中で、「使い捨てを好まず、あるもので工夫して楽しむ術を知っているロシアの生活様式には、21世紀を目前に控えたいま、学ぶべきものが多く含まれているし、生活の楽しみ方や人とのつき合いをとっても、コード化され、商品化されたイベントにどっぷり漬かっている人びとが着目すべき材料はそのなかにいくらでもみつかる」と指摘して、ロシアの言語と文化を学ぶ積極的意義を説いています。

しかし我が国では、初級を終えた人たちのためのロシア語参考書がまだ足りません。相対的に種類が豊富だった入門書でさえも、ソ連崩壊後、一部その内容が色あせたために、書き換えが急がれているのが現状でしょう。20年以上も前に出した共著『ロシア語通訳読本』(日本放送出版協会[2]) もその運命を免れませんでした。こうした条件の下、1999年に本書の執筆を計画し、細切れな時間を盗んでは書き進めてまいりましたが、気がつくと、作業は20世紀末から21世紀初頭をまたぐものとなっていました。

モスクワでの５年間の大学生活を終えて帰国したのは1970年でしたが、当時、会議通訳を引き受けても、ロシア語の会議用語の本は皆無で、ようやく英語の参考書が出始めたばかり。すべては実践現場で学ぶしかなく、長いあいだ手探り状態でした。しかも、ロシアでは日本のことを説明するロシア語は教わりませんでした。省略の多い、従って外国語に訳しづらい

---

1) 本名信行・狩野良規 編、International Communication in the 21st Century — 言語・文化論の研究課題と教育方法、1999年、三省堂、187ページ。
2) 1994年、ロシア語通訳協会が復刻版を発行。

日本語の本質にも泣かされました。駆け出しの通訳時代に、「意見は平行線だ」と言うから «параллельное мнение» と露訳したところ、このロシア語が意味するのは「同様な意見」であることから、またまたかみ合わない議論に発展してしまい、赤恥をかいたこともありました。

ある先輩の通訳・翻訳者から、「いくら変な文だろうと、原文にない単語は補わずに、そのまま忠実に訳すほかないねぇ」と言われて、「このアドバイスは何か変だ」と考え込んでしまったこともあります。

そうこうする内に、1990年末、それまでの会議やテレビニュースなどの通訳者から新聞記者、モスクワ特派員へと突然の転身をはかり、ソ連崩壊から今日までの独立国家共同体（СНГ）諸国を、ロシア語および通訳時代に獲得したメモのコツを使って取材し、各地の戦場に何度も入りました。

本書はいわばこうした実践から立ち上がってきたもので、フィールドワークの際中に手書きで蓄えたノートが主体を成しています。これを世に出すのは少しでも後続の方々の時間節約に役立てばと思うからです。

『ロシア語通訳コミュニケーション教本』としたのは、ロシア語を学ぶ人がいつか通訳をする機会に遭遇することも大いにあり得るからです。また、自分で丁々発止する時にも、内面にある日本語を「通訳」するのに近いプロセスがあるからです。「江戸のかたきを長崎で討つ」という表現をロシア語に直訳して言えないとき、どうすればよいのか。これは表現・会話能力の問題であると同時に、通訳・翻訳の問題でもあります。そこで、通訳・コミュニケーションをする方々に、こうしたことを踏まえておくとどこかで役に立つであろう、と思われるものを盛り込みました。

内容は十分ではないかもしれません。取り上げたテーマや範囲も全てを網羅しているとはとても申せませんが、第1部「通訳コミュニケーションの実践から理論へ」では、逐次通訳法および内なる日本語を論理化して整然たるモノローグを編む方法を中心にとりあげます。第2部では、スピーチならびに会議・交渉での汎用表現をまとめるとともに、よく使われる挿入表現や会話の合いの手、電話のエチケット表現も若干記述します。

「実務の補助用語」とした第3部は、エスコートガイドに役立つロシア語での日程表記例や、移動・案内に必要な表現を整理。名称が変更された我が国の省庁などのロシア語表記も、仮訳を含めて掲載しています。日本列島の概要や歴史の一こまの説明、和食・料理に出てくる食物名なども補足

に入れました。さらに、企業訪問時に出てくる肩書きや部課の名称ならびに、きわめて不十分ですが、話題になりそうな景気や会社事情に関する言葉を中心に拾ってみました。本編の最後では、大方が苦手とする数にまつわる文法・表現の補足説明を試みます。

中には旧ソ連に関連する資料も若干含まれますが、崩壊したとはいえ、ソ連についての表現をすべて無視するのは «нонсенс»。歴史を語る場面は至る所であり、ユニークだったソ連時代と現在を比較する回顧的なお話は、近い将来も実体験者たちの口を通じて出ることでしょう。終身雇用など日本の事物現象を「古い」でかたづけるのも乱暴というものです。

本書の執筆にあたっては、折に触れ収集してきた多数の資料や参考書（その主なものは巻末に紹介）を使用したほか、大勢のかたのご協力をいただきました。パソコンによる原稿インプット、版下作成の膨大な作業過程では、プロムテック社の久力美保子、村松次郎の両氏のご助力を得たほか、同社の小久保洋子社長からは強力なモラルサポートを頂きました。原稿入力に関するテクニカルなアドバイスをくださった益不二夫、具体的な和露翻訳・通訳の問題について相談にのってくださったロシア国営ノーボスチ通信社東京支局長の **А. Ильяшенко**、日本語校閲を快く引き受けてくださった翻訳者の田邊美奈子、杉山由美子、実に細かいロシア語のネィティヴ・チェックをしてくださった東京大学、青山学院大学講師の **А. Рахубо** の諸氏、ならびにロシア語通訳協会の仲間たちに深く感謝申し上げます。

また、前掲共著の執筆の際に貴重な資料を提供してくださった長島七穂、**П. Тумаркин** 両氏、そしてなかんずく、本書の執筆にあたり、腰の重い筆者の背中をつつき、さらには支えてくださった同前掲共著の執筆者である宇多文雄・上智大学教授にはお礼のことばも見つからないほどです。末筆ながら、出版のリスクをものともせずにゴーサインを出して下さったナウカ社、とりわけ本書が光を見るために物心両面での援助ならびに助言を惜しみなくくださった同社のアイデアウーマン宮本立江氏に心からの謝意を表明させていただきます。

2001年4月

徳 永 晴 美

目　次

第2部　コミュニケーションの現場の用語・表現

第3部　実務の補助用語・表現

装幀　志賀紀子

カバー写真提供　表：上　共同通信社
下左　㈱ユーラスツアーズ
下右　河野　弘
裏：　花井　尊

第1部

通訳コミュニケーションの実践から理論へ

Ⅰ. 通訳・異文化コミュニケーションの現場から
Ⅱ. 逐次通訳の諸プロセスと訓練
Ⅲ. 会話からスピーチへ—モノローグの構成技法

I. 通訳・異文化コミュニケーションの現場から

2000年9月5日。都内赤坂の迎賓館。ロシアのプーチン大統領が初の公式訪日を終えて記者会見に臨み、筆者も取材で同席しました。

席上プーチン氏は、「2000年までに平和条約締結のために全力を尽くす」という約束は守っている、今もそのための条件づくりに全力を捧げている最中だ。しかし、全力を尽くす約束はしたが、「2000年内に条約を締結する」という義務は負っていない[1]。きちんと1997年のクラスノヤルスク合意の「文言」を読んでくれ。「これは好き勝手なことば操作でも何でもない」[2]。そして日本のマスコミの皆さんは「言葉に忠実に、正確に」報道してほしい、と語りました。

確かに、“文字通り”に解釈すれば、クラスノヤルスクでの橋本・エリツィン両首脳の合意は最初から、「全力を尽くす」ということで、「絶対に目的を実現する」という約束ではありませんでした。「うん。やっぱり、そうきたか」と納得しつつも、外交ネゴシエーションの難しさをつくづくと感じさせられた一場面でした。

そこで思い出したのは、エリツィン氏が1990年1月に初来日した際のことです。彼が、領土問題の最終的な解決は「次世代」の政治家たちにゆだねると言い出したので、それは日本人の耳には「棚上げ・放置（**отложить в долгий ящик**）」としか聞こえないからまずい、と通訳で同行中の筆者はそっとアドバイスしました。彼は、「いや、その意味で言ってるんじゃない」と激しく首を横に振り、その後、滞在中は、「20年いや15年後の政治家たちにゆだねる」と、言い方を換えるようになりました。

外交の場では言葉を厳密に用いるべきだ、と言うのはよく分かります。しかし、一般的に国際コミュニケーションの現場では、言葉を「そのまま」

---

1) Здесь не сказано, что Россия и Япония берут на себя обязательство подписать такой договор, что они обязаны подписать договор. Здесь сказано, что будут прилагать все усилия к подписанию договора... 録音テープから起こしたプーチン大統領の発言です。Здесь というのは「合意文書のなか」の意味です。

2) Это не жонглирование.

解釈したり、訳したりできないことのほうが多いのです。

そのまま訳せないこと

同時通訳者は、外部から遮断された狭い部屋（ブース）で執務しますが、通訳者たちの間ではこの部屋を「拷問部屋」と冗談交じりで呼びます。会議場で話されていることを1、2秒前後の遅れで他の言語に訳して伝えるわけですから、かなりの緊張を強いられます。発言者が要領を得ていれば別ですが、残念ながら、多くの日本人の話は、そのまま外国語にするわけにはいきません。これが常に苦労の種です。

1981年6月のこと。ソ連の代表団も参加した国際セミナーが東京で開催され、筆者は露日同時通訳を引き受けました。その冒頭での日本のS. M.さんのスピーチはいまだに忘れることが出来ません。

発言者（S. M.）　：エー……（この「エー」が大変長かった。）
同時通訳者（徳永）：**Уважаемые дамы и господа, товарищи и друзья!..**（私は一挙にこう訳した。）

イヤホンでこの通訳を聞いていたロシア人たちはクスクス、ゲラゲラと笑い始めました。発言者はまだ「エー」としか言っていないのに、通訳者はもうたくさん“通訳”しているからです。

日本人は発言冒頭で、Mr. Chairman! Ladies and Gentlemen! などと言う習慣はありませんが、国際会議ではこれがマナーなので、通訳者としてはそれに相当する呼びかけをロシア語で言ったまででした。が、ロシア人は、「日本語って、なんと短い間にたくさんのことが言えるのだろう」と驚いたのかも知れません。

このS. M.さんが内容らしきことを言い出したとたん、筆者は天井をにらんでしまいました。

発言者（S. M.）：社会民主主義と民主社会主義が一体どう違うのか、私にはよくわかりません。つまり、カレーライスとライスカレーがどう違うのか、あるいはミソとクソがどう違うのかという感じでありましてぇ……

この瞬間、筆者は、「ソ連にはカレーもミソもないんだぞ。そんな比喩は通じないんだ。それに、このようなコクサイテキな行事の席上でクソとは何だ！」と頭の中で怒鳴りました。しかし、通訳者は意見や感情を表してはなりません。冷静に、とっさの判断で、以下のように訳しました。

В чём существенная разница между социалистическим демократизмом и демократическим социализмом, честно говоря, я не знаю... подобно тому, как не разбираюсь в разнице между омлетом с ветчиной и ветчиной с омлетом в животе [1], между соевой пастой и дерьмом [2]...

（同時通訳をしながら、すなわち聞くと同時に話しながら、頭の中では全く別のことを考えるのは可能です。）

ごらんのように、通訳とは異なった言語の橋渡し、つまり「コミュニケーション」のことであり、広義での「文化を異にする」相手側に主要メッセージを伝えるには、単なる言葉の置き換えでは済ませられません。

意図的な誤訳も

筆者のことを「我が通訳術の師匠」と呼んで、ことあるごとに持ち上げてくれる米原万理氏が貴重な体験談を語っています。

アルメニアとの民族紛争を抱えたアゼルバイジャン。緊張感が漂うその首都バクーを通訳の仕事で訪れたときの出来事についてです。東京近郊のB市の市長が、バクー当局の要人との宴席で、「いやあ、わたしはアルメニアのコニャックが大好物でしてねぇ」とやってしまった。その時、米原氏は、顔面がひきつるのが自分でも分かったそうです。杯の中のコニャックは、言うまでもなくアゼルバイジャン産。この状況を彼女はどう切り抜けたのか、見てみましょう。

世界中で通用する英語を母語とする人々に対して常日ごろ歯ぎしりするほどの恨めしさと不公平感を抱いていたわたしだが、日本語が国際語

1)「腹の中でハム入りのオムレツとハム＆オムレツがどう違うのか」。
2)「発酵大豆ペーストと糞」。

でないことを、このときほど天に感謝したことはない。それでも「アルメニア」と「コニャック」という音声は、アゼルバイジャン側にも伝わり、途端に空気が張りつめた。（中略）わたしの訳を、固唾をのんで彼らは待っていた。そのまま訳すことは、到底できない。しかし「アルメニア」と「コニャック」は落とすわけにはいかないし、「アゼルバイジャン」という言葉は聞こえていないから捏造するとばれてしまう。

わたしはこわばる頬に懸命に笑みをこしらえつつ意図的に誤訳をした。

「いやあ、今までアルメニアのコニャックが世界一かと思っておりましたら、お国のには歯も立ちませんなあ」

たちまち聞き手一同は相好をくずし、

「さすが、日本の方は賢明だ。コーカサス三国の中で、たしかにアルメニアのコニャックは世界一なんですよ。グルジアのはソ連一、そしてわがアゼルバイジャン・コニャックはコーカサス一なんですねぇ」

と上機嫌になって出来の悪い冗談を飛ばし、

「ではコーカサス一のコニャックに乾杯！」

という無難な風向きになった。安堵のため息とともに流し込んだコニャックは、滅法きつく、苦く、舌と喉と食道を差した。[1]

ことばのセンスや機転もさることながらですが、もしも、アルメニアとアゼルバイジャンについての背景知識が欠けていたら、このような切り抜けはできなかったでしょう。このエピソードは、通訳者にとって対象国事情などの知識がいかに大事かを示しています。

コミュニケーション・スペシャリストとは

民族紛争と通訳について筆者の体験から付け加えますと、1990年代の半ば、ボスニアとの戦火がくすぶり、境界を封鎖したセルビアに入りました。上空にはNATOの戦闘機が飛び交うさなか、ユーゴスラビアの首都ベオグラードから同行してくれたロシア語・セルビア語の若い通訳者と一緒に民家に泊めてもらいました。

翌朝、その民家の20代の青年ボーロ君が自動小銃を手に戦場に向かうそ

1) 米原万里「ロシアは今日も荒れ模様」日本経済新聞社、1998、216—217ページ。

の前に、何と、母親の医師ヴェーラさんはさっさと職場に出掛けてしまいました。そして彼女は職場から息子のボーロ君に、「冷蔵庫のジャムを持って行くのを忘れないでね」と電話をしてきました。

一部始終を観察していた筆者は、「戦争が日常化している。母親は息子を見送ろうともせず、いつものように仕事に出掛けて、ジャムの件で電話してきた」という内容のルポを朝日新聞東京本社に送稿しました。

その後の雑談で、ベオグラードからの通訳氏は、「父親の話によると、お母さんは、息子を戦場に見送るのがつらくて、それでその前に出て行ったのです。が、やはりとても気になったので、ジャムという口実を見つけて電話をしてきたのですって」と、すでにあの時点、記者が書く以前に彼が知り得た情報を伝えたのです。おかげで筆者はその後、事実関係を修正する内容の記事を書くはめになりました。通訳者がその一言の背景説明、貴重な情報を伝達してくれていれば、別のコンテキストが生じて、理解や判断も異なってきたはずです。こちらも浅はかでした。

我が国で初の組織的通訳者養成コースの創始者として知られる斉藤美津子国際基督教大学コミュニケーション科教授も一貫して強調してきたように、「通訳者はコミュニケーション・スペシャリストであってランゲージ・スペシャリストではない」のです[1]。単なる語学屋なら、「アルメニアのコニャックが大好物」と訳しておけばよい。「ご参考までに……」と通訳者の側から記者に追加情報をタイムリーに提供しなくても、それはそれでよいかもしれません。しかし、コミュニケーション・スペシャリストは、人と人との間のコミュニケーション、情報伝達が、どうすればうまくいくかを考えなければなりません。

コンテキストの役割

ことばと状況が醸し出す「意味」について。

もし暗闇で、「手を挙げろ！」（Руки вверх!）と言われたら、恐らく「相手はピストルなどの武器を持っている」という意味を直感するでしょう。場のコンテキストがあるので、ある表現が持つ「意味」が分かります。

また、もし国際的な学術会議でスライドの上映が始まるときに「Свет, пожалуйста!（ライトをお願いします！）」と言われたら、照明係はライトを消すでしょう。そして、一定の時間が経過した後で、「Свет, пожалуйста!（ライトをお願いします！）」と言われたら、照明係は今度はライトをつけるでしょう。同じ表現が、スイッチのオンとオフの両方（正反対）を意味できるわけです。

一方、慣れない技術通訳の現場では、名前も知らない装置のことを «эта штука» とか «это устройство» と呼んで専門用語を回避してもコミュニケーションは成立するでしょう。

さらに、先にエレベーターに乗った人が、後から来た人を待ってドアを閉めないままでいるとき、乗るつもりのない人が、「一階に住んでいますので」と言おうが、「歩いて行きますから」[1] と言おうが、意味情報は一つ、「どうぞドアを閉めて上がってください」です。ことばや表現の言語学的な意味は違うが、 状況によってあらかじめ意味の蓋然性は半々（да – нет, еду — не еду）で、どのような表現が使われようとも、一つの意味を持つのです。

もちろん、「交渉は水曜日の14時30分にホワイトハウスで始まります」という情報を伝えたり、通訳したりするには、コンテキストに頼った伝達は出来ず、そのまま訳す以外に手はありませんが、多くの場合、場のコンテキストが言葉の意味を規定することを踏まえておけば、ことばだけに頼らない効果的なコミュニケーションが可能です。

逆の例ですが、公式の場でお礼を述べるときには、「～に対して心から感謝申し上げます」「厚く御礼を申し上げます」「謝意を表明させていただきます」などの言葉が用いられる蓋然性は大です。テーマや状況によって、使用する語彙や表現群があらかじめ規定され、パターン表現が用いられるのです。言い換えると、場のコンテキスト、状況が、そこで用いられるべき色々な表現群を待ち受けていて、その表現自体のほうが大事だということです。さらに、当たり前のことでしょうが、通訳者が場のコンテキストを事前に知っていれば、その場でなされる発言内容までも「見えてくる」のです。

[1] 柴田昌治編「通訳ノウハウ」現代出版、1982年、「同時通訳という仕事」209ページ。

[1] この場合、ロシア語では以下の文章が列挙できる — Я живу на первом этаже. Я не еду. Нас слишком много. Я подожду приятеля. Не ждите меня. Можете ехать. Я не пользуюсь лифтом. Я предпочитаю ходить пешком.

こうしたコンテキストに類するものは物事についての「背景知識」で、これをマクロコンテキストと呼ぶこともあります。誤訳の例で説明してみましょう。

1999年5月。エリツィン大統領が突然プリマコフ首相を解任した。テレビで解任理由を説明する大統領は、プリマコフ氏の功績を讃えた。前年の9月、あの緊迫した政治情勢、極めて困難な経済状態の中で、同氏は急激な動きができなくて、用心深さと慎重さという外交官としての最高の芸術を遺憾なく示してくれたと述べて、彼に敬意を表明した。さらに、彼が左右いずれの急進派からの圧力にも屈しなかったと指摘したうえで、「しかし、こんにちでは状況は違う。首相の用心深さ、最大限奨励と支持を得る措置だけをとる心構えは、いまは害になる方向に作用し始めている、（ сейчас начинают работать во вред ）……」と解任理由を明らかにした[1]。

ある日本人の通訳者は、このシーンを東京のテレビスタジオで事前に録画で見たうえで、少し時間がたった後の実際の放映で同時通訳しましたが、下線部分を「百害あって一利なし」と訳しました。しかし、そう訳してしまうと、それまでの首相の資質や手腕は「百害あって一利なし」という意味にもなりかねません。エリツィンが言いたかったのはちょうど正反対（ с точностью до наоборот ）で、「これまでは益をもたらしたが、いまは害をもたらし始めている」ということなのです。(諺は便利ですが、通訳者はその用法にくれぐれもご注意、ニュートラルな表現に置き換えた方がよいときが多い、とよくいわれます。)

くだんの通訳では、発言の前段からの「ミクロ」コンテキストを把握していないか、無視しています。そして、それまでに我が国内でも報道されたプリマコフの政治的な老練さや、ロシア国内での支持率の高さという大状況、すなわちマクロコンテキストを踏まえていないと言わざるを得ません。誤訳をせめるための実例ではありません。少々の誤訳は許されるべきだというのが持論です。ここで指摘させていただきたかったのは、文や発話そして場のコンテキストと同じく、マクロコンテキストも正確なコミュニケーションの重要な要素という点です。

[1] В сентябре прошлого года, в той накалённой политической обстановке, в той тяжелейшей экономической ситуации Евгений Максимович не мог совершать резких движений и сполна продемонстрировал своё искусство дипломата - осторожность и осмотрительность. Уважаю его за это. Что он не поддался давлению радикалов ни слева, ни справа, но сегодня ситуация иная. Осторожность премьера, готовность идти только на те меры, которые получают максимально одобрение и поддержку, сейчас начинают работать во вред,... www.nns.ru/prim/otprim.html　99・05・14より。

ノンバーバル・コミュニケーションと視覚情報

口から出すことばとは別に、表情、動作、ジェスチャーで行うノンバーバル（非言語的言語）・コミュニケーションについて英語の参考書などでは多くのことが書かれていますが、ロシア人のノンバーバル・コミュニケーションも非常に重要です。ロシア人のしぐさも、広義では、コンテキストや背景知識の概念に含まれると言えます。

例えば、Он поднял палец.（彼は指を上げた。）という文があるとします。ロシア人の動作を知らない人には何のことか、どの指のことか見当も付きません。しかしロシア人は分かります。これは「こぶしを握り人さし指を上に真っすぐ伸ばす」ことであり、意味するところは、①これから言うことに注意を喚起する動作、②発言中で最も強調したい点、山場を示す動作、なのです。

もう一つ例をあげましょう。

2000年8月19日。テレビ朝日の夜の番組「ニュースステーション」が、バレンツ海に沈没したロシア潜水艦クルスクの救出作業の模様を生中継で映しました。現地で作業を見守るロシア国営テレビの記者と東京の久米宏キャスターが、同時通訳を介してやり取りする中で、久米氏から「これから作業はどうなるのでしょうか」と聞かれたロシア人記者は、大きく両手を体の前で広げました。その後、しばし無言でしたが、通訳者には次にこの記者が何を言うかはもうはっきり分かっていました。ロシア人がよくやるジェスチャー（ развести руками ）で、ご存じでしょうが、この場合は困惑の表現、「神のみぞ知る」といったニュアンスなのです。

詳しい説明はもう不用でしょうが、ロシア語学習の早い段階でロシア人の身ぶり言語の基本を学ぶことの重要さは自明です[1]。

少し視点を変えますと、これは、コミュニケーションで視覚情報が果たす役割は大きいということでもありましょう。

[1] 狩野昊子、A. アキーシナ著『ロシア語ジェスチャー表現辞典』、ナウカ刊、1997年、があります。

かつて東京で、アジア諸国大学学長会議が開催されました。そこで筆者が例によって「拷問部屋」で同時通訳をしていたときの出来事。フィリピンの大学の学長が英語で演説をし、その日本語訳を筆者が聞きながらロシア語に訳していたところ1)、隣に座っていた英露通訳者のA. Рахубоさんが、しきりと私をつつくのです。

何事か、と思い、ヘッドホンをはずしてЧто такое? と尋ねると、彼が、「発言者は女性ですよ！」と叫ぶではありませんか。ちょうど筆者が位置していたところからは死角になっていて、発言者の姿、女性であることが見えなかったのです。注意された時はすでにя приехал,... я понял,... я согласен... など、しこたま男性形を用いた後でした……

別の機会には、ロシアの宇宙飛行士がスライドを用いて、スクリーン上のあちこちを指しながら宇宙航行についてとうとうと報告しているのに、こともあろうか、スクリーンが「拷問部屋」の真上にあったので、全くの手探りで同時通訳を行った苦い経験もあります。

またあるときは、ソ連の指導者ゴルバチョフの補佐官I.フロロフ氏が来日してK首相と官邸で懇談した後、フロロフ氏から「なぜあの人は相手の目を見ないで話すのか、そんなに我々が憎いのか」と詰め寄られたこともあります。「ロシア人は目を見て話すアイコンタクト型のコミュニケーションを主とするが、日本人は相手を凝視するのは失礼と思うのが普通であり、さらにこの首相にいたっては目をあさっての方向に向ける癖があるようです」とかなんとか説明しましたが、これも冷や汗ものでした。

すべては音から

訳す、訳さない、言う、言わない、について話してまいりましたが、もちろん、言語コミュニケーションの大部分を担うのは「音」です。書かれた文章でさえ、基本的には音の反映。発音の重要性はいくら強調してもきりがありません。ここでは発音の良しあしが決定的な役割を果たした例を実体験から一つだけあげておきたいと思います。

「新思考外交」で世界的に支持を得たシェワルナゼ・ソ連外相（現グルジア大統領）が1987年の秋、都内で講演を行ったときのことです。ソロビヨフ駐日大使からの依頼で同時通訳を引き受けました。こちらが出した条件

1) このような通訳の仕方をリレー方式といいます。

は一つ。「誤訳などの見張り役に誰かロシア人通訳者を同席させること」でした。このメッセージがどう伝わったのか不明ですが、当日、通訳ブースに入ると外交官のC氏が待ちかまえていて、「最初の半分、僕が訳します」と申し出ました。見ると、彼の手元には外相のスピーチ原稿と和訳もありました。さすがに、「いいえ、私が全部やります」とは言えませんでした。これについては今でも後悔しています。

まもなく講演が始まりました。が、C氏のその和訳が大問題。彼が手書きで、«Синъаинару Нихонъно минасама! Ватакусива коноёна минасама тоно дэай но кикай о моратта котони тайситэ мадзу кокорокара кансядэсу...»と、ロシア文字で書いた和訳をそのまま、すさまじい勢いで読み始めたのです。そばで聞いていても分かりづらい程ですから、会場の、ロシア語を解さない人にはちんぷんかんぷんだったのでしょう。数分すると日本人の聴衆のほとんどがヘッドホンをこれ見よがしに脱ぐのが見えました。

ようやくこちらに出番が回ってきて訳し始めると、会場では一斉にヘッドホンをつけ始めました（いくら拙くても、普通の日本人が日本語に訳すのですから、発音へのクレームは出なかったでしょう）。しかし、少し経つと、またC氏が合図を送って、「ここも僕がやる」と言い、マイクを奪ってしまいました。

主催者側は、このビッグイベントのために都内一流ホテルの大きな会場を借り切り、多くの聴衆から入場料まで取ったほどですが、結果は散々たるもの。後日、主催者代表は駐日大使に抗議したそうです。

大人になって学んだロシア語ですから、筆者も、とやかく言う立場ではありませんが、この一件で、「発音こそコミュニケーションの出発点」ということを痛感させられた次第です。

では、日本人が「聞きやすいロシア語」のために注意すべきポイントは何でしょうか。個々の子音についての説明を省くと、例えば、различный と разговор の «раз» の母音の発音の違い——前者は「ラズリーチヌィ」、後者は「ルズガヴォール」のように発音することです。ロシア人は、「ラズ」と聞いたとき、そして「ルズ」と聞いたとき、それぞれ瞬時に、発話者がどのような単語を使おうとしているのか大方の見当が付き、聞こえるであろう単語の選択肢を絞ります。標準語のロシア語で「ルズ」までを聞いた

ときには、例えば «различный» が出現する（使われる）可能性は無意識のうちに排除するのです。

次に、разговор や хорошо など、力点のある «о» は「ゥオー」の感じで、日本語の「オ」よりもさらに「唇音化」させること。また、женщина, кончать などの «н» は、その後に軟子音が続くので、「ン」ではなくて、日本語では正確に表記できませんが、「ン」の軟音（「ニ」に近い）になるという子音の軟化現象にも注意すれば、かなり「それらしい」ロシア語に近づくようです。本書では発音の後に控える「論理的アクセント」の問題にも若干触れていますので、参考にしていただければ幸いです。

交渉とことば

2000年の3月にモスクワを取材で訪れたときのことですが、ホテルでチェックインしようとすると、「あなたのヴァウチャーは受け取れません」と言われました。東京でホテル代を前払いしたことを裏付けるはずのその ваучер が無効とのこと。理由を聞くと、受け入れ側のロシアの旅行会社がホテル側に料金を支払っていないからだ、と説明されました。直ちに電話でこの旧ソ連国営系旅行会社の責任者に抗議したところ、相手は手落ちを謝らないどころか、「銀行がホテル側に未払いなんだろう。われわれの責任ではない」と、木で鼻をくくったような返事が返ってきました。

こちらがさらに、「無責任である、信用問題だ」などと追求したところ、У нас в России теперь всё бывает!（今じゃ我がロシアでは何でもありですよ。）と言う。ソ連の崩壊後、市場経済への移行を急ぐロシアですが、まだ西側のビジネスのスタイルが身に付かない者もいることの実例でしょう。メンタリティーが旧ソ連のままなのです。

その後、色々の交渉テクニックを駆使して、とにかくホテルに居座り、ようやく3日後に支配人に笑顔で挨拶されるまでにこぎ着けましたが、この「絶対に謝らない」というのは、私たち日本人もロシアでは駆使すべき処方箋です。取りあえず謝ってしまうのはタブーです。交渉の場ではなおさらです。

極端な例でしたが、一般的には、いまロシア人は西側のビジネススタイルを身につけるのに懸命です。ソ連崩壊後、西側流ビジネスの仕方を教える参考書が多数出版されだしたこともそれを裏付けています。その中には、

「エリートの言語文化が最も高尚なスタイルである」（Самым высоким типом является элитарный тип речевой культуры.）として、ビジネスマンはこの洗練された言語文化（элитарная речевая культура）を身に付けなければならないと説いた本もあります。

中身は、「11月12日までに貴殿は我々のサービスに対する支払い問題を解決する必要がある（Вам необходимо решить проблему с оплатой наших услуг до 13-го [1] ноября.）」と言ったり書いたりしてはならず、「11月12日までに私どもは貴殿から負債の返済についてのお知らせを頂きたいと思います（До 13-го ноября мы хотели бы получить от Вас сведения о погашении задолженности.）」とするべきだ等、こまごまとアドバイスしています[2]。われわれも、このような言語文化、ロシア語の使い方の極意などを身に付けるようにしたいものです。

このようなビジネス交渉のときの言葉遣いについては、ソ連圏とのビジネスの草分けとして知られ、「TORAY社の顔」と言われた森本忠夫氏が、経済問題のシンポジウムの休み時間に秘訣の一端を披露してくれたことがあります。

すなわち、「私は非常に急いでいるので、いま全部お話します」という言い方を避けて、「あなたは大変お忙しいようですから、とりいそぎ全部お話しいたします」と言うのが望ましい。「私はAさんにお会いしたいのです。ほかの社員との商談で時間をつぶしたくはありません」というのが本音なら、「私は他の人にご迷惑をかけたくないのでAさんとお話しいたしたいのです」と表現しなければならない。ともかく「私」の代わりに「あなた」と言うように心がけることである、というのがロシア側の戦略的な、プラグマチックなコミュニケーションの原則なのだから、日本側も相手の言動の受け取りかたと、こちらなりの受け答えにくれぐれも用心しなければならない、ということです。

---

[1] 日本語の「まで」とロシア語の до が微妙に違う点については巻末の「数に関する文法・表現の補足整理」の項をご参照下さい。

[2] Колтунова М. — Язык и деловое общение. Нормы. Риторика. Этикет. М., 1999. с.19.

さて、最近のロシアのビジネス書には次のような記述もあります[1]。

ロシアのビジネスマンたちは時には交渉を行うことができず、相手をさえぎり、自分たちでたくさんしゃべろうとする。外国人は、これを全くの無礼行為とか、大事な問題を回避したい願望の現れとして受け止めている。それが当たっているときもあるだろうが、そうした振る舞いは、旧ソ連人のメンタリティーによるのかも知れない。旧ソ連人には、他人(指導者や目上の者）が話したことを繰り返すか、黙っているかしかなかった。が、いま彼らは、思うことを自分で話す機会を得たのだ。

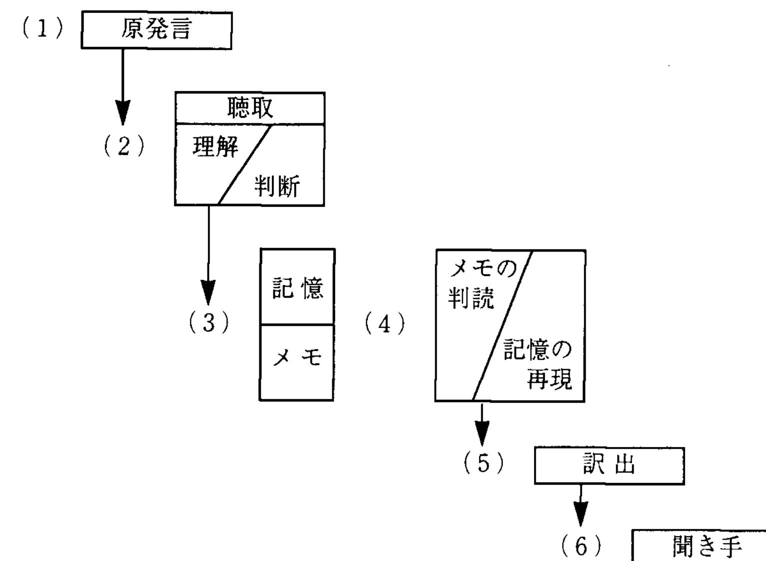
旧ソ連から新生ロシアのメンタリティーへ移行中のロシア人に思いやりの精神で接するのも、効果的なコミュニケーションへの一助ではないでしょうか。

通訳やコミュニケーションの実践から生じた問題や困難および印象などについて自他の体験に照らして述べてみました。この本は、それらを基に、実践から理論への流れで書いたつもりです。必要と思われる事項をまとめ、説明を施した各章が少しでもお役に立てば幸いです。

1) Родимкина А., Райли З., Ландсман Н. Россия сегодня. Санкт-Петербург. 1999. с.21

Ⅱ．逐次通訳の諸プロセスと訓練

1．逐次通訳の諸プロセス



逐次通訳（последовательный перевод）とは、一つの言語で話された原発言を一区切り聞いた後、その内容を他の言語により、口頭で再現することです。説明上このように図式化しましたが、実際には（1）と（2）、（3）の段階は、ほとんど同時に行われています。通訳者は、原発言を聞きながら理解・判断するとともに、記憶し、記憶を補うためにメモをつける、という一連の行為を、ほぼ同時に行うのです。また、（5）の段階では、メモの判読と記憶の再現をしつつ話すというように、やはり一連の行為を同時に行います。この複雑な過程を難なくこなしていくには、各段階、行為について高度な技術を身につけることが必要になります。

まず、1）原発言と訳文との関係、2）原発言と訳出の間にある諸プロセス、について考えてみましょう。

2. 原発言と訳文の問題

1）和文露訳の問題点

ある知日派のドイツ人に言わせますと、日本語を聞いているあいだは「なんとなくザルで水を汲む思い」がするそうです[1]。日本語を能くしたライシャワー元駐日アメリカ大使も、このことについて次のように書いています[2]。

どの言語も、いくらでも曖昧になりうるふところの深さをもっている。ただほとんどのインド・ヨーロッパ語とくらべ、日本語における方がはるかに曖昧になりやすい、ということはいえよう。

たしかに日本人は言語能力には自信がなく、非言語的な理解には自信があり、全会一致でことを決めていくことを望み、個人的な対決を避けることに熱心なあまりに、アメリカ人にはおなじみの率直に話すというやり方をとらず、言いにくいことはできるだけ言わずにすまそうとする。

また日本人が物を書いたり話したりする際に、慎重な論理のつみ重ねよりは、散漫なそぞろ歩き的な議論を好み、鋭く明快な発言よりは、暗示や例証を好むことも、そのとおりである。

さらに、ベストセラーの著書『一枝の桜』で独特の日本人論を展開したロシア人ジャーナリストのオフチンニコフ氏も、日本人の言語表現の曖昧さをこう指摘しています[3]。

Умение ясно, чётко, а тем более прямолинейно выражать свои мысли мало совместимо с японским представлением об учтивости. Смысл фраз преднамеренно затуманивается оговорками, в которых заложены неопределённость, сомнение в правоте сказанного, готовность согласиться с возражениями. Японцев из поколения в поколение приучали говорить обиняками, чтобы уклоняться от открытого столкновения мнений, избегать прямых утверждений, способных задеть чьё-либо самолюбие.

1) ヒルシュマイヤー、デワルト共著『西ドイツと日本』、東洋経済新報社、1979年、43ページ。
2) エドウィン・O・ライシャワー、『ザ・ジャパニーズ』、文芸春秋社、1979、385ページ。
3) Овчинников В. В. Ветка сакуры. Изд. 2-е, М., 1975. с. 94.

（明快かつ正確に、ましてやズバリ直線的に自分の意見を表す能力と、礼儀正しさについての日本的なイメージとは、ほとんど両立し得ないのである。一つ一つの文句は、煮え切らない態度や、自分の言ったことの正しさを疑う気持ちや、相手の反駁に対して妥協する用意などを込めた注釈によって、わざと意味が曖昧にされる。代々日本人は、意見が露骨に衝突しないようにしたり、誰かの自尊心を傷つけかねないような、はっきりした断定を避けたりするために、婉曲な話し方をするようにしつけられてきたのである。）

ご覧のとおり、日本語を知っている外国人（ドイツ人、アメリカ人、ロシア人）といえど、わかるのは単語レベルのことです。知っているはずの単語が集まってひとかたまりの発言になると、もう日本人の言わんとしていることはなかなか理解できません。ここに大きな問題があるのです。つまりこういうとき、この日本人の発言を一語ももらさず彼らの国のことばに直訳してやったとしても、なおその意味内容は正しく伝わらないのです。

これについては、日ロの通訳を介してシンポウジウムを行った立場から歴史学者の後藤靖氏も次のように経験を語っています[1]。

国際シンポウジウムをはじめて企画してみて、そのむずかしさを痛感した。外国語と日本語という問題もさることながら、日本人は歴史的体験や生活体験によって常識化されている言葉や概念と思っていることが、外国人には必ずしもそのまま通じないということである。例えば、近代化という言葉にしてもそうである。日本人にとっては近代化ということは注釈ぬきでわかったような気になるが、外国人の場合にはそうはいかない。政治的とか経済的とか、あるいは外面的とか内面的とか、いちいち注釈しなければならない。このことは、日本の学者が使う言葉が、実は十分に内容を表現した概念にまで成熟していないにもかかわらず、あ

1) 朝日新聞、1979年11月17日付。

たかも内容をもったものと錯覚して使っているのではないかということかも知れない。

ちなみに、歴史についてのコミュニケーションの問題点との関連で、次のような興味深い実例があります。

文化史という言葉は、さまざまの意味にもちいられている。

上の文章は、家永三郎著の『日本文化史』(岩波書店、1999年、1ページ)の書き出しの部分です。これをロシア語に訳したБ. В. Поспелов氏は、Понятие «истории культуры» употребляется в самых различных значениях. としています。試みに、これを逆に和訳してみると——

「文化史という概念は、最もさまざまな意味でもちいられている。」となります。

特に関心を引くのは、「言葉」が「概念」と訳されている点です。和露辞典で調べても、「言葉」に当てはめられている訳語はслово, выражение, высказывание, речь, язык, тон, диалектなどであり、«понятие»は出ていません。百の日常基本用語に属する程度の「言葉」でさえ、日本語とロシア語では異なった意味範囲を持っているのですから、驚きです。

同上の文章の少し後には以下の文章が続きます。

政治も、経済も、すべて人間のいとなみであるかぎり、文化史の内容をなすものとしてそのうちに含まれることになろう。

これは、Политика и экономика тоже являются делом рук человека, и их, очевидно, также можно включать в историю культуры на правах составляющих её элементов. と訳されています。逆に和訳を試みると——

「政治も、経済も、人間のいとなみであるので、当然、文化史を構成する要素としてそれらもそのうちに含めてもよいだろう。」となります。

さらにその先の訳文について考えてみましょう。

そのほかにも、文化史の定義については色々の考え方が行われている。が、つまるところ『文化』とは何か、ということの定め方のちがいからでてくるもののようだ。

このくだりは、Существуют и другие мнения относительно значения понятия «история культуры», но в конечном итоге различия, по-видимому, проистекают из характера определения самого понятия «культура». となり、これも逆に直訳してみると——

「『文化史』の概念の意味についてはその他色々の意見があるが、つまるところ、相違は、『文化』の概念そのものの定義の性質からでてくるようだ。」という感じです。

下線部分の訳し方のほかにも色々と興味深い現象がありますが、特に、характер(性質、性格)という言葉を中心とする表現法が見事です。

一つ前の文章ではэлементということばを巧く使っているように、論理的な記述に必須の言葉を「付加」することで、意味内容、概念、論旨を巧妙に伝えています。このような例は、直訳思考に毒された人には絶好の良薬です。(これは、例えば公式の外交の場では「直訳」が必要な度合いがかなり高い、ということとは少し別の問題です。)

以上のことから、単語レベルの通訳(перевод слова в слово)を行っても真のコミュニケーションは成立しない、ということは明白でしょう[1]。

次に、この、日本語を外国語に訳す際の客観的な困難に加え、原発言の日本語そのものが曖昧模糊だと、通訳者の負担は倍増します。しかもこのようなケースは決して少なくありません。

---

[1] 日英同時通訳の先駆者として知られる西山千氏も、「日英間の翻訳は、学校で文法や文章の構造を認識するために教える直訳とは全然異なった作業である。文章の中の特定の単語だけは直訳しなければならないだろうが、それ以外の単語や語句は、それらの表す情報を自由に作文しなければならない。」と強調(『翻訳の世界』、1979年12月号、49ページ)。また、「自然な日本語を自然な英語に通訳したり翻訳する場合、必ずしも単語を一対一に対訳することがよいのではない。一連の単語群が代表する情報を他国語の自然ないいかたで表現することが正しいのである。」と説いている(西山千、『英語の通訳』、サイマル出版会、1988年、71ページ)。

例をあげます。在日米国商工会議所主催による太田薫氏（当時の日本労働運動界のリーダー）のスピーチの一部再現です[1]。

まあ短い時間ですから結論出せませんから断片的になりますけど、わたくしは日本のみなさんが、アメリカの人が考えられるとき、肉とか小麦とかその他たくさんアメリカから買ったら、わたくしはいいと思います。労働者も資本家もそう思っていると思います。

このような脈絡を欠いた原発言であってもその訳文はできるかぎり整然としたものでなければなりません[2]。上のスピーチを実際にその場で英語に逐次通訳したのはベテランの佐藤敬子さん（故人）でした。以下はそれをテープから再現したものです。原発言と比べてみて下さい。通訳はこうあるべきだという見本のようです。

Well, since the time is limited, I won't be able to draw any conclusions, but what I would like to say, is that Japanese should try to buy more meat and more maize from the United States. I think this view is shared by Japanese workers as well as Japanese capitalists.

２）情報中心か原文密着主義か

翻訳論争などでは"意訳か直訳か"とか、"原文密着主義とは"をめぐってのやりとりがよくなされますが、この論争をそっくりそのまま通訳論にまで敷衍することはできません。通訳者に第一義的に求められているのは発言の意味内容を正しく伝えることであり、原文が二重否定形なのに訳文が肯定形になってもさほど問題ではありません。通訳の優先課題は、原発言の意味情報を伝えることだからです[3]。

一方、翻訳論においてもこの情報中心主義的な意見を耳にすることは稀ではありません。例えばトルストイの作品の翻訳で知られる北御門二郎氏

1) English Journal、1979年、5月号、99ページ。
2) 実際にどうすべきかは「会話からスピーチへ」の項参照。
3) 同様の考え方は宇多文雄氏と筆者の共著『ロシア語通訳読本』、ロシア語通訳協会、1994年版の21―24ページに詳しく述べてあります。

は、わが国で翻訳について激論が交わされた当時、次のように主張しました[1]。

記号や音声としての、換言すれば現象形体としてのロシア語の奥には、本有としての言葉、即ちもはやロシア語でも日本語でもない言葉そのもの、カント的表現では物自体としての言葉があり、仮にそれをXとすれば、訳者は原作の中からこのXを読み取らねばならず、その上でそれを日本語という現象形体に移植しなければならないのです。ところがこのXがうまく読み取れない時、訳者は往々にして単なる語学的操作に頼ってしまって、これが主語、これが述語と、ロシア語から日本語へ一直線といった手抜き工事（？）が行われて、結果はたしかに否定形は否定形に、命令形は命令形になっていても、訳者自身にも何のことやらさっぱり分からぬ文章がでっち上げられるのです。

同アプローチは、翻訳論の分野で広く内外の学会で活躍したロシアのЛ. С. Бархударов教授の以下のテーゼ[2]と広い共通点を持っています。

あらゆるコミュニケーション行為に当てはまることだが、伝達される情報が目的であり、その伝達方法は、この目的達成のための手段である。同じく、翻訳にとってまず何よりも重要なのは、「何」が表現されているのかであり、その「何」が「如何に」表現されているかは、前者の課題解決に従うものでなければならない[3]。

これは、通訳に関しても大いに適用すべき原則でしょう。仏露通訳者養成の大御所ミニャール=ベロルーチェフ氏も断言するように、通訳者は出来

1) 朝日ジャーナル、1979年12月14日号。
2) «Тетради переводчика». Научно-теоретический сборник. № 22. М., 1987. с.7.
3) «...для перевода важно прежде всего ЧТО именно выражается, а то, КАК оно выражается, должно быть подчинено первому, как и вообще в любом акте коммуникации передаваемая информация является целью, а пути её передачи — средством достижения этой цели».

るだけ早く逐語訳（дословный перевод）[1] や直訳主義（буквализм）を排除し、原発言の文法形態や構文にとらわれないようになるべきです[2]。

さらに、この点については、英文露訳の技法を取りあげたロシアの専門誌の中でも、以下のような英文の露訳例を挙げて、繰り返し具体的に説明しています[3]。

Twenty crewmen were missing and feared dead after an American tanker broke up and sank without warning within 200 miles off the US coast.

Вчера в Атлантическом океане, в 200 милях от побережья США, неожиданно взорвался и затонул американский танкер. Пропало без вести двадцать человек экипажа. Есть опасения, что они погибли.

では、このような技法について、和文露訳の実例で考えてみましょう。まず以下の日本語の原文をロシア語に訳し、その後で、下に続く露訳文の実例を分析してみてください。

露訳文は日本語に極めて堪能なノーボスチ通信社のイリヤシェンコ東京支局長が実験的に作ったものですが（日本語の原文をゆっくり二度朗読して聞き取らせた後に）、実際に本国に和文露訳情報を送る際に用いる手法で訳出してくれました。

（原文1）『新しい経営』ということがいわれ出して以来久しい。

（訳）С тех пор, как мы впервые услышали о «новых методах управления фирмами», прошло уже довольно много времени.

＊「新しい経営」は「会社運営の新しい手法」となり、「いわれだして」は「耳にしてから」と訳している。

---

1) Миньяр-Белоручев Р. К. Последовательный перевод. М.,1969. с.148—149.

2) Миньяр-Белоручев Р. К. Как стать переводчиком. М., 1999. с.34—36, 165.

3) Тетради переводчика. Научно-теоретический сборник. № 22. М., 1987. с. 36.

（原文2）すでに戦後50年以上たった今日、広い視野に立った日本的経営の解明こそ、最も必要とされると考える。

（訳）Как нам кажется, в настоящее время, т.е. более чем через 50 лет после окончания войны, в высшей степени необходима именно всеобъемлющая характеристика управления фирмами в Японии.

＊「広い視野に立った解明」は「全包括的な性格付け」となっている。

（原文3）われわれはそうした観点から、主要企業の経営実態調査を行うことを計画し、1998年から実際の作業に着手した。

（訳）Исходя из этого нами было принято решение о проведении обследования положения дел с управлением основными фирмами. Первые практические шаги по реализации наших замыслов были предприняты в 1998 г.

＊「観点」という言葉は使わずに、「そこから出発して」という表現にしている。すでにそれ以前の説明そのものが「観点」であることを踏まえたからだ。また、「計画し」は「実施についての決定が採択された」と訳し、原文では1つの文章を2つの単文にしている。その上で「われわれの構想実現のための最初のステップが踏み出されたのは」として、原文中の「計画」を後半の文中で「構想」という言葉で生かした。

（原文4）本書はもともとアンケート調査の結果を慎重に検討し、その成果をもとにして作成されたものである。

（訳）Основу настоящей работы формируют выводы, сделанные в процессе скрупулёзного изучения результатов анкетного обследования.

＊露訳文を和訳してみると、「本書の土台を形成するのは、アンケート調査結果の慎重な検討の過程で成された結論である。」として、原文の主語「本書」の代わりに、訳文では「結論」を主語にしている。しかも、

原文の「結果」という単語を「結論」という単語に置き換えている。コンテキストを踏まえて初めて可能になる言い換えの例だ。

（原文5）国民生活は量的にも、質的にも著しく充実した。

（訳）Условия жизни народа и в количественном и в качественном отношениях значительно улучшились.

＊「国民生活」を「国民の生活条件」とロシア語らしく響く、より具体的な表現にしている。また、日本人が好んで使う「量的」や「質的」の『的』の表現は、ロシア語では多くの場合「〜の関係に於いて」と表現することが分かる。

次に、少し長い日本語原文の露訳を紹介し、次にその露訳文を逆に邦訳してみますので、比較分析して参考にして下さい。

（原文6）企業の経営者は社会的経済的な環境の中で、さまざまの経営手法を利用することによって、企業のとるべき行動の意思決定を行い、その結果の企業行動が、全体として日本の経済をささえているといえる。この意思決定を担当する経営者が、現代の企業ではどのような性格をもったものであるかを知ることは、企業の行動を理解する上での一つの重要な条件であろう。

（訳）Можно сказать, что менеджеры, действуя в определённых социально-экономических условиях, намечают пути, которым должны следовать компании. Практическая деятельность компании, представляющая собою результат решений, принимаемых менеджерами, стимулирует развитие японской экономики. Один из важных моментов, позволяющих постичь сущность деятельности современных фирм, состоит в уяснении характерных черт менеджеров, для которых принятие указанных решений является первейшей обязанностью.

（上記露訳文の和訳）経営者は一定の社会・経済的な条件の中で行動しつつ、企業の活動指針を立案するといえる。経営者によってなされる決定の結果としての企業の実践行動は、日本経済の発展を促進する。このような決定を担当することを最重要の任務とする経営者の性格を解明することは、現代の企業の行動を理解する上での重要な点の一つであろう。

3）形式情報と内容情報

ことばによって伝えられる情報は更に、縮約や省略が可能な形式情報と、情報の核とも言える内容情報（発言内容そのもの、情報そのもの）とに分けられます。

例えば、Я считаю необходимым заявить сначала, что наша делегация удовлетворена ходом дискуссии. とあれば、下線部は言わば形式情報です。つまり冗語の部分です[1]。そしてこの発言の内容情報は Наша делегация удовлетворена ходом дискуссии. と表されます。これだけは通訳に際して落としてはなりません。この“核”を中心に訳すのです。したがってメモをするときにはこの部分に重点を置くことになります。以下、同様の例を若干挙げておきます[2]。

- Я взял слово, чтобы поддержать от имени нашей делегации... ↔ Наша делегация поддерживает...
- Политика, проводимая империалистическими державами ↔ Политика империалистических держав
- Связи, которые объединяют наши страны ↔ Связи между нашими странами
- Советский Союз, который первым вступил на путь построения социалистического общества ↔ Советский Союз, первое социалистическое государство в мире

---

1) Миньяр-Белоручев Р. К. Общая теория перевода и устный перевод. М.,1980. с.66—68
2) 例文は Ширяев А. Ф. Синхронный перевод. М., 1979. с. 90, 92, 93 より。

4）通訳者対原発言 ＝ 有限対無限

多くの通訳者にとって通訳とは、限られた語学知識で人事百般、森羅万象を説明する行為でしょう。そのため、ボキャブラリーを殖やすには、表現力を豊かにするにはどうすればよいのか、という勉強法に腐心している通訳者も少なくありません。

この問題解決に役立つ一つの方法として比喩力アップが挙げられます。言わば「ワンバウンドの勧め」ですが、ときにはとんでもないと言われかねない「内容情報」重視になります。具体例で説明しましょう。

筆者がモスクワでロシア語を習い始めてまもないある日の朝、鼻血が出て授業に遅刻しました。教室に入ったとき、遅れた原因である鼻血をどう説明すればよいのか分かりませんでした。肝心の“血”という単語は、まだロシア語ではどう言うのか教わっていなかったのです。そこで自分の鼻を指差し、«Красная вода!» と説明しました。教師は笑いころげ、«Токунага-сан! Это не вода! Это кровь! Кровь!» と教えてくれました。

この一件、さしずめヘッポコピッチャーがキャッチャーにスリーバウンドのナチュラルカーブを投げたようなものでしたが、以来一つのことを悟りました―「何バウンドでもいい、受け取ってもらえれば」と。

卑近な例で恐縮ですが、このように、既知のことで未知のことを表現する方法は確かに語彙の不足を補ってくれるものです。またこれは言語コミュニケーションの本質の有効利用でもあります。かりに「窓を開けて下さい」という表現を知らないのなら、知っているほうの表現で「ここは暑い！」と言えば意は通じるでしょう。Она ведёт уединённый образ жизни. と言えないなら、とりあえず Она никуда не выходит. と言っておけば良い。ことばは場や状況に依存するところが多いということをふまえておけば、直訳志向から解放された表現が可能になり、より自由に書き、話し、訳せるはずです。

もちろんこのような立場がボキャブラリーや表現を殖やす努力をそぐものであってはなりません。これについては、通訳の問題に精通したローレンス・エリオット氏がきわめて的確な戒めのことばを記しています[1]。

[1]『英語通訳への道』、大修館書店、1976年、26ページより。

通訳者たちは皆、実にたくさんの外国の定期刊行物を購読して自分たちの語学能力を磨き、最新の表現力や新語をつねに身につけるようにしています。通訳者の中には高度に技術的な分野に通じ、ほとんど専門家に近い人もいます。この絶え間ない自己研磨の目的は、通訳者は自分自身を自分が通訳する相手と少しでも同じ文化水準に置こうとするからにほかなりません。『私たちには決して心臓移植をすることはできません』パリ大学の通訳学校の責任者であるダニカ・セレスコビッチ女史は語ります。『しかし、心臓移植を説明するのにたりる、十分な専門用語だけはどうしても身につけなければなりません』と。

3．原発言と訳出の間の諸プロセス

1）記憶

15ページの図で示した逐次通訳の諸プロセスの（1）と（5）の間（すなわち聴取から訳出）までのプロセスで最も困難な部分は、（3）の記憶でしょう。以下ではこれについて検討してみましょう。

まず次の例文を通訳するつもりで聴いたとします。―「ソニーの大阪工場の従業員数は4月1日現在で3,102名である。」

この文中で新しい情報は“3,102名”ということだけ。あとの“ソニーの大阪工場”、“従業員数”、“4月1日現在”などは、ここで記憶すべき部分と言うよりも単に思い浮かべる部分です。脳裏にある古い情報なのです。ですからメモをとるとすれば、3,102と書くだけでも充分でしょう。メモをしない場合でも、この数字を記憶するだけで無理なく全体を再現できるでしょう。

では、次のロシア語の文章を和訳するつもりで聴いて下さい。

― На первое июня число занятых на заводе “Чёрный Август” Читинской области составляет 3 тысячи 102 человека.

いかがでしょう？　構文は両方ともほぼ同じですが、記憶するには前出の和文の数倍もの努力が必要です。前後二つの文[1]の難易度を規定してい

[1] 両文とも、内容は実際のデータを反映したものではない。

るのは“情報の新しさ”です。後の露文例には日本人の聴取者にとっては余りにもたくさんの新しい、未知の情報が入りすぎている。つまり聴取者に背景知識、макроконтекст が不足しているのです。思い出したり、思い浮かべたりする部分が少なくて、ほとんど全ての単語に注意を集中分散せねばならず（これはかなり困難な作業)、記憶もれが生じやすくなります。

このような困難を克服するには、1）初めて聞く地名、人名などをそのまま正しく再生するヒアリング能力を不断に養う、2）地名、人名、団体、組織名などの固有名詞に出来るだけ多く目を通し、親しむように努力をし、曜日の呼び方、月の名称、数値などをスムーズに両国語に転換する練習を重ね（これらの言葉を総称して「厳密な言葉」— прецизионные слова と呼ぶ)、3）広範な百科事典的な背景知識や受け持ちの分野知識を深めることによって“思い出すだけでよい部分”を増すようにせねばなりません。

ところで、記憶には限度があります。逐次通訳では比較的長時間にわたる発言を訳すことになるので、この限度のある記憶力を補うための“メモ能力”が必要とされます。しかも聴取と記憶・メモの過程はほとんど同時に進行しますので、この能力を養うにはかなりの訓練が必要です。先人いわく、「通訳能力とはすなわちメモ能力である」と。

2）メモ

a．メモはどうとるか

どのようにノートすればよいのか。まずは日英通訳のベテラン諸氏のやり方を見てみましょう[1]。

> 西山千さんのノートというのは絵が多いらしいけれど、国弘正雄先生のノートはミミズがのたうちまわっているような字ばかりが、方向としてやや斜めに並んでいるばかり。私？　私は漢字をよく使います。象形文字としての機能を存分に活用する。それは、時間と勝負なのですから、ややこしい漢字なんて使いっこありませんよ。第一、ややこしい漢字なんて、時間があったってちゃんと書けない。

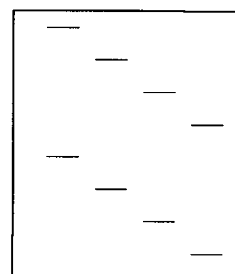
人によって千差万別です。が、ここには効果的なメモをとるための3原

1）『こんにちは鳥飼久美子です』、ジャパン・タイムズ、1971年、58ページ。

則が浮彫になっています。第一に「絵」をできるだけ活用すること。これについては西山千氏自身が別の場所で説明しているように[1]、通訳用のメモは、記録文として読んで、それによって意味を思い出すようでは役に立ちません。そんな時間的余裕はないからです。メモを見た瞬間に意味が全部わからなければならず、そのためには文章ではなく、絵や記号、略語、頭文字、矢印、丸バツ、その他単純な線（直線、波模様その他）を利用してメモを描くと効果的です。次に、「斜めに並んだ」メモには大きな意味・機能があります（次項参照)。第三に、「漢字」の持つ「象形文字としての機能」を活用すべし。漢字は強く視覚にうったえ、瞬間的な解読を容易にするからです（「憂鬱」や「魑魅魍魎」などを書くのをお勧めしているのではありません)。

b．斜め書きの原則

多くのベテラン通訳者、通訳養成者たちが「斜め書き主義」を唱えております。古い例では、J. F. Rozan が1959年に出した本の中でこの原則の効用を説いています。その後から最近に至るまで、我が国やロシアで出版された通訳論関係の文献の中でメモについての言及では、必ずと言って良いほど斜め書きの原則を紹介・奨励しています。



簡単に説明しますと、幅10センチ、長さ20センチ前後の紙の上に左図のように、横に短く、斜め下に向かって書いていくやりかたです。そもそも、左から右に向かってながなが書いていくとどうしても紙の右はじから左はじへと手を戻すためのロスタイムが生じますが、斜め書きならこの無駄がかなり省けます。と同時にメモの解読が楽になるというわけです。

立ったまま使うことにも備えて、この小型のメモ用紙の背表紙は堅いものでなければなりません。座って机上でメモを取る場合は大学ノートを（1ページを左右半分に分けて）使うと便利です。

1）西山千、『英語の通訳—異文化時代のコミュニケーション』、サイマル出版会、1988年、72—79ページ。『通訳術』、実業之日本社、1970年、127—128ページ。『通訳術と私』、プレジデント社、1979年、99—100ページ。

一般的には、①グラフィックなもの――人名、地名などの固有名詞、役職、②数字がらみのもの――日付、数字、単位、などは正確に伝えなければならず、記憶に留まりにくいので、優先的にメモすべきです。加えて、論旨の流れが一目でわかるメモにしなければなりません。

c．ミニヤール=ベロルーチェフのメモのシステム

メモについて語るとき、ミニヤール=ベロルーチェフのシステム[1]に触れないわけにはいきません。中でも興味をひくのは、いわゆる"置き換え・圧縮"のテクニックです。つまり、мы выражаем глубокую признательность と聞いてこれを мы благодарны と記すのです。同じく принимать участие в митинге протеста против は митинговать против というふうにメモするのがコツであると教えています。

また、同氏の奨励する記号体系も参考になります。その一部を紹介させていただきます。自前のメモ体系作りに活用すると良いでしょう。

①述語を表す記号

- → 伝える、運搬する、到着する、アッピールするなど。
- ← 受領する、受け入れる、引きつけるなど。
- ↗ 改善する、強化する、増大するなど。
- ↘ 悪化させる、縮小する、低下させる、減少するなど。
- = 〜である、等しいなど。
- × 解消する、消滅させる、禁止するなど。
- " 言う、声明する、命じる、報道するなど。

②時間を表す記号

- ↓ 現在、今日など。
- ↵ 過去、昨日、前夜など。
- ↪ 未来、明日、近々、後になど。
- ↦ 時期
- < 行為の開始
- > 行為の終了

---

[1] Миньяр-Белоручев Р. К. Записи в последовательном переводе. М., 1997; Последовательный перевод. М., 1969; Пособие по устному переводу М., 1969.

③一般的記号

- □ 国、地域
- △ 代表者、代議員、国会
- ○ 大会、代表者会議、会談
- M 平和*
- M² 平和勢力
- 核実験
- 核実験禁止
- 国防、防衛、保護
- 革命、クーデター
- 改革**
- ? 問題
- 重要問題
- 最重要問題
- 戦争、軍隊、軍備
- 軍縮
- ⊗ 世界大戦***
- 現状、情勢、状態
- 労働
- 生産性向上
- 労働組合
- -○- 協力、合意
- -○д 条約（договор）
- -○² 相互関係
- 〰 運動、発展、行為
- ⊙ 審議、交渉
- ♀ 指導者、上司
- 緊張、国際緊張
- 緊張緩和
- 力、手段
- ↦ 打撃、攻撃、干渉
- 不干渉
- 統一、団結
- ＋ 成長、収入、多数
- － 消費、損失、少数
- 犠牲、死者
- >< 矛盾、会戦
- 進歩、前進
- 困難、敗北、不足
- ⇄ 貿易、交換
- 必要
- 農民、農業の
- 援助、支援
- ◡ 重さ、プレスティージ、権威
- # 搾取、服従
- ooo 金、価格、価値、賃金
- 選挙、投票
- 分裂、分割

* M は мир の略号。** 記号の下の点線は"弱さ"や"ゆるやかさ"を意味する。*** ○で囲むと一般的、総括的意味が加わる。

ご覧のとおり、この記号体系の長所は、何語で聞いて何語に通訳するかにおかまいなく使用できる点にあります（例えばアラビヤ数字がそうであるように）。

d．メモ能力を身につけるには

通訳用のメモ能力は、各人が実際に通訳の場を踏む以前に習得されていなければなりません。それが理想です。実践の場でメモ能力を身につけようとする態度は通訳行為そのものの質を低下させてしまい、失敗のもととなりがちです。ですから、このような能力の養成と訓練の場（授業）が設けられることが切望されていると言っても過言ではないでしょう。

その際、数字や日付、各国地名などのようにどの専門分野にも共通して出てくるような、一般的な語彙のメモの技巧は教室で教え、専門分野の用語については各自が自分の関心に従って用語集を作り、自分でその略号・記号を考案するのを援助するという養成・訓練法が効果的でしょう。

また、メモ能力を高めるには、話者の口の動きを見ないで外国語の発言がメモできるように努めるべきです。さらに、メモをとるときに発言内容の情景をできる限り視覚化する努力が必要不可欠です。Красная площадь と言われたら即座に頭のなかで赤の広場その他のイメージを描くようにするのです。このやり方はかなり記憶・メモの作業をらくにしてくれます。ただし、このような映像がたくさん湧き出てくるようにするには視聴覚的訓練、自己訓練が欠かせません。日頃から絵葉書、写真集、テレビなどで様々な地名、人名、物事、現象などを日露両国語で視聴覚的に確かめておくとよいでしょう。

4．訳出

1）一般的なルールと注意事項

訳出も複雑なプロセスです。メモを解読すると同時に、他方で訳文を口頭で発表するからです。

先達が指摘するように、「『正確に』通訳するために、不当に長い時間をかけて推敲吟味するなどという余裕は、通訳には与えられていません。したがって忠実で正確な訳が素早く口頭で実現されなくてはなりません。そして、口頭による表現である以上、それは『わかりやすく』なければいけません。『わかりやすく』とは、明瞭な発音で、聞き手が理解しやすい構文を用いて発表するということです」[1]。

メモに目をやってうつ向いたままで訳文を読みあげるのはあまり効果的な通訳とは言えません。言い直しを最少限度に押さえ、言い差しが無いように、文章をきちんと完結させるように努めなければなりません。また、言葉につまっても「エー、ア、ウー」などの聞き苦しい音は出さないようにせねばなりません。これらの音抜きで、無言で考える習慣を身につけておくべきでしょう。

また、言葉につまったときの時間かせぎの一法として、「つなぎのことば」を準備しておくことも必要です。前後関係にもよりますが、「さらにここで、この場をお借りして申し上げたいと存じますことは（Здесь же, пользуясь случаем, мне хотелось бы отметить также, что...）」などのような表現はかなりニュートラルな性格を帯びていますので、たいていの場合はこのような表現を挿入すれば間に合います[2]。乱用は慎むべきですが、これらの言葉をゆっくり口に出している間に、メモの解読をしたり、頭の中を整理したりすればよいのです。

他方、原則として通訳者は原発言者の発言時間をオーバーしてはなりません。聴取の間に原発言の内容を整理する時間があるので（そう簡単な作業ではないが）、訳出の時間は原発言の所要時間の９割前後にするのが理想です。その能力を養うには、「音節」に注意を払うと良いでしょう。

言語学上、発話時間の長さを計る基礎的で単純な単位は「母音」とされています。「しかし、何々は」と言えばすむところを「しかしながら何々というものは」と言うのが口癖の通訳者が散見されますが、通訳者は、最小限の音節数で表現する技能を母語・外国語の両方で身につけなければなりません。その上で、実践現場では、例えばОрганизация Объединённых Нацийとゆっくり言うか、略号のООН［国連］と早口で言うかをとっさの判断で選択するのです。

1)『英語通訳の実際』、研究社、1961年、10ページ。
2) より短い表現としては мне думается; в этом плане; в данном случае; в том, что касается...などがある — Тетради переводчика. Научно-теоретический сборник. № 22. М., 1987. с.78.

訳出に関連してもう一言。発言者が自分のことを一人称で話した場合、通訳されることばも一人称でいいあらわされ、「〜とこの人は言っています」などとはいわないのが原則です。発言者が《Я...》と言えば通訳者も「私は……」と訳すのがプロのルールです。

2）訳出 ＝ コード転換

上智大学ロシア語学科の教授で、通訳も翻訳も実に自由にこなした森俊一氏（故人）は、通訳・翻訳について、「基本的には言い換えだと思う。まず、日本語らしい日本語をロシア語的な日本語に一度言い換えて、そのロシア語的になった日本語からロシア語らしいロシア語へと訳すという段階的なプロセスであり、通訳者はこれを瞬間的にやっている。」と通訳仲間や学生たちに常々持論として説いていました。そして、この日露・露日のコード転換を、「瞬時・段階的なプロセス」と表現しました。

補足するなら、それは単に「線的なプロセス」ではなくて、「幅や奥行きを持つプロセスである。」と定義すべきでしょう。すなわち、この、記憶の再現とメモの解読と発話が同時に進む形で行われる訳出（日露双方言語へのコード転換）は、口頭表現と並行して主に以下の4段階のプロセスが脳内で瞬時に流れることで可能になります。具体例で見てみましょう。

①「レモン」と聞いてすぐに脳裏に「黄色くて酸っぱい」レモンの絵が浮かぶプロセス。何語ででもなくて、意味として、いわば映像が一旦脳裏に浮上し、それを訳出の言語、例えばロシア語で **лимон** と表現する。ほかの例を挙げると、日本語で「五（ご）」と聞いて脳裏にアラビア数字の「５」が浮かび、それをロシア語で「**пять**」と表現するプロセス。

②上記のようなプロセスがより深い思考・理論レベルで進み、原発言が言おうとする情報・意味・ロジックが脳裏に浮かび、それを訳出の言語で表現する。

③上記２のプロセスで、原発言の表現が直訳では伝わらないと判断した部分については訳出の言語で理解できる表現に即座に言い換える。つまり、深層の意味レベルでの日本語から日本語への言い換えが瞬時に行われ、ロシア語の文法やロジックに合致した言い方・表現が「迎えにくる」、「捕捉にくる」プロセスがある。

例えば、日本語で「住民参加と自治革新の問題」、「日本人の政治感覚」と聞いて即座に “**участие населения в местном самоуправлении и проблема его реорганизации**”, “**отношение японцев к политике**”など、ロシア語としてロジカルな表現にするのがそれ。

④原発言の単語群や表現が即座に理解できなかった場合にのみ、とりあえず逐語訳にしておく。つまり日→露・露→日への機械的な（純粋に言語・記号レベルでの）ことばの置き換えを行い、後の通訳過程で意味が判明するのに期待する。ただし、可能なら、この理解できなかった点を原発言者に問いただすことで、この④を③のレベルに引き上げることもできる。

このような作業がスムーズに、すべて条件反射のレベルでできるようになるには、長い経験と訓練が必要です。

3）訳出の基本手法

上記のこととの関連で、何語から何語への訳かにかかわらず、一般的に訳出の際に広く用いられる方法を例示しておきましょう。

(a) **描写的な訳。борщ**（ボルシチ）を「ブイヨンにビート・ニンジン・タマネギ・キャベツなどの野菜と牛肉を煮込んで各種調味料を加えたスープ」というように描写的、記述的に説明する方法。訳が長くなりがち。

(b) **概念の具体化。фрукты**（果物）を **яблоки, груши, апельсины и т.д.**（リンゴ、セイヨウナシ、オレンジなど）と訳す方法。

(c) **概念の一般化。фрезеровщик**（フライス工）を **рабочий**（労働者）、**цикламен**（シクラメン）を **цветок**（花）と、総称・一般的な表現で訳す方法。

(d) **反対語・反意表現による訳。Я всё помню.**（私は全部覚えています。）を **Я ничего не забыл.**（私は何も忘れていません。）と訳したり、**Вы должны молчать.**（あなたは黙っていなければなりません。）を **Вы не должны говорить.**（話してはいけません。）と訳したりするように、原発言の内容を変えない枠で、反対語法を用いて訳を作る。「〜が言われ出して以来久しい」を「〜を耳にして以来久しい」と訳すのも同じ方法によるもの。

ただし、**Она улыбнулась.** の代わりに **Она не заплакала.** としても反意表現を利用した訳とは言えないように、機械的な適用だけでは対応できな

い点に注意。あくまで論理的な思考を放棄してはならない。

(e) 概念の論理的発展による訳。 因果関係や部分と全体の関係を利用したり、概念の内部的関連を生かしたりして訳を作る方法。новая песня кого-либо（誰々の新しい歌）を последний успех кого-либо（誰々の最近の成功／ヒット）としたり、ответственный（責任者）を руководитель（指導者）のように「責任を負うなら、すなわち指導者」という、一般論理の枠内で言い換えたり、мучиться, как Гамлет（ハムレットのように悩む）を мучиться, как тот датский принц（例のデンマークの王子のように悩む）のように「シェークスピアの四大悲劇の主人公の一人であるハムレットはデンマークの王子である」という関連を踏まえて訳す、などがこの方法の例で、論理学的な操作能力と知性・教養がものを言う。

4）逐次通訳とモノローグ

ところで、逐次通訳といえば、これはモノローグ[1]を訳すことである、と言って差しつかえないでしょう。この場合、通訳者の訳も当然モノローグという発言形式で行われます。このモノローグ形式で効果的な訳文を作るテクニックが求められます。

通訳の現場を見てみますと、挨拶、演説、講演はもとより、商談、交渉でさえ、そこで使われる発言形式はモノローグです。会話、対話、インタビューといえども、各人の発言はモノローグに近いのです。

ダイアローグとモノローグを比較すると、次のことが言えます。すなわち、会話の場合には言い差しや省略、不完全文などによって話を進めることも可能です。話し相手が質問や相づちをはさんだり、こちらが言い出した文章を完結したりしてくれることもよくあります。しかしモノローグは

1) устная монологическая речь. 以下はモノローグの特徴についての指摘です。
— Доклад перед аудиторией, ответ учащегося перед классом вынуждают заблаговременно спланировать и запрограммировать всё сообщение, чтобы речь, была организованной и связной. Монологическая речь, кроме того, требует мобилизации психических возможностей: направленности внимания, активности мышления и памяти, владения голосом. Эти качества вырабатываются при специальном речевом воспитании и в результате систематической ораторской и педагогической практики — «Психолингвистическая и лингвистическая природа текста и особенности его восприятия». К., 1979. с.127.

ダイアローグよりも系統的で一貫性、自己完結性のある発言でなくてはなりません。

ところが、筆者の恩師 A. A. Акишина 氏も指摘されたように、多くの「学生は一応、文はつくれるが、文と文との結合がうまくいかない」[1]という弱点を持っています。これはモノローグに弱いのだということも意味します。この点を改善すべきだ、として同氏は次のような提言をしています[2]。

> 現在まで、専らダイアローグに我々メトジストは注意を向けて来たが、ダイアローグは所詮受け答えであり、事物に対する評価を加える意味ではモノローグでなければならない。ダイアローグだけでは他人と意見を闘わせ、他人を説得することは望めない。あらゆる事物に対する自分の思想をまとめて発表し、相手を説得するような教え方を考えるべきだ。

通訳能力の育成という観点からすると、この指摘はより一層重要な意味を帯びてきます。

モノローグに要求されるもの、その要求に応えるものは何かと言うと、まず「整然かつ脈絡ある発言」（связная речь）[3]です。そしてこれを可能にするものとして「文と文をつなぐ諸手段」、一定の「文順」、「パラグラフ（段落）構成」などが挙げられます。これらについては後に詳しく触れますが、このようなモノローグ作成の技術に通じていなければ訳文は支離滅裂になってしまいますので、通訳者の養成・訓練・学習に際しては充分注意が要ります[4]。

1) 工藤明、『東京ロシア語学院創立50周年記念文集』、東京ロシア語学院、1999年、26—27ページ。
2) 同上、27ページ。
3) Зарубина Н. Д. Текст. Лингвистический и методический аспекты. М., 1981. с. 3—9, 98—101.
4) (...) задачу обучения устному монологу составляет владение способами соединения предложений в единое целое.(...) конечная цель обучения — неподготовленная речь без заранее заданного содержания. — Митрофанова О. Д. Научный стиль речи: проблемы обучения. М., 1985. с.164.

5）スピーチの訳出に備える

モノローグ形式の発言のなかで通訳者にとって一番むずかしいのは公の場でのスピーチでしょう。スピーチの通訳に失敗する人には二つのタイプがあると言われます。一つは、スピーチに特有の言いまわしだけは上手に訳せるが、いざ内容そのものになるとメチャクチャな通訳をするタイプ。もう一つは、原発言者の言わんとするところはかなり正確に訳せるのに、全くスピーチの礼儀作法を無視している（勉強していない）タイプです。

スピーチというのはかなり儀礼的なものですから、情報を伝えるだけでなく、儀礼にかなったものとして通訳しなければなりません。そのためには日露両語のスピーチの決まり文句（そんなに多くない）をしっかり覚え、その対処法に慣れておかねばなりません。

具体的には、ロシアの新聞や雑誌に載る要人のスピーチに頻出する表現を、以下に挙げる諸グループに分類して記録・収集することから始めると効果が著しいようです。1）呼びかけ、2）冒頭、切出し、3）歓迎、お祝いの挨拶、4）祈念、期待、願望、確信、5）喜び、感動、名誉、6）お礼、感謝、7）敬意、8）支持、支援、9）業績の承認、10）哀悼、11）結びのことば、12）万歳、乾杯のことば、13）その他スピーチによく使われる表現に富んだ成句、比喩、ことわざ、等々。その基本パターンの大方は、後のスピーチの項で整理します。

なお、スピーチの場合などは典型的な例ですが、通訳者は常に大勢の人前で話すという心理的な負担を心中に秘めて仕事をせねばなりません。これは通訳者にとどまらず、人前で話をする人たちの多くに共通する心理状態です。ですから、日頃から、日本語ででもよし、大勢の前で自分の意見や考えを口頭で表す機会があればこれを積極的に活用していく気構えが欲しいものです。

6）心理的な側面

実際に通訳の場に立たされたら、いかにまずくても、失敗しても、「今日、ここで僕（私）なんかが通訳させられているのは、他の優秀な通訳者が忙しかったからだろう。これでも誰も居ないよりはましだ！」と覚悟を決めてかかるより他はないようです。そもそも最初から出来上がった通訳者などはあり得ないはずです。常にどこか、何かが未熟なはず。そんな人たち

が少々トチッたとしても寛大に見て欲しいものです。喧嘩や戦争にさえならないなら、若干の誤訳も許されるべきでしょう。

大人になって覚えた外国語が完全無欠から程遠いのは当然です。分からないところがあったら、場合によっては二度でも三度でも分かるまで聞きかえすべきでしょう。それが通訳者の誠実さを裏付けることもあります。

通訳・翻訳論の権威 B. H. Комиссаров 氏も、最近ロシアで出版した著書で、通訳行為のプラグマティックな側面に深い理解を示して次のように書いています[1]。

> 周知のように、たびたび通訳者（特に極限状態で働く同時通訳者）は、原発言者の意見の要点だけを伝えるだけで満足し、原発言の意味内容を圧縮するとともに、省略、オリジナルからの逸脱、さらには言い違い、誤訳をもせざるを得ないのだ。通常は『最大限の正確さ』が通訳の主要課題として提起されない、というのは偶然ではない。

さらに、筆者が旧ソ連のゴルバチョフ大統領やシェワルナゼ外相らの同時通訳を一緒にさせていただいたことがある、ロシアの英露通訳者のパラシチェンコ氏も、最近出した著書の中で以下のような励ましのメッセージを後輩たちに送っています[2]。

> もし、どうしても拙い状況が避けられない場合には、以下のような〈行動パターン〉が提案できる：
> (a) 後の訳出の過程で修正することを念頭に置きながら、原発言から聞き取れたキーワードを使って、その場の状況と矛盾せず、どのような場合にでも当てはまるような何かを即興で言っておく；
> (b) 詫びを入れて、騒音もしくは注意がそがれる客観的な要因のせいにして（後者はより望ましくない方法）、もう一度繰り返してもらう；
> (c) 何事もなかったような振りをして、そのまま通訳を続けるか、あるいは……；

---

1) Комиссаров В. Н. Общая теория перевода. М., 1999. с. 43.
2) Чужакин А., Палажченко П. Мир перевода. М.,1999. с.55.

(d) 身の回りの持ち物を集めて、静かに退場する（冗談）……

もちろん、最も優先すべきヴァリエーションは(a)と(b)。このような場合、通訳者を使ってコミュニケーションをする側（演説者や会談を行っている者)、つまり情報の発信者の行動も大きな役割を演じる。

以上、通訳者の心得についてだけでなく、通訳を依頼する側も一定のコツを身につけておくべきだという教訓にも言及しています。通訳者が空回りしているのに気づいた原発言者は、通訳者の顔をつぶさないように、すでに言ったことを他の、平易な言葉でさりげなく繰り返したり、より分かりやすい新しい事例を挙げて説明したりするなどで誤解を回避した上で、発言を先に進めるのが理想的です。これはもう、通訳者の力量問題の枠外ですが、通訳者を通じて効果的なコミュニケーションを行おうと願う側にも、それ相当の能力が求められるということなのです。換言すると、通訳の良しあしは、通訳者を使う原発言者のコミュニケーターとしての技量にも大きく左右されるので、「通訳の問題は通訳者だけの問題ではない」ということです。

結びに、格言を一つ。

「国際会議の通訳者に対する報酬は、その訳しぶりに対してではなくて、話し方に対して支払われる。」[1)]

そう昔から言われるほどですから、日本人なら日本語の話し方も本格的に学ばねばなりません。

5. トレーニングの方法

通訳トレーニングに関しては、主として英語がらみの参考書にほぼ出尽くしていますので、ここではロシアで普及しているトレーニング方法の一

[1)] «На международных конференциях переводчику платят не за то, как он переводит, а за то, как он говорит». — Миньяр-Белоручев Р. К. Как стать переводчиком? М., 1999. с. 76.

部を簡単に紹介しておきます。原則として、音声がらみの訓練では、ネイティブのスタンダードなロシア語を吹き込んだテープ（CD）を教材にします。訓練が進めば、例えば街頭インタビューのような、即興のロシア語発言なども教材にします。

以下の訓練は、一応、易から難への順に記しましたが、これらを組み合わせて螺旋状に発展させるのが効果的です。その際、易から難へは3方向で移行します。筆者がわが国の外務省で同時通訳を含むロシア語通訳集中訓練を受け持っていたときも、この原則を適用しました。すなわち、①作業・動作そのもの複雑化（一つから複数の単語へ、など）②作業・動作の条件の複雑化（スピードアップや一度に処理する分量の増大）③言語材料の複雑化（語彙と文章の複雑化、新しいテーマ・教材への移行)、がそれです。

1）単語・フレーズへの反応訓練

例えば、発音学習用など初歩のロシア語の単語が入ったテープ（CD）を聞きながら、それをロシア語で繰り返します。最初は1単語づつ区切って繰り返しますが、慣れてくれば5つ前後の単語を聞いた後で、それらを口頭で繰り返し、テープを戻して成否や相違を確認します。

次の段階では、こうして一区切り聞いたロシア語の単語を日本語で言います。

その次は、初歩のロシア語会話のテープで、1文章ごとに区切って同じ練習を続けます。無理な背伸びをする必要はありません。マイペースでやることです。

発音、反射神経、短期的な記憶力が鍛えられるとともに、語彙も定着します。

2）シャドーイング（shadowing）

以上の練習に慣れてきたら、片耳にイヤホンを付けて、テープの音が聞き取れるようにボリュームを調節した上で、テープのロシア語を聞きながらただちにそれを繰り返してついていきます。シャドーイングと言われ、影のように後をついて話していくことに由来した訓練の名称です。イヤホンを片耳にだけ装着するのは、もう一方の耳で自分の声を聞くため、自分

の発話内容を常にチェックするためです。それには、自分の声のボリュームをテープの音量より低くするのがコツです。始めは日本語で試してみて、慣れてきたらロシア語に移ります。

ロシア語への反応と集中力を高め、発音、力点、リズム、イントネーションを身に付けるのに有効です。やってみると、正確に聞き取れなければ、そして理解できなければ正しく繰り返せないことに気付きます。実はこれは、リスニングにも役立つ訓練で、自分のパフォーマンスを録音しておいて聞きなおすと良くわかります。ロシアでもこの訓練は広く取り入れられています。

3）数字への反応訓練

最初は、1～2秒間隔で吹き込まれた数字（日露両言語）を聞きながら、機械的に口頭で繰り返します。慣れない間はテープを適当に止めてもかまいません。次は、聞き取りながらメモを取ります。その後は、メモをとった瞬間に和露、露和通訳を試みます。

この訓練では、ロシア語だけ、日本語だけ、両言語混在などの組み合わせで、位取りも含め徐々に難易度を上げていきます。

慣れてきたら、数字に度量衡を加えたものや、数字を含む色々な表現・文章を取りあげて、上に記した順序で練習を積みます。87.5％、3.3平方メートル、36億720万ドル、GDPの6分の1、時速203キロ等々、国際コミュニケーションの現場で頻出する数字[1]に関する表現を集めたテープを利用すると効率的です。

4）その他の厳密な言葉への反応訓練

曜日、年月日への反応力を身につけることから始めて、в Риме, в Лиме, в Швейцарии, в Швеции, в Австралии, в Австрии, в Ливане, в Ливии, в Молдове, в Мордве など世界の地名、さらに人名や組織・機関名、頻度の高い略語などを聞き取り、再現し、訳出する練習を重ねます。メモを使う練習も並行します。

[1] 決して好ましいことではないが、現場では、517万と聴いて、とりあえず「500万強」、「数100万」などと、最大の単位だけを伝えておく方法も広く用いられている。

例えば、Читинская[1] область（チタ州）、Ближний Восток（中東）[2]、Афины（アテネ）、Аристотель（アリストテレス）、Мефистофель（メフィストフェレス）、Тяньаньмэнь（天安門）[3]、Пханмунджом（板門店）、Ким Чен Ир（金正日）、Ким Дэ Чжун（金大中）、Цзян Цзэминь（江沢民）、агентство Синьхуа（新華社）、государственный секретарь США（米国務長官）、ЭСКАТО（国連アジア太平洋経済社会委員会［ESCAP］）など、ごく一部をアトランダムに出しただけでも、この訓練の守備範囲が膨大なことがお分かり頂けるでしょう。まさに古今東西の小百科事典の世界です。勿論、元素記号や星座名も通訳の仕事に無関係ではありません。これらの和露双方の言い方を瞬時に長期的な記憶から引き出せるようにします。滅入ってはおられません。練習を積み重ねるしかないのです。

これらを日ごろから収集し、手帳サイズのノートに書き込み、時間を見つけて何度も反復するようにしましょう。この作業を一生続ける気構えが必要です。

5）注意の集中・分散の訓練

短いロシア語ニュースを複数録音したテープを聴きながら、口では小声でイチ、ニー、サン、シー……と数字を唱え、一つのニュースが終わり次第、聞き終わったばかりの内容を日本語に翻訳します。初期の段階では、主題「何についてのニュースか」を言えるようにする訓練でも十分です。「見出しは何か」について答える練習から始めるのも極めて効果があります。後に翻訳から通訳に移行します。最初はメモに頼るのは困難ですが、慣れるに従って自然に手が動くようになれば、かなりの習熟度に達したと判断されます。一度に複数の作業を行うので、通訳には欠かせない、注意を集中・分散（配分）する能力の育成に役立ちます。

この訓練の導入部では、全ての作業を日本語で試すのも後々のために効果的です。

[1] Чита の形容詞。「チチンスカヤ州」というのは存在しない。
[2] ほとんどの辞典は「中東」を Средний Восток としているが、間違いである。
[3] 中国の地名や人名が出てくると、しばしばお手上げ。黒竜江は Амур だが、黒龍江は Хэйлунцзян だったり！

6）テキスト→メモ→通訳

まず適当な長さのロシア語の時事テキストに目を通しながら、極力、図絵や記号を駆使してメモを作ります。次にそのメモをもとに和訳文を作り、ロシア語の原文と照合して相違点をチェックしてみます。

上の練習でかなり正確な翻訳が出来るようになれば、メモをもとに口頭で和訳文をアウトプットする練習に移行します。

この訓練は、ことばではなくて意味・情報を伝える通訳能力の育成に役立ちます[1]。慣れてくれば和露に移行します。

7）サイト・トランスレーション

テキストを黙読しながら、意味が成立する単位ごとに最初から訳し下していく練習のことで、略してサイトラ（視訳）とも呼ばれます。例えば以下のように区切って訳し下しをします。

Частично удовлетворив требования сенаторов, / Госдума приняла
部分的に上院議員の要求を満たして / 下院は
компромиссный вариант закона / о формировании СФ, / спешно
法律の妥協案を採択したが / これは上院編成に関するものであり /
доработанный согласительной комиссией / под чутким
あわただしく調停委員会が推敲したもので /
руководством Кремля.//
これはクレムリンの繊細な指導下で行われた。

こうした訳文は少々くどく、正確度を欠くかも知れませんが、「クレムリンの繊細な指導の下に調停委員会によって推敲された、上院編成についての法律の妥協案……」とさかのぼらずに、目で読み進みながら訳すので、

[1] メモについては既に言及しましたが、日英同時通訳の経験の長い松尾弌之・上智大学教授も興味深い体験談を披露しています——「私は長い間通訳をしていた。そのとき先輩のヨーロッパの通訳からくどくど言われたことがある。通訳用のメモは絵でとれ、字でとるな、と。字でメモをとってする通訳はたんなることばのおきかえに終わりうわすべりの翻訳になる。絵でメモをとる時に初めてほんとうのコミュニケーションが成り立つというのだ。」——同氏著、『国際交流SPEAKING』、筑摩書房、1988年、95ページ。

余計な目の動きが少なくなり、ロスタイムも最小限に押さえることが出来るのです。

8）訳出の柔軟化の訓練

上の例文は частично を「部分的に」と訳すことから始めましたが、この「訳し下す」訳出法とは別に、訳出を柔軟にする訓練があります。

例えば удовлетворив から訳し始めて、「満たした上院議員の要求は部分的であったが、とにかく下院は法律の妥協案を採択した。これは上院編成に関するものであり……」と訳し下していきます。

次は、требования から訳し初めて、「要求は上院議員のもので、これを部分的に満たして下院は……」と訳し下しを試みます。さらに、сенаторов の部分から始めて、「上院議員の要求を部分的に満たして下院は……」という語順で訳し下します。

つまり、文章の途中に位置する言葉から始めても、一応筋の通った訳文を完成する訓練です。これを積み重ねておくと、メモの判読につまずいたり、複雑な構文を単純な構文に転換して訳出を楽にしたりするときに大いに救われます。

9）言い換えの練習

あるロシア語の文章を聞いて、即座にその意味内容を他のロシア語の文章で伝える練習。これはロシア語運用能力の向上[1]のための練習をかねるとともに、記憶力と集中力を養います。さらに、情報伝達能力の育成にも役立ちます。あらかじめネイティブのトレーナーが作成したドリル集をもとに、ネイティブが訓練を行うのが理想です。例えば、下記の左側のロシア語の文章を聞いて、右のように言い換えます[2]。

• Он сюда не приходит. → Он здесь не бывает. / Я его здесь не вижу.
• Она там почти не бывает. → Мы её там редко видим.

[1] «Думается, при изучении иностранного языка на продвинутом этапе целесообразно привлечение широко понимаемых синонимических средств». — Митрофанова О. Д. Научный стиль речи: проблемы обучения. М., 1985. с.111.
[2] Комиссаров В. Н. Лингвистика перевода. М., 1980. с.73.

• Ночь уже почти миновала. → Скоро наступит рассвет.
• Он хорошо сохранился. → Он выглядит моложе своих лет.
• Мы такими делами не занимаемся. → Это не по нашей части. / К нам это не имеет отношения.

もう一例、Студенты сидят в зале и слушают лекцию.という文[1]。こうした文章を、少々のニュアンスの違いには目をつぶって、さまざまな表現で言い換える練習です。

(1) Студенты, которые сидят в зале, слушают лекцию.
(2) Студенты, сидя в зале, слушают лекцию.
(3) Студенты, сидящие в зале, слушают лекцию.
(4) Студенты, которые слушают лекцию, сидят в зале.
(5) Студенты, слушающие лекцию, сидят в зале.
(6) Студенты, слушая лекцию, сидят в зале.
(7) Сидящие в зале студенты слушают лекцию.
(8) Слушающие лекцию студенты сидят в зале.
(9) Студенты во время слушания лекции сидят в зале.
(10) Сидя в зале, студенты слушают лекцию.
(11) Слушая лекцию, студенты сидят в зале.

10）パッケージ表現の習熟

この他、ロシアでは、「適当な状況を思い浮かべてお礼のスピーチをしなさい」「お悔やみを言いなさい」というスピーチ・表現訓練も盛んです。

それに対処するためには、あらかじめ、そうした決まり言葉やパターン表現など、いわゆる「パッケージ表現 упаковочные выражения」を多数身につけておく必要があります。「～に対して心から御礼申し上げます」と言う場合、個々の具体的な中身（～）は違うが、それを包むには一定の決まりことばで用が済む（Разрешите выразить вам сердечную благодарность за ～）、ということから「パッケージ表現」と呼ばれるのですが、それらは本書の第２部の大部分を占めていますので、訓練にもご活用下さい。

1) 以下の言い換えの例は、Былинский К. И. Язык газеты. М., 1996. с.127.より。

なお、「自主トレ」の一環として、常に新聞雑誌に目を通し、自前の単語・用語・表現集を作り、テレビ・ラジオ・ビデオなどの視聴覚教材に接して、ヒアリング能力を高めるとともに、メモ能力の向上を目指し、あらゆる分野の背景知識を広げ深める努力をする必要があることは言うまでもありません。そして、メモをもとに訳文をテープに吹き込んだ後、自分の話し方や訳の過不足を常にチェックするのも、何かと気が進みませんが、欠かせない練習です。

さらに、ネイティブのロシア人の友達と頻繁にロシア語でメールを交わしたり、ロシア語のインターネットで毎日の主なニュースをチェックしたり、ネット上のロシア語ラジオ放送を聞いたりという、最新ツールを利用した自分なりの実力維持・向上方法を編み出すのも、クリエーティブで楽しい作業になるでしょう。

他方、無駄のない日本語の表現法、パフォーマンスを常に心がけるという対極の学習目標も忘れてはなりません。これについては既に指摘しましたが、意外と「敵は本能寺」かも知れません。ベテラン日英同時通訳者の小松達也氏は、あまりにもその日本語の話し方が素晴らしいので、「あの人は、アナウンス学校に通って母語の日本語を磨く努力をしたから、こんな素晴らしい通訳者になったそうですよ」と、テレビ局の職員たちから陰で称賛されていました。

あるとき筆者がこれについて直接本人に尋ねたところ、ご当人は、「そんな訓練を受けたことは全くありませんよ」と、苦笑しながら真っ向から否定しました。が、とにかく、そのような、まことしやかな風評が伝わるほどプロフェッショナルな母語の使い手になれるというのは、ひとえに快感。まさに努力目標[1]の一つでしょう。

1) その小松氏いわく、「通訳の仕事は色々な要素を含んだ総合的な『パフォーマンス』だ。その中で、言葉自体が占める割合はせいぜい30％ぐらいだろうと思う。言葉以外に、通訳技術、知識、自信や落ち着き、声の質などの要素が加わる。」―「通訳奮戦記」、1997年2月5日付、日本経済新聞（夕刊）。

Ⅲ．会話からスピーチへ ― モノローグの構成技法

通訳能力の育成やロシア語教授法に触れた中で、会話とともに、あるいはそれ以上に、モノローグに習熟することが重要だと指摘しました。その延長としてスピーチ技法の学習が必須であることも強調しました。以下では、日本語とロシア語の間にある言葉遣いや発想法の違いを踏まえた訳出方法や、脈絡のある整然としたロシア語の訳文作成法などを探りつつ、モノローグの技法の基本を解明したいと思います。

1．日本語を論理化するプロセス

通訳や翻訳をするとき、一番気になるのは、原文が論理的かどうかということです。なぜかというと、残念ながら、しばしば日本人の発言や文章には、西洋ロジック（形式論理学）では許されない省略や飛躍、矛盾、あるいはぼかしなどが少なからず含まれているからです[1]。そして他方、これを露訳する場合はあくまで形式論理の枠内で行わなければならないからです。この点は、自らロシア語で直接コミュニケーションをするときにも気を付けなければなりません。

事情は英語でもまったく同じです。例えば同時通訳者としてのキャリアも豊富な松本道弘氏は次のように書いています[2]。

> 英訳しようとするプロセスは私流にいえば、日本語をより論理化するプロセスでもある。大和ことば（フィーリング・ランゲージ）を英語に訳すには logic（reasoning）の勉強が必要である。それでなければ、単語の置き換えだけでは欧米人にコミュニケートできないからだ。

1) 日本語と論理の問題を論じた中で、大出晃氏は、「問題は、論理的な筋道をはっきり出すような表現法を好まないという、日本人の気風にあります。」と問題の一端を指摘している ― 『日本語と論理』、講談社、1988年、205ページ。
2) English Journal、1979年3月号、39ページ。

さらに、英文学者の中村保男氏も日本語と欧米語を比較して次のように指摘しています。

> 日本語は、また、論理的な言葉ではないとよく言われる。正確には、日本語には西欧流の論理が比較的に希薄であり、それとは異質な、感情的論理とでもいうようなものが多く流れている、というべきだろう。この日本流の論理は、1例を挙げれば、2つの項をつなぐ説明を省く飛躍の論理であるが、問題は、著者があえてしてこの飛躍を意識していないことである。英語にも表現の飛躍はあるが、それは意識的に飛躍の効果を狙っている場合が多い。日本語における飛躍は、日本語の構造そのもの、日本人の発想そのものに内在している飛躍であると言える。日本語特有の反復・重複についても同じことが言えよう[1]。

この「日本語を論理化するプロセス」で重要なのは、日本語の原文（原発言）の、1）文中あるいは文と文の間に省略されている言葉を発見し、それを訳文の中に補ってやること、2）段落間の（論理的）飛躍を適当なブリッジ（つなぎの言葉）で埋めて筋を通すことです。こうすることによって、整然とした露訳文（**связный текст**）、発言（**связная речь**）がかなりの程度可能になります。以下、これについて考察してみましょう[2]。

1）何をどこまで補うか

ロシアの通訳・翻訳論ではかなり以前から、原文にはない適切な言葉（**уместные слова**）を付け加えて訳出する作業（**добавления**）が研究・奨励されています。まず、その英文露訳の例を見てみましょう[3]。

(1)　pay claim → требование **повысить** зарплату
(2)　wage strike → забастовка **с требованием повышения** заработной платы
(3)　gun license → удостоверение **на право ношения** оружия

1) 中村保男、『翻訳の技術』、中公新書、1981年、39ページ。
2) 和文露訳の際に日本語の『省略的表現構造の特徴』に注意しなければならないことについては、既出の『ロシア語通訳読本』、ロシア語通訳協会、1994年版の29―33ページにも詳しい記述がある。
3) Бархударов Л. С. Язык и перевод. М., 1975. с.221―224.

(4) oil countries → страны-**производительницы** нефти
(5) electricity cut → сокращение **подачи** электроэнергии
(6) solid engine → двигатель на твёрдом **топливе** [1]
(7) the road plans → планы **строительства** дороги
(8) workers of all **industries** → рабочие всех **отраслей** промышленности
(9) **defences** → оборонительные **сооружения**
(10) modern **weapons** → современные **виды оружия**
(11) veneer machine → машина **для производства** фанеры
(12) The President's energy message → заявление президента **по проблемам нехватки** энергоресурсов
(13) The new American Secretary of State has proposed a world conference on food supplies. → Новый государственный секретарь [2] США предложил **созвать** всемирную конференцию **по вопросам** продовольственных ресурсов.
(14) There are other **philosophies** of the past which give strong support to the Humanist position. → Существуют и другие **направления** (или: **течения, теории**) прошлого, которые оказывают решительную поддержку концепции гуманизма.

以上、原文で「形式上は表現されていない部分」[3] の言葉を補わなければ、ロシア語の規範（нормы русского языка）にかなった訳文にはならないことは明白です。この点を踏まえて、より身近な、和文露訳の問題に移りましょう。ロシアの新聞記者A氏の助けを借りて小実験を行いました。まずは次の和文をご覧下さい。

日本にとって1980年は、世界的な経済動向の中で、減量経営、首切り合理化賃金抑圧の政策が一段と強められた年であった。

このような原文を筆者は、日本語をまったく知らないA氏に露訳して見

[1] «твёрдый двигатель» ではない。
[2] 既出だが、государственный секретарь США は、「米国務長官」のこと。実質は外務大臣プラスアルファーの役割。ロシア語では略して госсекретарь とも言う。
[3] «формальная невыраженность» — Бархударов Л. С. Язык и перевод. М., 1975. с.221—224.

せました。その際、これを最大限逐語訳し、どうしても無理がある所だけを意訳するにとどめ、いわば日本語の構造と発想がすけすけの訳文ができるように努めました。出来上がったのは次の文です。

1980 год, прошедший в условиях ухудшения экономической конъюнктуры стран капиталистического мира, для Японии был годом дальнейшего форсирования политики сдерживания роста заработной платы, свертывания производства, капиталистической рационализации производства, влекущей за собой массовые увольнения трудящихся.

実験のねらいは、日本語が透けて見えるような露文を見た（聞いた）ロシア人はこれをどう解釈するだろうか、を解明することでした。和文露訳の過程で、単なる言葉の置き換え以外に必要な作業は何か、を探ってみようとしたのです。

A氏は、上の筆者の訳をできるだけ生かしながらも過不足のない露文を作るにはこうすべきだ、として次のような文を作りました。

Прошедший 1980 год для Японии, как и других развитых капиталистических стран мира, был годом дальнейшего ухудшения экономической конъюнктуры и снижения жизненного уровня народных масс. Он был годом форсирования политики сдерживания роста заработной платы, свёртывания производства, капиталистической рационализации производства и массовых увольнений трудящихся.

一番問題となった箇所は「世界的な経済動向の中で」の訳し方でした。言うまでもなく、これを“忠実に”в условиях мировой экономической тенденции としたところで、それが意味するところは余りにも漠としていて、結局何も言わないに等しくなります。「それでもいいじゃないか、本人がそう言ってるんだからそう訳しておけばいいんだ」という前世代の翻訳家や通訳者もいますが、必ずしもそれが良いとも言えないようです。何か他の方法もあるのではないか、と考える人も少なくないはずです。

さて、この「世界的経済動向」というのは、どうやら何よりも先ず世界

的経済不況、いやいや、この時点では社会主義国の経済不況をうんぬんするほど実態は悪化していないから、資本主義圏の経済不況を指しているのであろう、というわけで（一定の批判は覚悟の上で）筆者は、先に挙げたような、より具体的な訳にしました。

ところがどうでしょう。ロシア人はこれを、不況は先進（развитые）資本主義諸国に特有であったとする観点から書き直しております。しかも、...для Японии, как и других развитых капиталистических... というスマートな構文を使って。

さらに、原文には全く見当たらない ...и снижения жизненного уровня народных масс までもが盛り込まれています。この部分は、次に来る文中の諸現象の列挙が単なる羅列に終わってしまわないために、意識して付け加えた概括的な言葉（обобщающее слово）です。

通常、概括的な言葉が先に出て来た場合は、その具体化（説明）が要求されます。ですから、こうしておけば後の форсирования..., свёртывания..., капиталистической... という現象列挙への移行がスムーズになるというわけです。つまり、一般から個別へという論理的流れが保障されるのです[1]。

このような二重翻訳の作業をしていくうちに、原文と訳文の間にどの位の差が生じ、その差がはたして容認できるものかどうかについては色々と意見もあることと思われます。けれども、「そのまま訳せばよい」というものではないことだけは明白です。

現に、ロシア国営イタル・タス通信社（ИТАР-ТАСС）東京支局勤務の池田さんも、日常的に「原文に隠れていることばを訳出の際に掘り起こしてやる技術的な処理」に追われている様子を具体例と共に記しています[2]。

以下、ご本人のご了承を得て、大変興味深い部分を2ページ強に渡って引用させていただきます。ここでは、2000年9月にプーチン・ロシア大統領が公式訪日する直前、自民党幹部が日本の新聞記者に日露関係を語った部分の和文露訳が問題になっています——

1) さらに言い換えれば、欧米語に強く流れている why－because（まず結論、そしてそのあとで理由をつける）という発想の図式が確保されるのです。

2) 池田陽子「駆け出し翻訳官の苦悩」－ロシア語通訳協会会報・2000年10月号。

イタル・タス通信社の翻訳官として和文露訳上の愚痴を聞いてもらうべく、集めた資料の一部をご紹介します。

鈴木宗男・自民党総務局長へのインタビュー（注：私が訳すべき箇所は以下の『』内の部分だけでした。）

鈴木氏：『平和条約というのが木の幹であって、一番大きな領土問題等が枝葉となってついて歩くんだ、と。木の幹の平和条約ができれば、解決すべき問題はおのずからついて来るというのが私の考えだ。外交というのは相手がある。しからば日本の主張だけをして解決できるものではない。相手の名誉と尊厳も考えてあげないといけない。お互い歩み寄るしかないと思っている。』

記　者：領土問題は「枝葉」ですか。

鈴木氏：枝葉と言うと誤解を招く。一体のものだ。一体だから、絶えずついて歩くということだ。

この文の処理はそれほど単純ではありませんでした。「枝葉」とは？　領土問題は「二次的なもの」と言っているのだろうか？　いや、この人の背景からそんな発言が飛び出すわけがない。記者も「枝葉」という表現に疑問を持ち、その真意を質しています。確かに、『 』の部分のみ訳せと言われているのだから、そのまま訳してもよかったのかもしれない。しかし、発言者が次でその「誤解」を釈明している部分を落としてしまえば、発言者の実意とは全くかけ離れた解釈が成り立ってしまうでしょう。自分の責任を感じる場面でもありました。そこで原文にはないけれども、私は敢えて「平和条約は領土問題と一体のものである」という発言者の意図を汲み、そこから引っ張って原文への「補足」を試みました。

池田訳：По моему мнению, мирный договор является стволом, а самый важный территориальный вопрос — ветками и листьями, которые представляют собой неотъемлемую часть от него.

ロシア人記者編集後：По моему мнению, мирный договор является стволом, а самый важный территориальный вопрос — ветками и листьями единого дерева.

ロシア人記者にも分かってもらえたようです。ただし、私の長い表現を短く единого дерева としています。原文の「ついて歩く」にこだわっていたらなかなか出てこない発想ではないでしょうか。

鈴木氏：『橋本・エリツィン、小渕・エリツィンの中で作ってきた日露の信頼関係の功績は大きい。まず、この厳粛な事実をお互いに確認すること。さらに、日露が相提携すれば極東とかアジアのみならず世界に貢献できるんだという思いで新首脳同士が話し合いをすれば、おのずから溝は埋まると思っている。』

これは、技術的な論理化の一例です。原文には世界の「何に」貢献するのかが抜けている。これでは、ロシア語にならないでしょう。実際、私は機械的に「мир」を入れてしまいました。

池田訳：А дальше пропасть между нами, на мой взгляд, сама собой будет закрываться, если новые лидеры готовы вести переговоры, имея в виду, что сотрудничество между Японией и Россией может внести вклад в дело мира не только на Дальнем Востоке, в Азии, но и в мировом сообществе.

ロシア人記者編集後：А дальше пропасть между нами, на мой взгляд, будет преодолена, если новые лидеры готовы вести переговоры, имея в виду, что сотрудничество между Японией и Россией станет вкладом в развитие международных отношений не только на Дальнем Востоке, в Азии, но и в мире в целом.

「平和」は「戦争」と対を成すものだから意味を持ちすぎました。では、何を補ってやるか。благоустройство, благосостояние という当たり障りのないことばに限ります。ロシア人は「развитие международных отношений」と、ここまで補っています。

文章を訳すのでも、これだけ悩むのですから、現場で即時に訳出・転換

しなければならない通訳者の苦労は如何ばかりか。痛み入ります。

以上、ロシアの国営通信社が配信するニュース作りに携わる責任の重さを実感させてくれる具体例でした。良い訳とは、全体のコンテキストの理解ならびに背景知識に裏付けられたものだ、と言うことがよく分かります。蛇足ですが、通訳者もこのような厳密な露訳の学習・訓練を積み重ねて過不足のないコミュニケーションの能力を身につけるべきです。

2）論理的な空白を埋める

もう1つ、少し長めの具体例を取りあげましょう。

まだソ連があったころ、名古屋で日ソ労組集会が開かれました。会議は同時通訳で進行しましたが、演説草稿があるものについてはあらかじめその翻訳をすませておき、本番ではそれを原発言者のテンポに合わせて同時に読み上げていくという方式が併用されました。

ご紹介するのは、その時筆者が受け持った草稿の一部とその露訳文です。内容は、開会に際しての愛知県側実行委員会の代表者による歓迎の挨拶です。（本来ならば通訳者の守秘義務上、仕事の上で知り得たものの公表はつつしむべきでありますが、会議が公開のものであり、後に資料も公表されましたので、一部を語学的な見地から、ユニークな例として使用させて頂きます。内容は歴史的過去に属しますが、ここに含まれた言語学上の問題点は普遍的です。）

地元、県の集会実行委員会を代表し、私は、本集会の開会にあたり、皆さまに心から歓迎のご挨拶を申し上げます。	Позвольте мне от имени Префектурального исполкома встречи сердечно приветствовать вас с открытием нашего форума.
私たちは、この大十月社会主義革命60周年を記念する極めて重要な集会が当地、名古屋で開催されることを非常に名誉なこととして受けとめております。	Для нас большая честь, что эта очень важная встреча, посвящённая 60-летию Октябрьской социалистической революции, состоится в нашем городе Нагоя.

言うまでもなくⒶ、大十月社会主義革命の勝利およびそれにつづく①ソビエト連邦の飛躍的発展は、全世界の労働者階級の砦であります。私たちは、今後も十月革命の思想を学び、これを日本の労働運動の実践の中で活かしていくことが非常に重要であると考えております。

Нет сомнения в том, что победоносная Октябрьская революция и стремительное развитие Советского Союза являются оплотом борьбы рабочего класса всего мира. Мы считаем очень важным и впредь изучать и применять на практике в рабочем движении Японии революционные идеи Октября.

さてⒷ、今皆さまがたにおいでいただいておりますこの名古屋市は、特に重化学工業の発達が著しい中部工業地帯の中心地であります。

Вы уже знаете, что Нагоя расположен в центре промышленного района Тюбу, а вокруг города особенно развита тяжёлая химическая промышленность, а следовательно имеется многочисленный рабочий класс Ⓒ.

現在、この名古屋およびその周辺②では、不況とインフレの進行が労働者の生活を破壊に追いやっています。企業倒産が相次ぎ③、失業が増大し、私たちの友人の多くが職場を失っております。したがいまして今日、私たちの最も緊急な課題は、労働者の大量解雇反対、雇用確保のための闘いであります。(以下略)

Сейчас в Нагое и прилегающих к нему городах, как и во всей стране Ⓓ, экономический застой и рост инфляции оказывают губительное влияние на рабочих. Всё больше и больше разоряется предприятий, растёт безработица, много наших друзей оказываются на улице. Поэтому сегодня нашей самой насущной задачей является борьба против массового увольнения рабочих, за гарантию занятости. (...)

上の原文と訳文（ロシア人のチェックを経た）について若干の解説を試みましょう。注・解説のうち①、②、③は語学レベルのそれでありⒶ、Ⓑ、Ⓒ、Ⓓは発想に関する注・解説である点にご注意下さい。

①「およびそれにつづく」は当然のことを言っているにすぎないので少々冗言的。これを単にиとして前後をつなぐだけで十分でしょう。なお、「大十月社会主義革命の勝利」を右のように訳したのは、いずれも「事業」をあらわす「革命」と「発展」という2つの言葉を並列させて主語としたほうがすっきりするからです。

②「その周辺」とは具体的には周辺都市のことであるから上のように訳しました。

③このような場合の「相次ぎ」を上のように表現するテクニックを是非とも身につけておきたいものです。これを常に одно за другим と直訳するのでは芸が無さすぎます。

Ⓐ何かの重要さ、意義を強調するときに使われる日本語の表現「言うまでもなく、言うまでもない」は、нет сомнения в том, что... と訳されるべきです。これと反対に、何かについていまさら言うほどのことはない場合（さほど重要でなかったり、あまりにも分かり切ったりしている場合）には、нечего и говорить, что..., не стоит упоминать (о том), что..., не говоря уж о том, что... などが使われます。

Ⓑスピーチ原稿の翻訳作業で一番困難を感じたのは、この「さて」を露訳するときでした。「さて」は日本的発想、飛躍の典型的な例です。日本語ではさほど気にはなりませんが、露訳のとき、これを Кстати, とやるわけにはいきません。なぜなら、кстати（ところで、ついでながら）は、今から言おうとしていることが前に言ったことと関連があり、それを補うことを表す挿入語だからです。かと言ってこれを辞書通りに (a) теперь とか итак としても段落間の飛躍は埋まりません。適当な“つなぎの言葉”を見つけて何とかスムーズに段落を書き起こすには、日露のベテラン通訳者 В. М. Ким 氏および久野公氏の御両人の教えを乞わなければなりませんでした。

筆者はこの段落を Как вам известно, で始めてはと提案しました。これは、乱用さえしなければ、スピーチの中でかなり大胆な改行（すなわち飛躍）をおこなうときに効を奏すからです。

しかし、ここでは適当ではありませんでした。「皆さまご承知の通り」を大げさに切り出しても、その後に来るのはごく当たり前の情報でしかない

から、というわけです。けれども、これをもう少しやわらげて Вы уже знаете, что... とするのは問題ではない。名古屋市内観光をすませて来たソ連代表団は本当に Вы уже знаете, что... 以下に述べられる事実については既に知識を持っているのだからなお都合がよい。ただし、そうなれば「今皆様がたにおいでいただいております」は是が非でも訳さなければならない情報ではないので省いてもよいことになる。と、ここまではなんとかこぎつけましたが、まだもうひとつ問題が残りました。

Ⓒ もうひとつの問題とは、Вы уже знаете, что の後には「何が何だ、だからどうした」という内容が来なければならないのに、原文には「だからどうした」の部分が鮮明に現れていないのです。明らかにこの論理的空白を何かで補うべきです。ためしに次の段落を見てみますと、労働者の状態が主題となっています。この両段落の叙述の順序は：

1) ここは大工業地帯の中心である；
2) 今この工業地帯の労働者の多数が大変な生活危機に直面している；
3) したがって我々の緊急課題は～である；

となっています。

確かに3) では「したがって」という言葉がでてきますが、これはあまりにも1) から遠すぎます。問題はやはり1) と2) の間にあるようです。そう考えて行きますと、1) と2) の間には次の1')が補えるようです ―― 1')「だから（したがって）ここには多数の労働者がいる」。これを挿入することによって原文の趣旨は全く変わらないばかりか、生きてくることになるだろう、というわけで補ったのが、а следовательно... の Ⓒ の部分です。

Ⓓ ここで как и во всей стране と付け加えた理由は、原文では不況とインフレが名古屋およびその周辺だけのこととも受けとめられる説明になっているが、発言者はそう言うつもりではないからです。また、あえて原文通りに訳してしまうと、発言者に全体的（全国的）視野が欠如しているような印象を聴衆に与えてしまったことでしょう。

以上、「日本語を論理化するプロセス」の一端を分析・解釈してきました。次に、ロシア語での整然、首尾一貫した文章や発言を可能にする若干のテクニック、約束事をとりあげましょう。

2．整然としたモノローグ

書面であれ口頭であれ、一方的な情報提供の形をとるモノローグの各センテンスは、一定の秩序を持ち、前後関係を明確にしながら結ばれたものでなくてはなりません。ところが、整然として脈絡のある発言（記述）は、少なからぬ日本人（原発言者・通訳者）が不得手とする点でもあります[1)]。

整然としたロシア語作文（発表）の能力を効果的に身につける近道や方法はないものでしょうか。これは積年の教育現場での問題でもあります。以下、この難問解決の突破口を開くのに役立つであろう、一連のルールとでも言うべきものを整理してみたいと思います。ただし、あくまで「基本的なルール」に限定しましょう。というのも、ロシア語圏の言語学者たちでさえ、「ルールが存在することについては完全にアプリオリな確信」があるのに、「そのようなルール摘出する」には、「ほとんど克服不可能な困難が待ち受けている」というほど、対象は奥深いからです[2)]。

1）脈絡のある発話（связная речь）とは？

整然として脈絡のあることばのことを、ロシア語では связная речь と言います。「彼の話は支離滅裂だ」はロシア語では «Он говорит несвязно.» となります。この связная речь は、「理路整然とした」というように論旨の流れを意味するだけではなくて、各センテンスの間に「連続性がある」ということも意味します。次の具体例で見てみましょう[3)]。

---

1) ベテラン通訳者の中川研一氏も、「устная монологическая речь」は「われわれ日本人のウィークポイントともいえる」と、かねてから指摘しています。「現代ロシア語」、1978年11月号、16ページ。

2) «На этом пути анализа текста исследователей ждут почти неодолимые трудности, так как даже при полной априорной уверенности в существовании правил структурной организации текста из более элементарных единиц выявить такие правила не всегда оказывается возможным.» — Психолингвистическая и лингвистическая природа текста и особенности его восприятия. Под ред. проф. Ю. Жлуктенко и проф. А. Леонтьева. Киев. 1979. с.7—8.

3) Об этом см. Н. Д. Зарубина. Методика обучения связной речи. М., 1978. с.27—28.

Это улица большая и шумная. По улице ходят автобусы и троллейбусы. На улице много магазинов и больших домов. По улице идут люди — взрослые и дети. Дети идут в школу. Взрослые идут на работу.

これはロシア語の初心者にありがちな話し方です。意味も通じます。が、ロシア人に言わせると、まだ связная речь ではないのです。センテンスとセンテンスの間がブツ、ブツ、と切断されています。羅列的発言であり、「連続性」を欠いていると言えます。例えば、улица という言葉は各センテンスで特別に取り扱われる題目ではないので、これの機械的な繰り返しは情報のスムーズな流れを阻害します。後半の идут の繰り返しについても同じことが言えます。

これを脈絡のある связная речь にするためにはどうすればよいのでしょうか。そのテクニックを観察して下さい。

Эта улица большая и шумная. По ней ходят автобусы и троллейбусы. Здесь много магазинов, больших домов. По улице идут люди — взрослые и дети. Дети идут в школу. Взрослые — на работу.

このように、まとまった発言（テキスト）を組み立てるには、センテンスレベルの思考ではなく、段落全体の文順や文の整然としたつながりを一つのまとまった単位と意識する「パラグラフ思考」が要求されることに注目すべきでしょう。

このテーゼの理解を深めるために、さらにもう一つの類似例を挙げます。上の二つの例文の違いを踏まえ、何をどうすれば связная речь になるか、考えながら読んでみて下さい。

Петя рос смелым мальчиком. Однажды Петя шёл из школы. Петя увидел: два мальчика пристают к девочке. Девочка плачет. Петя вступился за девочку.

ロシアでは、こういうふうに作文を書いてはいけないというのは小学校三年生レベルですでに教わっていることです[1]。そこで «связность текста» が表れるように言い換えるには次のようにすべきです。

Петя рос смелым мальчиком. Однажды, когда он шёл из школы, то увидел, как два мальчика пристают к девочке. Та плачет. Петя вступился за обиженную.

以下では、こうした基本ルールについて順を追って考えてみることにしましょう。

2）連続性を保つには

「連続性」についてもう少し詳しく検討してみましょう。

ここに「ネズミガ猫ヲカンダ。猫ハ死ナナカッタケレドモ、気絶シタ。」という文があります。これを言語学者池上嘉彦氏は「連続性」の観点から次のように説明しています[2]。

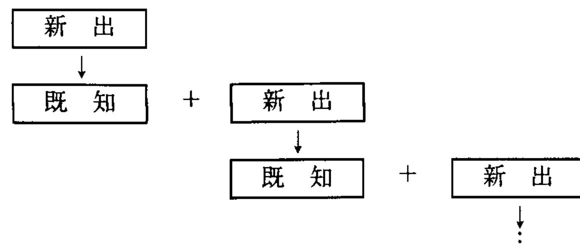
最初の文が新しい情報を導入し、次の文はその中の〈猫〉を足がかりとして〈気絶した〉という新しい情報を付け加える。一般にテキストは、このように〈既知〉の部分に〈新出〉の部分をつけ足すという形で情報の連続性を保ちながら進んで行く。

情報の連続性を保つもっとも単純な方法は、同じ表現を繰り返すということである。例えば先程の（中略）テキストでは、「猫」という語の反覆がその役割を果たしている。しかし、これ以外の方法でも同じ効果が得られることもある。どの言語にも含まれている代名詞や接続詞と呼ばれる語は、そのような情報の連続性を保つという重要な役割を果たす語である。また反覆される語は、同一のものが指されている限りは、同じ表現でなくてもよいわけである。

---

1) Норман Б. Ю. Язык: знакомый незнакомец. М., 1987. с.164.
2) 池上嘉彦「意味の世界」ＮＨＫブックス、1998年、187―188ページ。

池上氏は以上の関係を次のような図で説明しています。



3）「換言」による「擬似反復」でつなぐテクニック

日本語で新聞記事を書くとき、例えば、「～首相は」と書き始めた記事では、その後ほとんど「～首相」と同じ表現を執拗なほど繰り返します。これは日本語のスタイルの一つの特徴です。逆に、ロシア語ではこういう場合、Владимир Владимирович Путин, глава Российского государства, Владимир Путин, глава государства, президент Владимир Путин, Владимир Владимирович...という具合にして[1]、近接して同一の表現を用いるのを回避します。この基本的な規範の差異を踏まえない人のロシア語表現は、ロシア人からすれば落第点です[2]。ゆえに、一見退屈な「反復」の手法の学習は、ロシア人でさえおろそかにできず、これに力を入れた言語学的な研究も盛んです。

ここで脈絡・論理的な関連性を維持する反復のテクニックの基本を整理しておきましょう。

「反復」は次のような種類に分けられます。

(a) 同じ言葉の繰り返し。このような反復は、重要な語句を強調する場合や、主題をさまざまな観点、側面から規定・説明する場合、またその説明を深める場合によく使われます。過度に同じ語句を反復使用すると、聞き

1) жур. "Итоги", 16 мая 2000. с.12—13.
2)「小学校低学年の生徒には、同じ単語を繰り返す傾向がある。」「頭に浮かんで口をついて出た語彙の惰性は、柔軟で躍動的な（語彙）選択を行うメカニズムとは対極にある要素である。」と指摘して、言語の低発達段階と同一語反復の関連は以前から研究の対象と見なされてきた — Психолингвистическая и лингвистическая природа текста и особенности его восприятия. Под ред. проф. Ю. Жлуктенко и проф. А. Леонтьева. Киев, 1979. с. 182—183.

手（読者）の関心をそぐので、特にこの(a)以下に挙げる様々な「擬似反復」の手段を使う配慮が必要です。「繰り返さずに繰り返す方法」を学びましょう。

（例文）Археология возникла очень давно и имеет свою историю. Впервые термин «археология» применил Платон, имея в виду науку о древностях в самом широком смысле слова. Термин «археология» в разных странах имеет разный смыл. Ещё в XVIII в. этим словом[1] стали обозначать историю древнего искусства.

(b) 名詞を代名詞で置き換える（これは多くの日本人にとって意外と苦手な手法）

（例文）Современный технический прогресс происходит на основе машинного производства. Оно придаёт самому процессу труда общественный характер, объединяя на фабриках, заводах большие массы людей «под одной крышей».

(c) 同意語・類義語による疑似的な反復

（例文1）(...) Этот важный исторический вывод относится и к японскому пролетариату. Представляя собой главную производительную силу второй капиталистической державы мира, рабочий класс Японии оказывает всё более серьёзное воздействие на все стороны жизни японской нации.

注：вторая капиталистическая держава мира は Япония のパラフレーズ（言い換え＝疑似反復）であることにも注目。

（例文2）Меркантилизм возник в Англии, затем он появился во Франции, Италии и других странах. Меркантилисты ставили вопрос о богатстве страны, о формах богатства и о путях его роста.

（例文3）Иван Кузьмич в присутствии жены прочёл нам воззвание Пугачёва, писанное каким-то полуграмотным казаком. Разбойник объявлял о своём намерении немедленно идти на нашу крепость, (...)

その他、учёный — физик — академик, США — Вашингтон —Пен-

1) этим словом — これは、後に述べる(f)のケースに当てはまる。

тагон（部分で全体を代替する類語の使用例）や、пирамида — каменная громада, МГУ — дворец науки и культуры（パラフレーズ）などの例も、広義ではこの(c)のケースに当てはまる。

(d)指示代名詞＋名詞（この組み合わせで前文の成分を繰り返す）

（例文）Ни одно классовое антагонистическое общество не ставило своей целью всестороннее развитие человека труда. Труженик в этом обществе является средством для достижения иных целей, скажем, получения наивысшей прибыли при капитализме.

注：最初の文の ...человека труда と2番目の文のтруженикとの関係は、上の(c)の同意語による反復のケースに当てはまる。

(e)"縮約"による一括的な反復（先行するセンテンスの内容を一括して指示・反復する）

（例文）Общественное разделение труда привело к тому, что труд людей стал более производительным. В общинах появился некоторый излишек продуктов. Это создало почву для возникновения обмена продуктами между скотоводческими и земледельческими общинами.

注：例えば Всё это... という言い方も、この(e)の例に当てはまる。その他、в этом заключается...や、под этим подразумевается...なども類似の手法。

(f)名詞を伴う"縮約"による包括的な反復

（例文1）(...) Между товаропроизводителями шла конкурентная борьба, которая приводила к расслоению их на бедных и богатых. Этот процесс происходил как в городе, так и в деревне.

（例文2）Прохождение тока через металлы не сопровождается химическим изменением. Это обстоятельство заставляет предполагать, что атомы металла при прохождении тока не перемещаются от одного участка проводника к другому.

注：この(f)の例にあるようなэтот (такой, подобный, аналогичный...) процесс; это обстоятельство... などのような用法に通じておくと大変心強い。一連のセンテンスで説明した内容を一つの包括的な代用語で表す（置き換える）テクニックは、特に通訳の過程で大いに役立つ。また、翻訳・作文にも欠かせない。この種の言葉には、上記以外にも次のようなものがある。

— возможность, вероятность, обстановка, опасность, положение, позиция, ситуация, тенденция, условие(я), явление; вопрос, задача, проблема, трудность; достижение, достоинство, недостаток, особенность, преимущество, препятствие, успех; особенность, специфика, характерная черта; путь, приём, способ, средство; курс, политика, тактика, мера, мероприятие; обычай, практика, правило, прецедент, традиция; инцидент, происшествие, случай, событие, казус, эпизод; акт, выступление(я), действие, деятельность; движение, поведение, факт; последствие, причина, результат, следствие, фактор; желание, намерение, попытка, стремление, цель и т.д. и т.д.

（例文3）Более 100 тысяч рабочих и солдат Петрограда вышли на демонстрацию под лозунгом «Вся власть Советам!», «Долой войну!». Эти выступления показали, что доверие масс к Временному правительству сильно подорвано.

(g)単語の文法的機能および語形の変化による反復

（例文）Если мы поднимем тело на некоторую высоту, а затем опустим, оно начнёт падать. Падение его будет равномерно ускоренным.

注：動詞→名詞

(h)対句的構文

（例文1）Главная задача экономической политики — дальнейшее наращивание хозяйственной мощи страны. Путь к решению этой задачи — быстрый рост производительности труда, всемерное повышение эффективности общественного производства, улучшение качества работы.

（例文2）Человек не может быть счастливым в обществе без будущего, где на каждом шагу его подстерегают неудачи и

случайности, (...). Человек не может быть счастливым в обществе, которое не обеспечивает всем своим членам материального достатка, в котором господствует принудительный труд, в котором подавляющее большинство людей не в состоянии наслаждаться ценностями материальной и духовной культуры, (...).

注：これは広義での анафора（首語句反復）の一種。対句的構文については Современный русский язык. под ред. Д.Э. Розенталя. Часть 2. М., 1979. с. 232—233. А. Розенталь, М. Теленкова. Практическая стилистика русского языка. 1976. с.312 などに詳しい解説あり。

以上、おもな換言反復などの手法を例示させて頂きました。このようなテクニックに通じておけば少なくとも、1）文と文をスムーズにつなぐことができ、2）発言（文章）の表現力を豊かにすることができる、という効果が保障されるでしょう。

4）「つなぎ」の言葉ーブリッジ

反復による「つなぎ」の手段のほかに、個々のセンテンスや発言をつないでまとまった文章（текст / речь）にする機能を担う言葉（ブリッジ）があります。それは多種多様です。

接続詞（союзы）— и, а, но, однако, зато...
小　詞（частицы）— только, лишь, же, именно, даже, ведь...
挿入語（вводные слова）— следовательно, таким образом, в частности, например...
叙想詞（модальные слова）[1] — Разумеется,...; Как я уже говорил,...

などがそれです。これらの言葉は、話の筋や論理性を維持するのに便利かつ不可欠です[2]。

[1] 露和辞典では модальные слова の和訳は統一されていません。コンサイス露和辞典では、「叙想詞」、研究社露和辞典では「叙法詞」としています。
[2] 一般的には、接続語の使用頻度は、科学・学術文献の中でのほうが、文学作品の中におけるそれよりも高いと言えます。

これらの接続の言葉は、以下のように、いろいろなカテゴリーに分けられます[1]。

СРЕДСТВА ОРГАНИЗАЦИИ СВЯЗНОГО ТЕКСТА (СВЯЗУЮЩИЕ СОЕДИНЕНИЯ ИНФОРМАЦИИ)

Смысловые отношения между частями информации（情報間の意味上の関係）	Средства организации связного текста（脈絡のあるテキストを紡ぐ手段）
情報諸部分の対照、対比	и (всё-таки), же; с одной стороны, с другой стороны, наоборот, напротив, но, однако, а, не только, но и; зато, иначе, по-иному, так, точно так, совершенно так, так же; точно так, как, таким образом, таким путём, аналогично, следующим образом, тогда как, в противоположность этому
先行する情報の総括、結論、概括、一般化	таким образом, итак, короче, короче говоря, вообще, словом, вообще говоря, следовательно, из этого
説明・注釈、例解、正確化、個々のケースの抽出	например; так, например; именно, только, даже, лишь, ведь, особенно, другими словами, иначе говоря, точнее говоря, в частности, причём

[1] 比較的手に入りやすい文献の中で最も詳しく整理・分類をほどこしているのは Казарцева О.М., Вишнякова О.В. Письменная речь. М., 1998. с.246. であり、本稿もこれに準じています。その他、つなぎの言葉については以下の文献も色々と示唆に富んでいます。ー新田実・A．アキーシナ著『ロシア語手紙の書き方』ナウカ、1979年、59—60ページ；Практическое пособие по развитию навыков письменной речи. М., 1983.; Пособие по развитию навыков монологической речи. М., 1977.; Лариохина Н. М. Вопросы синтаксиса научного стиля речи. М., 1979.

情報の信憑性の度合の評価	разумеется, конечно, безусловно, очевидно, действительно, в самом деле, видимо
考察の始め、後続行為；諸行為の同時性、反復性；行為の完結	в начале, сначала, прежде всего, в первую очередь; сейчас, теперь, предварительно, одновременно, в то же время, наряду с, только что, уже, ранее; опять, ещё раз, снова, вновь, затем, позже, позднее, впоследствии, в дальнейшем, в последующем, впредь, в заключение, далее
先行する情報や後続する情報との関連性	как указывалось, как было показано, как указано выше, как упомянуто, как отмечалось, согласно этому, сообразно этому, подобно этому, соответственно этому, сообразно с этим, в соответствии с этим; последний, предыдущий, предшествующий, данный, искомый, соответствующий, вышеописанный, вышеуказанный, вышеприведённый, вышеупомянутый, введённый, выведенный, доказанный, заданный, законченный, изложенный, найденный, описанный, определённый, отмеченный, перечисленный, построенный, приведённый, применённый, рассмотренный, сделанный, сформулированный, указанный, упомянутый, установленный, следующий, нижеследующий, последующий, дальнейший, приводимый, разыскиваемый, рассматриваемый, требуемый, анализируемый, изучаемый, аналогичный, подобный

これら接続語の機能分析は、後で部分的に取り扱うことにしますが、このようなブリッジがどのような情報の流れのなかで使われているかを実例にそって常にチェックし、分析・研究して、自前の資料集を作成してみることを提案したいと思います。論理的叙述に乏しいと指摘される日本語の原発言を理路整然たるロシア語に置き換える（訳出する）上でも、また、ロシア語への通訳の過程で言葉につまったときに「時間をかせぐ」上でも、

これらの接続語をマスターしておくべきです。

さらに、くれぐれもご注意ください——「それから、それから、それから」と文章をつなぐのは稚拙だ、と日本語の作文についても注意されますが、ロシア語の事情も同じです。多種多様なつなぎの言葉の多くを使いこなす能力と知識は、洗練度の高い会話や作文にも欠かせません。

3. 発想表現法や叙述順序の相違を踏まえる

これまで、ロシア語での発言を論理的で脈絡のあるものにするには“内側からと外側から”どう整理すればよいかを取り扱い、その基本的なテクニックについて記述しました。次に、新たな視点を導入して、“発想の表現順序”について考えてみましょう。ロシア語と日本語の発想表現の差異の[1]一部でも理解できれば、後々の言語コミュニケーションに役立つはずです。

日本人とロシア人の叙述（発表）順序の違いが目立つのは実際のコミュニケーションの場であり、特に質疑応答の場面で顕著になります。こういうとき日本人はよく、「近頃日本は資源の枯渇が切実になった関係で、北方領土や北洋漁業、あるいはまた石油資源その他の問題や、国内産業と貿易等々の……」と長々と前置きを述べ、「そこでお伺いしたいのですがァー、……」とようやく本筋に入っていく質問パターンを用います。しかも質問の前置きが本題に直接関係のないことである場合がしばしばです。

これに比してロシア人を含む欧米人は、皆が皆ではないにせよ、冒頭に具体的な質問事項を簡潔に述べ、その後で質問の動機を説明するのが普通です。

答え方も全く同じ要領で、日本人の場合は、「～という制約も現にあり、また××という事情をも合せて検討させて頂いてみた限りでは、どうして

1) こういうテーマには用心深くアプローチすべきでしょう。特に言語社会学の権威でおられる鈴木孝夫氏の次のような戒めの言葉が身にしみます －『私たちはヨーロッパ語はこうだ、英語はこうだ、しかるに日本語は、ということをよく言うわけですが、実は暗黙の前提であるそのヨーロッパ語の認識それ自体がわれわれの思っているほど正確でない。』（『ことばの人間学』、新潮出版、1978年、113ページ）。

も今の時点でそういうことをするのはちょっと無理じゃないかという感じがしますんですが……」のような答え方をするのが一般的です。他方、例えばロシア人は、Нет, это (совершенно) невозможно. Почему? Да потому, что, во-первых, в настоящее время..., во-вторых, ... と答えてきます（多くのアメリカ人もそうでしょう)。このように、答え（結論）と説明（理由・根拠）の叙述順序が日本人と欧米人では逆になることが多いのです。

日本側の発言をその順序の通りに露訳すると、これを聞いているロシア人は、「一体何が言いたいんだ」、「我々をケムに巻くつもりじゃなかろうか」と言わんばかりにイライラすることがあります。

逆に、ロシア人の応答をそのままの順序で「いえ、それはマッタク不可能です。何故かと言うと…」などと和訳しようものなら日本側は、そのあまりにもキッパリとしてドギツく、かつ高圧的な響きに頭をカッカさせるか、あるいは逆に意気消沈してしまうようなことにもなりかねません。

こういうとき、ベテラン通訳者の多くは、訳出の際の表現順序を出来るだけ相手側のそれに合わせるように努めています。しかも発言内容が相手に対する真っ向からの反対を意味するものでもないかぎり露→日通訳の際には少し日本語での表現を和らげておきます。

また、日→露通訳のときは、日本人の原発言の曖昧な部分を、自分の責任の持てる範囲内で、白黒がはっきりするように露訳しています[1]（ただし、いわゆる仲人口をきくことは厳につつしまねばなりません)。

---

[1] それでも、一般的に言って、日本人の異文化間コミュニケーションは決して何から何までうまくいっているようでもありません。
直接ロシア語にかかわる例ではありませんが、例えば大の知日家として知られたライシャワー元駐日米国大使は、このことについて通訳者には大変耳の痛いことを言っています。
「(…) よしんば、通訳者が日英両国に完全に通暁していた－まれにしかないケースである－としても、他国語に移される過程で、大きな変容を蒙ることはさけがたい。語順はおおむね逆さまにされ、明快な発言はあいまい化し、いんぎんな語句は相手を侮辱するようなものと化し、たとえ字義どおりには正確に訳出された場合でも、原義とは似ても似つかぬ感触を与えることに相成る。
現に私も、アメリカ人の質問が少しばかり誤訳され、日本人の応答がこれまた誤訳された、という例を何回となく見聞きしてきた。見当はずれな回答を得たアメリカ人が、どうも日本人の思考過程は自分たちのそれとはちがうらしいと速断することも、大いにありうることなのである。」(E．ライシャワー、「日本人論」、文芸春秋、1979年1月号、140ページ。)

１）文順墨守は原文忠実主義か？

上では実際のコミュニケーションの場での発想表現の順序について触れましたが、叙述順序一般に関しては、英文学者の外山滋比古氏がユニークな主張をしています[1]。

どうして翻訳の多くが悪文になるのか、それを考えているうちに、文順墨守がいけないのだと思うようになった。つまり、原文のセンテンスの並んでいる順序をバカ正直に守って、それを“原文忠実”なりとする考えに責任がある。

同氏はさらに、英語から日本語へ翻訳するとき、センテンス内の語順を入れ換えないといけないのなら、パラグラフ（段落）の意味が日本語らしいまとまりをもつには、文順の交換もしないかぎりは訳がひどく分かりにくいものになってしまう、と指摘。センテンス中心の文章だけを考えていると、文をこえる論理は見失われがちだが、重要なのはパラグラフ全体の枠内での論理の展開を踏まえた文順なのだ、とする「パラグラフ思考」の重視を説いています[2]。和文露訳や通訳にも十分当てはまる警句です。

日本語とロシア語の発想表現法の相違については、日本通のロシア人ジャーナリストのドゥナエフ氏が次のように論じています[3]。

---

[1]『日本語の文章』、北斗出版、1979年、43ページ。
[2] 同氏の上掲書の他、『日本語の論理』、中央公論社、1987年、45―51ページ；月刊『翻訳の世界』1977年7月号、15ページなどでこのような考え方が展開されている。
[3] Язык — это логика нации. Логики русского и японского прямо противоположны. Если представить себе мысль в виде круга, который образует брошенный в воду камень, то в русском языке центром, от которого идут круги, будет главное - субъект и его действие. От них мысль как бы кругами расходится вширь, к краям, от главного к второстепенному. Противоположная картина в японском языке: круги как бы идут в обратном направлении, с периферии к центру, от второстепенного к главному.
В европейских языках, кроме немецкого, где отрицание неожиданно поджидает вас в самом конце предложения, основная мысль даётся сразу, лишь затем обрастая дополнениями, уточнениями, характеристиками ↗

言語とは民族の論理である。ロシア語の論理と日本語の論理はまったく相反する。思考とは石を水に投げこんだ時できる波紋のようなものだとすると、ロシア語では波紋が広がりはじめる中心が肝心なこと、つまり主体とその行動である。この2つのものから思考は波紋のように端のほうへ、つまり肝心なことから二義的なものへと広がって行く。日本語では図は正反対になる。つまり波紋は反対の方向、周辺から中心へ、二義的なものから肝心なことへと向かう。ヨーロッパの言語では、否定詞が文の最後に突然現れるドイツ語を除いて、基本的な考えがまず提示され、それから次に補語や定語やことがらの状況の特徴づけが加えられる。日本語は逆である。最初にあらゆる状況語、補語、定語が提示され、それは、まるで意識に定着されるべき基本的なこと、肝心なことのための土壌をつくり、場所を整備するかのようである。まさにこのために、ある発言に対して日本人の反応がおくれることがよくあるが、このことは、同時通訳が通訳する国際会議などで特にはっきりと目につく[1]。

結論は、ロシア語を含む欧米語には、どちらかと言うと演繹的発言構造（一般から個々の具体事実へ）が普通である[2]のに比して、日本語では逆に帰納法的発言構造（個々の具体事実から一般へ）が主導的だ、ということでしょう。

これは十分な科学的・統計学的検証を経たものなどではなくて、筆者や少なからぬ内外の通訳者・言語学者の実践感覚から生まれた、言わば仮説です。

もう一歩進めると、日本人が欧米言語を学び、それを効果的に用いるた

обстоятельств дела. В японском наоборот: все обстоятельства, дополнения, уточнения даются вначале, как бы в стремлении подготовить почву, расчистить место для основного, главного, которое и должно зафиксироваться в сознании. Именно поэтому японцы нередко опаздывают с реакцией на высказывания, что можно особенно наглядно видеть на международных конгрессах, когда переводят синхронисты. — Дунаев В. Японцы в Японии. М., 1977. с. 1421—142.

1) 大橋千明、竹森彪訳、『ソ連記者ドゥナーエフのニッポン報告』世紀社、1981年、240—241ページの訳文を参考に、その一部に変更を加えました。

2) もちろんこれは相対的です。書きことばになればなおさらのことです。例えば、物理の教科書などでは帰納法的記述が支配的である、というように。

めには、演繹的発言・叙述形式に習い、これに十分通じておくべきであろうという推論にたどりつくはずです。そこで以下ではこのタイプの発言・叙述形式の特徴について考えてみましょう。

2）全体から部分へ

「イヤー、きのうは本当にひどい日だったよ。雪は降るし、いくら待っても彼女は現れないし、おまけにサイフは落としてしまうし。」[1]

このような発言があるとしますと、最初の文「(…) ひどい日だったよ。」と後の文「雪は降るし、(…) サイフは落としてしまうし。」の間には“穴”が開いていると考えてよいと思います。つまり、この文章は「イヤー、きのうはひどい日だったよ。○　雪は降るし、いくら待っても彼女は現れないし、おまけにサイフは落としてしまうし。」というふうに、間隙（○）をはさんでいるものとして表されます。そしてこの場合にこの間隙（○）に当てはまることばは“何故？”です。ですからこれは便宜上㋢で表すことができます。

そうするとごらんのとおり、1）前半の文は“聞き手の疑問・質問を誘い出す潜在的能力を持つ文”であり、○以降の後半の文はこの“疑問・質問に（潜在的に）答える文”と考えられます。つまり、これは“疑問→答え（why — because）”という発想の流れを持っています。

同時にまた、見かたを変えますと、2）前半の文は概（総）括的文章であり、後半は前半を具体化する文章であるとも言えます。つまりこれは“全体→部分”という発想の流れを持っているのです。

この1）の“疑問→答え”と2）の“全部→部分”という2つの視点から次のパターンを見てみましょう。

1) こんな例文を思いつきで書いたあと、ふとレールモントフの名作『現代の英雄』の中の珠玉の一話『タマーニ』の出だしの構造もこれと似ていたのを思い出しました。Тамань — самый скверный городишка из всех приморских городов России. Я там чуть-чуть не умер с голода, да ещё вдобавок меня хотели утопить.

(a) Съёмочная площадка была подготовлена. ⑦ Она представляла собой старинную крестьянскую избу. Слева, недалеко от входа, стоял деревянный стол. На столе стоял кувшин и кружка. Вдоль стены тянулись лавки. В центре избы располагалась огромная русская печь. Окна были маленькие, подслеповатые.

注：この⑦は Какая она (съёмочная площадка)？という潜在的疑問・質問を意味します。

(b) На обложке журнала помещён портрет молодого учёного-физика (казаха Владимира Урбаева. ⑦ Высокий лоб. Живые умные глаза.

注：⑦は Какой он (портрет Владимира Урбаева)？という潜在的疑問・質問を意味します。

(c) Давно, кажется, ещё перед войной, я зашёл на выставку нескольких наших художников на Кузнецком. ⑦ Стены были увешаны огромными полотнами. В глазах рябило от красного цвета, парадной торжественности и улыбок.

注：⑦は Какая она (выставка)？という潜在的疑問・質問を意味します。

以上の(a)、(b)、(c)それぞれの最初の文には全体を表すことばが含まれており（площадка, портрет, выставка）、の後にはその部分の再現・具体化が行われています。まず全体（обобщающее слово или выражение）を起こすことにより、それに次々と文章が続いていって絵画的な描写が可能となっているのです。しかもセンテンスとセンテンスをつなぐための“接続の言葉”は使われていません。

3）「まず結論、説明は後回し」のルール

結論を後回しにしがちな日本人がスラスラと欧米語で話せないのは、この《まず結論、説明は後回し》という欧米人の発想のルールがのみこめないからだとも言われます。そこで、このような発想ルールに慣れるために、前出の1）の“疑問→答え”、2）“全体→部分”の視点にもうひとつ3）“結

論→説明”という見かたを加えて、以下の文型パターンを観察してみましょう。

(a) Получение высшего и среднего образования в странах капитала в значительной степени определяется материальным положением семьи. ⑦ В США, например, 2/3 высших учебных заведений частные, в них плата за обучение доходит до 4 тыс. и более долл. в год, что превышает годовой доход значительной части американских семей. При этом плата за обучение растёт. Стипендии в вузах США и других капиталистических странах получает незначительная часть студентов.

注：⑦は Почему (на каком основании)？の意。最初のセンテンスは結論を含んでいます。後半は например という言葉が使われていて、いかにも“部分”であり“説明”であることがわかる、典型的な例示文です。

(b) Фашистское нашествие нанесло Советскому Союзу тяжёлый ущерб. ⑦ В войне погибло 20 миллионов человек. За годы войны гитлеровцы сожгли и разрушили в стране 1710 городов, 70 тысяч сёл и деревень, 32 тысячи промышленных объектов, десятки тысяч больниц, школ, библиотек, 6 миллионов зданий. Более 25 миллионов советских людей остались без крова. Материальные потери страны составили около 2600 миллиардов рублей.

注：⑦は (конкретно) Какой (ущерб)？ということになるでしょう。この例文は например という言葉がないほかは前の例文(a)とほとんど同じように作られています。が、最後のセンテンスが、за годы войны 以下 без крова までにのべられていることの結論を表していると同時に最初のセンテンス説明にもなっているところに注意して下さい。

(c) Значительно укрепляется материально-техническая база океанического рыболовства и рыбного хозяйства внутренних водоёмов. ⑦ Большие средства направлены на реконструкцию и строительство рыбных портов, судоремонтных заводов, рыбоперерабатывающих комбинатов, холодильников, на создание

прудовых и озёрных хозяйств, заводов и нерестово-выростных хозяйств по искусственному воспроизводству рыбных запасов.

注：⑦は Каким образом (укрепляется)？の意味。⑦以後のセンテンスは最初のセンテンスの内容を具体化しています。

(d) Как общая микробиология, так и её специальные разделы развиваются исключительно бурно. Существуют три основные причины такого развития. ⑦Во-первых, благодаря успехам физики, химии и техники микробиология получила большое число новых методов исследования. Во-вторых, начиная с 40-х годов XX в. резко возросло практическое применение микроорганизмов. В-третьих, (...)

注：⑦は Какие (причины)？を意味します。包括的発言（すなわち結論）を先に出し、それについての説明をいくつかの部分に分けて行う発想表現法（結論→説明、全体→部分）です。

(e) Право на труд — величайшее завоевание социализма. ⑦Трудящиеся нашей страны освобождены от мучительного страха перед безработицей. Каждого молодого человека, окончившего вуз, техникум или профессионально-техническое училище, ждёт работа по специальности. Многие получают профессию непосредственно на производстве.

注：⑦は Почему? のこと。このように、ダッシュをつかった"定義文"を冒頭に導入して、その後に説明のためのセンテンスをつなげていく構成法もあります。

これらのパターンのバリエーションは豊富ですし、一つの側面[1]だけに焦点を合わせて提示したにすぎません。が、少なくともこういう風に先に

結論や包（総）括的な叙述を持ってくる練習をつめば、発言の口火が切りやすくなり、あとの発言もそれだけスムーズに続きやすくなってくる、ということは解明できたはずです。

[1] ここでは、суперсинтаксис などで扱われる"текст"の3つの種類（описание, повествование, рассуждение）の相違については触れていません。

また、日本人のウイーク・ポイントと言われる"パラグラフ思考"についても詳しくは言及しませんでしたが、以上の例文を「整然とした段落全体を思考の表現のひとまとまり、すなわち一単位と見なす」パラグラフ思考にも一脈通じるものとして見て下さい[1]。さらに、語順や「論理的アクセント」などについての知識も、論旨の通った発話を支えるものです。この後の附記を参考にその感覚をつかんで頂ければ幸いです。

[1] 連続性のあるテキスト統語論こそが、まさに、単文と複文についての学説に続くべき「高等統語論」である—— Синтаксис связного текста — «это и будет тот «высший синтаксис», который следует за учением о простом и сложном предложении. — Психолингвистическая и лингвистическая природа текста и особенности его восприятия. Под ред. проф. Ю. Жлуктенко и проф. А. Леонтьева. Киев, 1979. с.7.

【附　記】

1．連続性・語順・論理的アクセントについて

1）反復によって記述内容がどう変わるか

連続性の維持の単純な手法は、先行する文章の слово или слово-сочетание の繰り返しである点についてはすでに取り上げました。ここでは、以下の例に沿って、別の角度から「反復」について観察してみましょう。

(1) «Жил на селе одинокий ***старик***. ***Старик*** был слаб и нуждался в постоянном уходе. Ухаживать за ним было некому...»

(2) «Жил на селе ***одинокий*** старик. ***Одиноким*** он был потому, что жена его была убита в первые дни войны, и дети не вернулись с фронта...»

(3) «Жил ***на селе*** одинокий старик. ***На селе*** он жил с первого дня своего рождения...»

(4) «***Жил*** на селе одинокий старик. ***Жил*** он не много не мало, 83 года. Жил он и плохо и хорошо — по-всякому бывало...»

単純な繰り返しで連続性が維持されていますが、何を繰り返すかによってパラグラフ全体の意味内容が変わっていきます。逆に言うと、何が言いたいかで、反復部分が違ってきています。

このように順々に単語や語結合を選んで、それらを繰り返すことでストーリーを作る練習をすると、モノローグ・コミュニケーションとパラグラフ思考の基礎能力の向上に効果的です[1]。

試しに、上記の例文を発展させた次のテキストを観察して、ここで取りあげた事柄への理解を深めて下さい。

«Жил на селе ***одинокий*** старик. ***Одиноким*** он был потому, что жена его убита бомбой в первые дни войны, а дети не вернулись с ***фронта***. ***На фронте*** у него было двое детей — ***Гриша*** и ***Коля***. ***Гриша*** был старшим сыном, ***Коля*** — младшим. ***Грише*** уже было двадцать шесть, а ***Коле*** исполнилось только девятнадцать.

[1] Лосева Л. М. Как строится текст. М., 1980. с. 43—44.

Коля много читал, увлекался спортом, работал на шахте и ***учился***. ***Учился*** он в вечерней школе.

Гриша работал на заводе...»

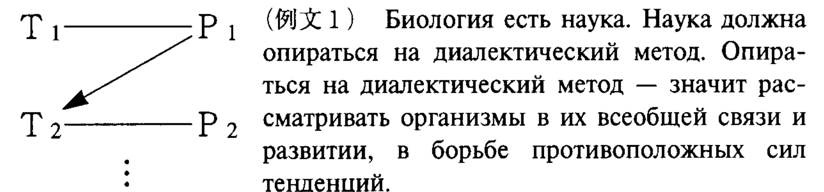
2．「既知」と「新出」[1] の相互関係の3パターン

各センテンスの「既知（**тема**）」と「新出（**рема**）」のかかわり合いや反復関係（そしてセンテンスとセンテンスとのかかわり合い）は通常次の３つの基本パターンで示されています。語順にも注意しつつご覧下さい。

①連鎖関係（**цепная связь**）

これは、先行するセンテンスのレーマにあたる部分が次のセンテンスのテーマとなるような関係を指します。

これを図示すると次のようになります。（以下、図式上のＴはテーマの、Ｐはレーマの略字です。また数字は何番目のセンテンスか、を示しています。）



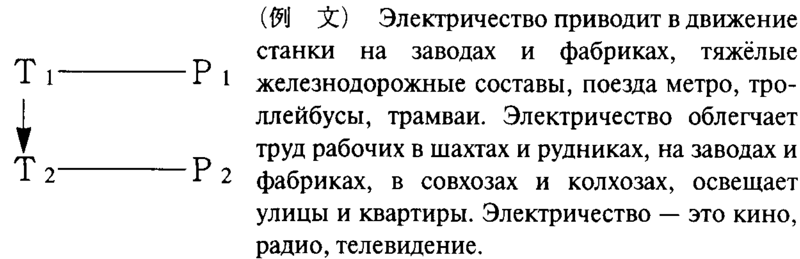
（例文１） Биология есть наука. Наука должна опираться на диалектический метод. Опираться на диалектический метод — значит рассматривать организмы в их всеобщей связи и развитии, в борьбе противоположных сил тенденций.

（例文２）Для того чтобы жить, удовлетворять свои потребности, люди в процессе труда создают материальные блага. Эти материальные блага, прежде чем они попадают в потребление, проходят стадию распределения, которая является связующим звеном между производством и потреблением. Распределение в условиях товарного производства осуществляется посредством обмена товаров.

[1] 日本の言語学用語で「既知と新出」、「既知と未知」と表現するのを、ロシア語ではそれぞれ **тема и рема** と言います。「テーマは、メッセージの主題を表す部分であり、レーマは、メッセージそのもの、テーマに関するインフォメーションを含む部分だ」と説明されます。より詳しくは тематическая часть, рематическая часть という概念で説明される場合があります。また、Темнеет. という文章に見られる「нулевая тема」の概念もありますが、ここでは基本的なことについての説明にとどめます。

② 平行関係（параллельная связь）

これは各センテンスのテーマが不変で、しかも各センテンスのレーマが新しいような関係を表します。

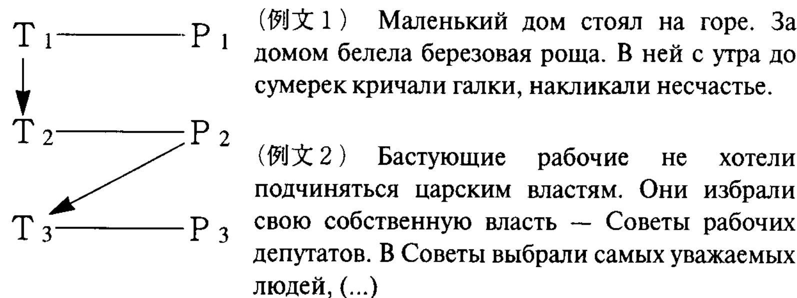


（例　文）Электричество приводит в движение станки на заводах и фабриках, тяжёлые железнодорожные составы, поезда метро, троллейбусы, трамваи. Электричество облегчает труд рабочих в шахтах и рудниках, на заводах и фабриках, в совхозах и колхозах, освещает улицы и квартиры. Электричество — это кино, радио, телевидение.

③ 混成関係（смешанная связь）[1]

上の①や②のタイプはいわゆる純粋な形態ですが、実際にはこの①と②が混ざり合ったタイプが最も頻繁に使われます。

このタイプには多数の変形が存在しますが、とりあえず、その基本的パターンを図示しておきます。

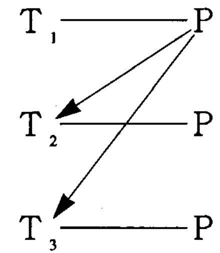


（例文１）Маленький дом стоял на горе. За домом белела березовая роща. В ней с утра до сумерек кричали галки, накликали несчастье.

（例文２）Бастующие рабочие не хотели подчиняться царским властям. Они избрали свою собственную власть — Советы рабочих депутатов. В Советы выбрали самых уважаемых людей, (...)

さらにまた、次のような複雑なパターンもかなり一般的でしょう。

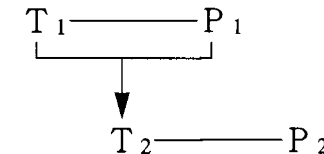
1) 混成タイプ（смешанный тип）とも呼ばれる。



（例　文）Для производства материальных благ нужны предметы и средства труда. Предметы труда — это то, на что направлен труд человека. Средства труда — это машины, оборудование, инструменты, производственные здания, транспорт и т.д.

以上、テーマとレーマの視点から見ると主として３つの基本パターンがあることを紹介しましたが、当然①も②も変形を持っています。つまりそれぞれの逆のパターンも存在します。

このほか、基本３パターンの色々な組み合わせの可能な例としてもう一つだけ実例を紹介することによって、取り扱った問題の深さを指摘するにとどめておきます[1]。



（例文）Для поддержания жизни в любом обществе каждый его член потребляет средства существования. Это — личное потребление.

３）語順で意味がどう変わるか

よく、「ロシア語は格変化が複雑な代わり、語順が自由だから英語よりも楽な部分がある」などと言われます。が、だからといって語順の機能を無視したり、気に懸けなかったりするのは大変な間違いです[2]。本書でこの深遠な主題を詳しく取り扱うことは出来ませんが、ごく基本的な例を示して、同問題への注意喚起とさせて頂きます。まず以下の３つの文章を比べ

1) これらのパターンについては、 Прияткина А. Ф., Шереметьева Е. С. Что такое хорошая речь. Владивосток. 1999. с.29—31; Гапочка И. К. Пособие по обучению чтению. М., 1989. с.252—253; Вейзе А. А. Реферирование текста. Минск. 1978. с.51—53; Русский язык за рубежом. 1975. №6. с.74—77. などに記述がありますが、いずれの解説も一長一短なので、それらの長所をまとめたうえで提示しました。その他のさまざまな変形については Русский язык за рубежом. 1975. № 6. 参照。

2) «Считается, что порядок слов в русском языке свободный. Это верно только наполовину». — Прияткина А. Ф., Шереметьева Е. С. Что такое хорошая речь. Владивосток. 1999. с.29.

てみましょう。

(1) Лев Толстой — автор романа «Война и мир».
(2) Автор романа «Война и мир» — Лев Толстой.
(3) Роман «Война и мир» написал Лев Толстой.

(1)は、「レフ・トルストイとは何者であるか」という問いかけについての回答文。「小説『戦争と平和』の著者である」を意味する目的の語順となっているのです。

(2)は、「小説『戦争と平和』の著者はだれか」について、「それはレフ・トルストイだ」というための語順。

(3)は、「小説『戦争と平和』の著者はレフ・トルストイである」という伝達文なのです。

もう一つ、簡単な例文を見てみましょう。

(1) На берегу реки туристы остановились.
(2) Туристы остановились на берегу реки.
(3) На берегу реки остановились туристы.

(1)の訳は、「川岸で旅行者は立ち止まりました。」

(2)は、「旅行者が立ち止まったのは川岸です。」

(3)は、「川岸で旅行者が立ち止まりました。」と訳せます。

上では、言いたい内容、もしくは質問内容に合致した答えの語順になっているのです。すなわち、それぞれ、(1)は «Что сделали туристы на берегу реки?»、(2)は «Где остановились туристы?»、(3)は «Что произошло на берегу реки?» ということについての情報を伝える目的の文で、それに符合した語順になっているのです。

最後に、少し長い文章を比較してみましょう。

(1) 12 апреля 1961 года состоялся полёт Ю. А. Гагарина в космос, первый в истории человечества.
(2) Полёт Ю. А. Гагарина в космос, первый в истории человечества состоялся 12 апреля 1961 года.

(1)は、「1961年4月12日に何が行われたのか」について語る文章。これに対し(2)は、「人類史上初のガガーリンの宇宙飛行が行われたのはいつのことか」について語る文です。(1)では「何が行われたのか」、(2)では「いつのことか」を伝える部分がそれぞれ「情報の核」として論理的に強調されています。

「伝えようとする『情報の核』にしたがって語順が変わる」[1]という関係がご理解頂けたと思います。

4）論理的アクセント логическое ударение に要注意

日本語でのやりとりでも、コンパなどで、「今日は誰が幹事だ？」と問われて、「僕が幹事です」と答えたときと、「君は誰だ？」と問われて、「僕は幹事です」と答えた場合では、「が」と「は」が使い分けられています。ロシア語の語順は、その日本語に於ける「は」と「が」の使い分けの機能の一部も担っていると言えます。また、同じ語順で発言しても、意味によって強勢される部分（論理的なアクセントが置かれる）が違ってきます。

− Кто из вас студент?	(皆さんの内だれが学生さんですか。)
− Я. (Я студент.)	(僕です。／僕がそうです。／僕が学生です。——論理的なアクセントは Я にある。)
− Кто вы?	(あなたはどなたですか。)
− Студент. (Я студент.)	(学生です。僕は学生です。——論理的なアクセントは студент に置かれる。)

あらかじめ日本語で書かれた文章をロシア語に訳して朗読・スピーチするという機会は結構あるでしょう。そのときに重要なのは語順とイントネーション、そして論理的アクセントです。語順が間違っていて、そのまま読み上げると全く意味が変わるか、正反対になる場合さえあるので、これについての知識も有益です。

例えば、大手エステサロンが主催するダイエットについてのテレビ番組の中で、司会役の女性キャスターが、用意されたテキストを、「今まで体に

---

[1] 筆者の留学時代の恩師である О. А. Крылова, С. А. Хавронина 両人の共著 Порядок слов в русском языке. М., 1986. с.6—10. では、「情報の核」を собственно сообщение と定義し、それがすなわち рема のことである、と説明している。

悪いダイエットばかりしていました。」[1] というイントネーション（下線部を強調）で読み上げました。これでは、「ダイエットは体に悪い」という意味になります。論理的アクセントが間違っています。

このエステサロンは、「体に良いダイエット」を売り物にして、その実行者の中から王者を決めようというほどですから、朗読の論理的アクセントは当然、「今まで体に悪いダイエットばかりしていました。」としなければ筋が通りません。母語でも朗読のイントネーションでつまずくことがあるので、ロシア語の論理的アクセントに気を付けるのはなおさら重要です。

ロシア語の論理的なアクセントについては以下の例文を朗読してみれば、おおよその感覚がつかめると思います。朗読した後、もう一度文末まで目をとおした上で、実際はどこに論理的なアクセントを置かなければならないかを当ててみて下さい。

(1) Конец показывает, что каждый может.
(2) Ты конфеты съел? — Нет, не я.
(3) Ты сегодня придёшь? — Нет, завтра.
(4) Я дал книгу ему, а не ты.
(5) Раньше верили царю, потом перестали верить.
(6) Направо мы сеяли, налево — колхоз.

というわけで、(1) では что、(2) では ты、以下 (3) сегодня、(4) Я、(5) верили 、(6) мы、の部分に論理的アクセント（強勢点、イントネーションの頂点）がくるのが意味内容上・全体のコンテキストからして正しいのです。

上の論理的アクセントを明確に示す書き言葉（正しく読まれる文章）にするのなら、以下のようになります。

(1) Конец показывает: что может каждый.（あるいは原文のままの語順で что に力点を付ける。）
(2) Конфеты съел ты?
(3) Ты придёшь сегодня?
(4) Книгу ему дал я, а не ты.
(5) Раньше царю верили, потом перестали верить.
(6) Направо сеяли мы, налево — колхоз.

---

1) 2000年2月13日、テレビ東京、17時7分頃。

言語学的には奥は深いのですが、ごく単純化して言うと、ロシア語では、論理的アクセントはコンマ（,）やピリオド（.）の直前か、それに最も近いところに置かれるので、話し言葉を書き言葉にする場合、論理的アクセントが置かれるべき言葉は文頭や文中から文の後ろの方に移行させなければならない[1]、というルールがあります。朗読および作文に際してこの点を踏まえておくと、作業が比較的容易になるでしょう。

以上、この附記では、繰り返しのパターンや語順、論理的なアクセントなど、パラグラフそしてテキスト全体を有機的に織り上げる基本的な手法を整理しました。文の構成分析や作文の際の参考にもなるでしょう。[2]

---

1) Мучник Б. С. Человек и текст. М., 1985. с.99—100.

2) ロシアでは、この分野の研究が盛んになったのは1980年代に入ってからで、脚光を浴びるようになったのは比較的最近のことです。そうした中で、例えば学術文献と文学作品の「文のつなぎの手段」を比較した上で、芸術作品の中では100の文章に対して18のつなぎのことばが使われているのに比して、学術文献では34である、というような実践的な研究結果ももたらされています。さらに、語彙反復は、学術文献では文学作品より3倍も多く、逆に人称代名詞の使用頻度は学術文献では文学作品の半分だ等々の指摘もあります。論理的な説明を最優先する学術文献の特徴がうかがえます。モノローグの構成を学ぶ上で興味深いデータです——

«Научная речь по количеству языковых единиц, используемых в качестве средств выражения связности, существенно отличается, например, от художественной. Если в последней приходится 18 связующих единиц, то в научной — 34 единицы; лексических повторов в научной речи в три раза больше, а личных местоимений в связочной функции, наоборот, в два раза меньше, чем в художественной. Указательные местоимения, особенно с предлогами, наиболее употребительны именно в научной речи (в художественной речи их мало — пять употреблений на 100 предложений) , к тому же у них ослаблена функция «замещения» и усилена функция связи, что обеспечивает их вхождение в состав именных и глагольных устойчивых словосочетаний типа в этом случае, с этой целью, на этом основании; это свидетельствует о том, что...; это значит, что... и др.» — О. Д. Митрофанова. Научный стиль речи: проблемы обучения. М., 1985. с.62—63.

2.「脈絡の糸」の実例 ―プーチン・インタビューより

モノローグ構成手法の考察の一環として、プーチン・ロシア大統領のインタビューの一部を「脈絡の糸」の観点から分析してみましょう（2000年7月14日付の新聞 **ИЗВЕСТИЯ** より）。

（記者の質問）

— Одна из самых обсуждаемых сейчас тем — Ваши инициативы по укреплению власти. Многие видят в этом очередное «закручивание гаек» [1]. Вы сами какой хотели бы видеть власть в России?

в этом の это は縮約による内容反復で、Ваши инициативы по укреплению власти を指す。

ここでは власть が主題。

（以下は大統領の答え）

— Результативной, а значит, сильной. Иначе она не власть, а издевательство над народом. Другое дело, о какой силе идёт речь и чему эта власть служит. Если власть держится только на том, чтобы «строить» общество на ограничениях и запретах, а нормальному человеку хочется держаться от неё подальше, — цена ей ноль. Если же власть открыта, предсказуема и использует свои рычаги, чтобы защитить достоинство граждан, их свободы, безопасность, право выбора, если она даёт возможность стабильно и честно зарабатывать себе на хлеб — она по-настоящему эффективна и сильна.

Результативной, а значит, сильной. は、テーマ власть を省略し、レーマだけで答えた文章。

Иначе は対比・反意の接続詞。人称代名詞 она はテーマ власть の反復。Другое дело, は以下でコントラストを導く表現。対照でつなぐことになる。сила は власть の類義語による反復。

Если власть; Если же власть; если она; と繰り返される対句的構文（主語句反復構文 анафора でもある）。

— цена ей ноль と、この段落の最後の — она по-настоящему эффективна и сильна. も対句的構文である。

[1]「たがを締める、綱紀を粛正する」の意味。

Вообще это очень в российской традиции — ругать власть, бояться её и не ждать от неё ничего хорошего. Наша историческая память полна страхов. Но было бы упрощением говорить, что страх возвращения к прежним порядкам основан только на прошлом опыте.

Довольно много молодых, только что вставших на ноги людей настороженно воспринимают слухи об очередном переделе собственности или пересмотре итогов приватизации. Я их понимаю. Бесконечная смена правил, нестабильность отношений собственности, противоречивые законы — всё это никак не способствует нормальному развитию бизнеса в стране. С другой стороны — пока государство «отпускало вожжи» [1] в экономике, уход от налогов и прочие злоупотребления стали массовыми и общепринятыми. Как результат — сегодня многие предприниматели оказались в «зоне риска», в потенциально сложных отношениях с зако-

Вообще это очень в российской традиции ⑦ — 先に取りあげた⑦を含む発言順序で、まず「そもそもこれは極めてロシアの伝統に顕在する」と、まず一般結論を言い、次に—以下で具体的な説明を付け加えている。

российская традиция, историческая память, прошлый опыт は、この文脈内では類義語で、それらによる副題の疑似反復で発話の筋を維持している。

страхов はレーマの部分に位置するが、次の文では страх としてテーマ部分に位置している。「連鎖関係」だ。

Довольно много молодых, только что вставших на ноги людей は、直前の прошлый опыт を持つ古い世代に対置された「若い人たち」のことであり、対比 контраст で発話の前後をつなぐ手法として用いられている。Я их понимаю. の後には（なぜ？―なぜならば）が内在している。この後には説明・具体化がくる構文だ。

説明・原因を列挙した後、それらを一括して всё это で示している。

С другой стороны — 対比を示

[1]「手綱を緩める」の意味。

ном. Как же им не нервничать?

す挿入語。それ以前の発言内容をС одной стороны — とする含意がある。

先に原因を示し、Как результат — という構文で因果関係を示して脈絡を維持している。

Как же им не нервничать? は、発端Я их понимаю. の「まとめ受け」の表現。「彼らがいらいらするのも当然だ。」のニュアンスが出る。

Возникает вопрос — что с этим делать? Вряд ли справедливо сваливать ответственность только на граждан и делать вид, что за такое положение дел государство не отвечает. Поэтому мы и начали с того, что пошли на меры, которые должны резко улучшить предпринимательский климат в стране. Я прежде всего имею в виду внесённые нами законопроекты по налогам и отчислениям во внебюджетные фонды. С их принятием в отношениях власти и бизнеса начнётся кардинально новый этап — осознанной взаимной ответственности и взаимных обязательств. Государство идёт на установление единой 13-процентной ставки подоходного налога, что делает бизнес крайне выгодным, даёт максимум возможностей для его прозрачности. В ответ оно вправе рассчитывать на соблюдение правил игры и со стороны предпринимателей.

с этим は、それまでに指摘した複雑な情勢を示す包括表現。縮約による内容反復である。

такое положение дел —指示代名詞 такой を用いた「名詞を伴う縮約による反復」でつないでいる。положение дел（現状）は、先の с этим の это が指す内容と同一である。

Поэтому мы ～ в стране. の文の後には?（Какие меры?）が内在する典型的な概括的文章であり、当然、具体化による説明が予定されている。

Я прежде всего имею в виду...「とりもなおさず念頭に置いているのは……」という「説明・具体化」を導くシグナル表現でつないでいる。それ以下はмеры の具体的な説明が続く。

новый этап — осознанной взаимной ответственности и взаимных обязательств. ?やはりここには?（Что такое осознанная взаимная ответственность и взаимные обязательства?）という вопрос が内在する包括的な文章だ。Государство で始まる文がその説明・具体的な答えになる。

в ответ は、「それに対して」と前を受けつぐとともに、相互作用の内容表現導入の役割も果たす。

＊このほか、終わりの2つの文章では государство がテーマであり、最後の文章は、これを оно で受けて再度テーマを繰り返す、平行関係（параллельная связь）の典型例。оно は機械的に一番近い установление ではなくて、テーマ、主題（государство）を繰り返しているのだ。ロシア語の人称代名詞は「最も近く、隣接するもの」を指すとは限らない点にくれぐれも注意。

＊また、Государство идёт..., что делает..., даёт... という構文では、что 以前は「条件」を提示し、что 以下は「そうすればこうなる」という「結果」を想定するような、広義の「因果関係」を想定する構文であることにも注目。

第２部

コミュニケーションの現場の用語・表現

Ⅰ．スピーチ
Ⅱ．会　議
Ⅲ．交　渉

I．スピーチ

スピーチの型、言葉というのはかなり限られています。ある分量の決まり文句を心得てしまえば、ほとんどがそれで処理できてしまう、と言えるほどです。ですから、それだけは身につけておかなければなりません。スピーチというのはかなり儀礼的なものですから、情報を伝えるだけでは落第で、それを正しい形で、儀礼にかなったものとして通訳しなければならないのです。それはもとの日本語の字義を一々正確に訳す、ということではなくて、ロシア語のスピーチとしておかしくないものにする、ということです。原発言者が冒頭いきなり「私は....」とやっても、通訳者は Дамы и господа! 程度は補わなければなりません。日露両語のスピーチの決まり文句をしっかり覚え、その対応法に慣れておく、これがスピーチ通訳の最大のコツでしょう。

1．スピーチのひな型

まず日露外交の場で行われる日本側のスピーチのひな型をご覧下さい[1)]。

イワノフ副首相閣下はじめ、ご列席の各位。

Уважаемый Вице премьер-министр господин Иванов! Уважаемые дамы и господа!

ご多忙の折りにもかかわらず、副首相閣下ならびに貴国の著名な方々をお迎えして、ここに午餐を共にする機会を得ましたことは、私どもの大きな喜びとするところであります。

Мы глубоко удовлетворены представившейся возможностью принимать на этом торжественном завтраке господина Вице премьер-министра, а также видных деятелей вашего государства, которые сочли возможным присутствовать здесь, несмотря на необычайную занятость.

1) スピーチの和文の出典は «Японский язык. Устный перевод на средних семестрах». М., 1995. с.97. 和文露訳はロシア語通訳協会・上智大学講師の原ダリア氏によるもの。

なお個々の翻訳技法については、この章の最後の〔資料テキスト〕の分析をご参照下さい。

昨日、ご挨拶のなかで申し上げましたとおり、今回のロシア連邦訪問の最大の目的は、両国指導者間の対話の進展にあります。われわれは日露間の最大の懸案である領土問題の解決を含む平和条約の締結をはじめ、両国の諸問題につき、率直な意見交換の機会を持つことに重要な意義を認めております。

Как я уже отмечал в своём вчерашнем выступлении, важнейшей целью нынешнего визита в Российскую Федерацию является развитие диалога между руководителями наших двух стран. Мы признаём всю важность предоставленной возможности искреннего обмена мнениями по всем вопросам двусторонних отношений, в первую очередь, — по вопросу заключения мирного договора, включающего в себя разрешение территориальной проблемы, которая остаётся крупнейшим неразрешённым вопросом в отношениях между Японией и Россией.

昨日コーズィレフ外相閣下は、私どもがお招きにあずかった心あたたまる午餐会の席上、平和条約の締結が日露関係発展のためのより強固な基盤となる、との趣旨を述べられました。私は外相閣下の深いご理解に対し、改めて敬意を表するものであります。なぜならば、日露千年にわたる真の善隣友好関係の確立を心から願う者にとって、この問題を避けて通ることはできないと考えるからであります。繰り返して申すまでもなく、わが国にとって平和はかけがえのないものであります。

На вчерашнем торжественном завтраке, на котором мы имели честь присутствовать, Министр иностранных дел господин Козырев заявил, что заключение мирного договора создаст более прочную основу для развития японо-российских отношений. Позвольте выразить уважение господину Министру иностранных дел за глубокое понимание проблемы, поскольку для тех, кто от всей души стремится к установлению подлинно добрососедских отношений между

平和国家に徹し、世界の平和と福祉に貢献することはわが国不動の方針であります。私は、かかるわが国の真摯な姿勢に対し、ロシアの皆様方の十分なご理解を得たいと思います。

Японией и Россией на долгие годы, этот вопрос не может быть оставлен в стороне. Хочу ещё раз подчеркнуть, что для нашей страны мир является непреходящей ценностью.

Оставаться верной принципу миролюбия и вносить свой вклад в дело мира и благополучия народов во всём мире — это незыблемый курс нашей страны. Я хотел бы, чтобы подобная искренняя позиция нашего государства нашла у вас полное понимание.

終わりに際し、相互理解と信頼に基礎を置く日露間の永久の善隣友好関係の確立を祈念しつつ、またご列席の各位のご健康のために、ここに杯を挙げて乾杯したいと思います。

乾杯。

В заключение позвольте поднять бокал за установление добрососедских дружеских отношений между Японией и Россией на века, которые будут опираться на взаимопонимание и доверие, и провозгласить тост за здоровье всех присутствующих.

外交の場での日本側のスピーチの例[1]をもう一つ見てみましょう。ロシア首相を前にしたものです。

Ваше Превосходительство[2] г-н Премьер-министр[3]!
Дамы и господа!

1) «Японский язык. Устный перевод на средних семестрах». М., 1995. с.112.
2) Ваше Превосходительство は「閣下」の意味。
3) ロシアの新聞などの報道では通常 премьер-министр と小文字で表記するが、外交での公文書などでは Премьер-министр もしくは Премьер-Министр と表記する場合もある。

Прежде всего, позвольте поблагодарить вас за приглашение посетить вашу страну и выразить нашу признательность за то, что вы сочли возможным встретиться с нами, несмотря на свою занятость.

Вчера на завтраке[1], устроенном для нас, вы, г-н Премьер, высказали очень ценную, на наш взгляд, мысль о том, что все проблемы[2], существующие в наших отношениях, включая и самые сложные, должны быть решены. Мы искренне надеемся, что соглашения, достигнутые в ходе нашего визита, станут прочной основой для развития мирного сотрудничества между нашими народами в самых разных областях.

Я очень рад тому, что сегодня имею возможность вновь выразить своё уважение г-ну Премьер-министру за проявленное им глубокое понимание. Мы убеждены, что тот, кто искренне желает установления отношений подлинного добрососедства и сотрудничества, не может оставить в стороне нерешённые вопросы.

Наша страна последовательно отстаивает принципы мира, и мир для нас — непреходящая ценность. Мы и впредь намерены вносить посильный вклад в дело международной безопасности, стабильности и процветания АТР[3], благополучия народов всего мира.

В заключение позвольте выразить надежду на то, что отношения между нашими странами и народами будут крепнуть и развиваться на основе принципов добрососедства, взаимопонимания и взаимного доверия, и поднять тост[4] за здоровье г-на Премьер-министра и всех присутствующих.

ざっと見てくると明らかなように、典型的なスピーチは、呼びかけ、切

1) завтрак は、外交用語では「午餐」を指す。
2) проблема と вопрос の違いについては露露辞典に次のような説明がある。Проблема — сложный вопрос, требующий изучения, разрешения.
3) АТР は азиатско-тихоокеанский регион（アジア太平洋地域）。
4) поднять тост は「乾杯の杯をあげる」の意味で使われることもある。間違った表現ではないが、元来 тост は「乾杯の辞、音頭」を意味するし、他方「杯をあげる」には поднять бокал という表現が相当するので、поднять тост という表現を嫌うネイティヴのロシア人が多い。一般的には後の「乾杯の音頭」の項に収録した表現が推奨される。通常スピーチ最後の「乾杯」のかけ声は訳さなくてもよい。特に「杯を飲み干しましょう」と強調するときには、До дна! などの表現を用いる。

り出し、本題、締めくくり（乾杯の提唱はあったり、なかったり）から成っており、各段階には特有な言い回しや熟語があります。

本書では以下、各種のスピーチで用いられる、比較的頻度の高い典型的な表現を選び、それらをグループ分けして整理しておきますので、色々な場面を想定しながら応用練習を行って下さい。

2．スピーチによく使われる表現

1）スピーチの冒頭[1]、歓迎、お祝いの挨拶

私はただいまご紹介にあずかりました～協会のＡであります[2]。	Уважаемые дамы и господа! / Уважаемые коллеги! и т. д./
私は～会社の研究所長をつとめておりますＢであります。	Позвольте [разрешите] представиться. Моя фамилия «В», я директор исследовательского института фирмы ～
はじめに、まず最初に[3]	прежде всего
～にあたり、～に際して	по случаю чего-л. [4] , в связи с чем-л. [5]
～を代表して、～になり代わって、～の名において	от имени кого-л.; от лица кого-л.

[1] スピーチの冒頭部に呼びかけを入れるのがエチケット。これについては「会議」の項参照。
[2] ロシア語では（英語でも）「ただいまご紹介にあずかりました～です」という言い方はない。「あらためて名乗るのは図々しい」と受け止められる。だから、右のように、呼びかけの表現を使うのが適当だ。名前や役職などを訳さなかったとして原発言者側からクレームがついたら、そのわけを説明すればよい。
[3]「まず最初に」は重複表現だが、日常的にはよく使われるのが実態だ。
[4] 以後、本書の至る所でご注意頂きたいのは、чего-л., кого-л., что-л. などが、主として日本語表現の「～」に相当する部分に当てられているという点です。( )を多用するとかえって読みづらいので、極力その使用を避けました。
[5] по случаю годовщины（記念日にあたり）、в связи с открытием конференции（開会に際し）のように使う。

ご挨拶を申し上げます、一言ご挨拶[1]を申し上げます、一言歓迎のご挨拶を申し上げます	я приветствую кого-л.; разрешите [позвольте] мне приветствовать кого-л.
心からお祝いする；心からお祝いの挨拶を伝える（送る）	горячо [сердечно] [2] поздравлять кого-л. с чем-л.; передавать кому-л. (посылать) [3] самые горячие [сердечные] поздравления
くれぐれもよろしくとの挨拶を伝える（送る）	передавать (посылать) кому-л. добрые [наилучшие] пожелания [4]

* *

まず最初に、皆様がたに、そして皆様がたを通してすべてのロシア国民の皆様に日本の勤労者からの友情のご挨拶をお伝え致したいと思います。	Прежде всего позвольте мне передать вам и в вашем лице всему российскому народу дружеский привет от трудящихся Японии.
私は～市の勤労者を代表して、この意義深い集会に参加されたロシアの皆様に心から連帯の挨拶を申し上げます。	От имени трудящихся города ～ позвольте мне сердечно приветствовать российских участников нынешней знаменательной встречи и выразить солидарность с вами.

[1]「一言ご挨拶....」や「歓迎のご挨拶」となっても、とにかく приветствовать кого-л..で対処する。またこの場合 Я очень рад... や Мне доставляет большую радость... などを付け加えても、一般的には大意を曲げることにはならない。
[2] сердечно の同意語は от (всей) души, от (всего) сердца, искренне などである。なお、горячо は本来「熱く、熱烈に」の意味ではあるが、日本語では通常「熱く（熱烈に）お祝いする」とは言わないので、この горячо を和訳する場合は「心から」とするのが自然。
[3] передавать (посылать) は братский привет（兄弟的挨拶）、горячий привет（熱烈な挨拶）、сердечный привет（心からの挨拶）、дружеский привет（友情の、友情を込めた挨拶）などとともによく用いられる。
[4] наилучшие пожелания などはなかなかピッタリした日本語には訳せない場合が多い。「ご多幸」とか「切に希望する」などのように強調しておく。

2）お礼、感謝の表現

（～に対して）お礼を言う、感謝する[1]	благодарить кого-л. [выражать благодарность[2] кому-л.] за что-л.
心づかい、配慮に（対して）	за внимание, за заботы[3]
手厚いおもてなしに（対して）	за гостеприимство[4]
友情のこもったおもてなしに（対して）	за дружеское гостеприимство
（あたたかい）手厚い歓迎に（対して）	за (тёплый) радушный приём[5]
友情のこもった歓迎に（対して）	за дружеский приём
（～への参加招待に対して誰々に）深く感謝する、厚くお礼を言う	выражать глубокую благодарность (кому-л. за приглашение принять участие в чём-л.)
この場をお借りして〔この機会をお借りして〕、私たちは～に心から深く感謝申し上げます	пользуясь (этим) случаем, мы выражаем искреннюю и глубокую признательность кому-л.

*　　*

1)「～をありがたく思う、感謝する」、を言うには быть благодарным за что-л. という表現も使える。
2) благодарность とほぼ同意で、同様な用い方をされる言葉に признательность というのもある。頻度も高い。
3) しばしば благодарить за оказанные заботы и внимание という組み合わせで用いられる。
4) 例えば благодарить за внимание и гостеприимство, оказанные мне в вашей стране というふうに使われる。
5) приём もしばしば оказанный とともに用いられる。例えば за оказанный приём や за приём, оказанный... のごとく。なお、このような場合に使われる приём という言葉と гостеприимство との意味上の差はほとんどないと考えてよい。

この機会をお借りして、ロシア連邦へご招待下さいましたことに心からの謝意を表明させて頂きます。	Позвольте мне, пользуясь случаем, выразить вам сердечную благодарность [сердечно (искренне) поблагодарить вас] за приглашение посетить Российскую Федерацию.
海外からのご来賓の皆様には、遠路はるばる私どもの会議にお越し頂いてありがとうございました。また、ご多忙のなか[1]、会議にご参加下さった日本の学者の皆様にも感謝申し上げます。	Благодарю наших зарубежных гостей за то, что они сочли возможным приехать на нашу конференцию. Мы также благодарны японским учёным, которые нашли время и возможность принять участие в работе нашей конференции.
このたびは、皆様の工場を見学に参りましたところ、かくも盛大なる歓迎〔おもてなし〕を受けまして、まことに感謝にたえません。	От всей души благодарим вас за радушный приём, оказанный нам на вашем заводе [во время осмотра вашего завода].
皆様から結構な贈り物および過分のおほめの言葉[2]を頂きまして、感激の至りに存じます。心から感謝致します。	Я глубоко тронут вашими добрыми [тёплыми] словами и памятными подарками. Сердечно вас благодарю.

1)「遠路はるばる」や「ご多忙の中」などの言い回しはロシア語ではほとんど使わないので、右のような言い回しでその趣旨を透かし彫りにするとよい。107ページも参照。
2) ここではもう「結構な」や「過分のおほめの言葉」などにいちいちこだわらず、ロシア語ではこのような場合にはこう言うのだ、と覚えたほうがよい。

3）喜び、感動、名誉

～ということは〔～することは〕私にとって喜び[1]に耐えません	мне доставляет большое удовольствие [большую радость]...
～を〔～について〕述べることができるのは（私にとって）喜ばしいことです	(мне) приятно отметить что-л.
（～することは）私にとって特に喜ばしいことであります	мне особенно приятно (делать что-л.)
喜びと誇りを感じる	испытывать чувства радости и гордости
～にあたり私たちは喜びと誇りに満ちています	мы преисполнены радостью и гордостью в связи с тем, что...
喜びの気持ちを分かち合う〔ともにする〕	разделять чувство радости (с кем-л.)
私たちの心を喜びで満たす〔一杯にする〕	наполнять наши сердца радостью
～の〔～する〕機会を得て幸せに存じます〔喜んでいます〕	мы счастливы представившейся возможностью...
満足の意を表す	выражать удовлетворение
お言葉をうれしくたまわる	с удовольствием выслушать (чьи-л.) слова
深い感動の念をもって	с чувством глубокого волнения

[1]「喜び」にあたるロシア語の単語はрадость, удовольствие, удовлетворениеである。このうち後の２つには「満足、満足の意」という意味もあるが、日本語で「私はたいへん満足であります。満足の至りであります」などと言うと高慢に響く（少なくともそう受け取られる危険性がある）。だからудовольствиеもудовлетворениеも、挨拶の中で使われている場合には「喜び」と和訳したほうがよい。

～ということを申し述べるのは私どもの深き喜びとするところであります	с чувством глубокого удовлетворения мы отмечаем, что ～
～が深く印象に残る	что-л. оставляет глубокое впечатление
～することをこの上なく名誉なことと思います	мне выпала высокая честь делать что-л.
出席する〔出席できた〕ことを光栄に思う	иметь честь присутствовать (где-л.)

*

われわれ両国間の経済並びに文化の面における協力が年々広がっていることを皆さんとともに喜び合いたいと思います。	Вместе с вами мы радуемся[1] тому, что сотрудничество наших стран в областях экономики и культуры расширяется из года в год.
ロシア連邦の著名な政治家、社会活動家の皆様との新たな出会いを私は心から喜んでおります。	Я искренне рад новой встрече с вами, видными политическими и общественными деятелями Российской Федерации.
貴賓の方々をお迎えして私たちは喜んでいます。	Мы рады принимать высоких гостей.

4）祈念、期待、確信

新たな／更なる／成功を祈る	желать новых / дальнейших / успехов[2]
実り多き成果を祈る	желать плодотворных успехов

[1] Мы разделяем с вами чувство радости в связи с тем, что... の構文も使える。
[2] успех に近い意味で достижение という言葉がある。これは желать новых больших достижений в деле... （～の事業における新しい大きな成果を祈る）というように使われ、同じ「成果」でも「業績」の感じが強い。

善隣関係の強化を祈る — желать укрепления добрососедских отношений

長寿を祈る — желать долгих лет жизни

ご健勝とご繁栄を祈る — выражать (кому-л.) пожелания крепкого здоровья и процветания

～という期待を表明する — выражать надежду, что...

～という確信を表明する — выражать (твёрдую) уверенность в том, что...

～に確言する、言明する — заверять[1] кого-л. в чём-л.

* *

私たちはすべての国民との平和と友好を願っております。

Мы хотим жить в мире и дружбе со всеми народами.

私たちは、アジアと全世界の平和のためにロシア連邦との科学技術ならびに文化関係がよりいっそう発展することを願うものであります。

Мы желаем дальнейшего развития научно-технических и культурных связей с Российской Федерацией в интересах мира в Азии и во всём мире.

私たちは、隣国ロシアとの友好をさらに深める所存であります。

Мы намерены и впредь крепить дружбу с нашим соседом — Россией.

私たちは、今日ここに開かれるセミナーが、両国人民の相互理解と善隣関係の強化に著しく貢献する[1]ものと固く信じております。

Мы глубоко уверены в том [мы твёрдо верим], что открывающийся сегодня семинар внесёт большой вклад в дело укрепления взаимопонимания и добрососедских отношений между нашими народами.

1) この заверять という単語のもつニュアンスは多い。これは「確言する」、「言明する」、「確約する」、「請け合う」などの意味を包含している。
В заключение позвольте вас заверить, что мы будем и впредь развивать дружбу и сотрудничество с Российской Федерацией.「最後に、私たちは今後ともロシア連邦との友好と協力を強化していくつもりである、ということを皆さまに言明して挨拶に代えさせて頂きます。」というような使い方をする。

5）結びのことば

簡単ながらこれをもって私のご挨拶といたします[2]。

Благодарю [Спасибо] за внимание.

終わりにのぞみ、ここにご出席の各位に対し、深く敬意を表してご挨拶と致します[3]。

В заключение разрешите заверить присутствующих в нашем [моём] глубоком уважении.

皆様がたが今後とも日ロ友好の発展に大きく貢献されることを期待してお祝いのことばと致します。

В заключение позвольте выразить надежду, что вы и в дальнейшем будете вносить большой вклад в дело укрепления дружбы между Японией и Россией.

終わりに、皆様のご健勝と今後のご活躍を祈念申し上げましてご

Заканчивая своё выступление, я хочу пожелать всем вам креп-

1) スピーチの中ではしばしば、役割、業績、評価、義務などに関連して次のような熟語が使われる。играть большую роль в чём-л.「～において大きな役割を果たす」、играть положительную роль「肯定的な役割を果たす」положить хорошее начало чему-л.「～のよき端緒となる」、придавать особое значение чему-л.「～に特別な意義を与える」、преуменьшать значение чего-л.「～の意義を過少評価する」、отмечать с удовлетворением заслуги (чьи-л.; какие-л.)「喜んで業績をたたえる」、считать своим долгом (что-л.; делать что-л.)「(～を；～するのを）自らの義務と受け止める」、отдавать все силы чему-л.「～に全力を捧げる」。
2) ロシア語では、На этом позвольте мне закончить своё короткое выступление. とは言わない。強いて言うのであれば、На этом позвольте закончить. となるにはなるが、情報伝達の観点からは上にあげた例のような決まり文句で置き換えるのが最適。
3)「ご挨拶と致します」「お祝いのことばと致します」のような言い回しに当てはまるロシア語の言い回しは、2とおりある。上の例のように<u>В заключение</u> позвольте [разрешите]... とするか、<u>Заканчивая своё выступление,</u> я хочу... とするのがそれである。

挨拶に代えさせて頂きます。 | кого здоровья и успехов в работе [крепкого здоровья и плодотворной дальнейшей деятельности].

以上でございます。[1] | Спасибо за внимание! / Позвольте на этом закончить, благодарю за внимание.

6）万歳や乾杯の音頭

日ロ友好と協力万歳！	Да здравствует [2] дружба и сотрудничество между Японией и Россией!
日ロ両国民の友好と平和万歳！	Да здравствует мир и дружба между народами Японии и России!
日ロ両国の協力が強化、発展することを祈念致します。	Пусть крепнет и развивается сотрудничество между Японией и Россией!
最後に、ご列席の皆様の健康を祈って乾杯したいと思います。	Позвольте мне в заключение поднять бокал [3] за здоровье всех присутствующих.
ロシア連邦の繁栄を祈って乾杯をしたいと思います〔提唱します〕。	Я провозглашаю тост за процветание Российской Федерации.

[1] 発言終了時の言葉のあやなら、その意味は「ご清聴ありがとうございます」である。
[2] Да здравствует のあとには名詞が、そして Пусть のあとには動詞がくるところが違うだけで、意味は両方ともに「万歳」ということである。だから、例文のように Пусть крепнет и развивается... とあるのを日本語に訳す場合には、少々無理をしてでも「日ロ両国の協力の強化・発展万歳」と訳したほうがより目的にかなうし、訳も締まってくる。
[3] поднимать бокал, провозглашать тост, предлагать выпить, пить за～などが乾杯の提唱に際してよく使われる表現。тост до дна; выпить до дна は飲み干すことを提案する際に用いられる表現。

全世界平和のために乾杯を提唱したいと思います。	Я хочу предложить [1] выпить за мир во всём мире.
ご来賓各位のご健康とご成功を祝して！	Пью за здоровье и успехи уважаемых гостей!
日ロ両国民の友好のために！	За дружбу народов Японии и Российской Федерации.

7）お悔やみ・哀悼の言葉[2]

亡くなる、逝去する、死ぬ	скончаться, уходить из жизни, умирать
葬儀、葬式	похороны
告別式	церемония прощания
市民葬	гражданская панихида
国喪	национальный траур
葬式に列席する、葬儀に参列する	присутствовать на похоронах
哀悼の辞	слово памяти усопшего
お悔やみを言う、弔意を表す、哀悼の意を表す	выражать соболезнование (по случаю чей-л. смерти)
弔問・哀悼の言葉を受ける	принимать соболезнование (я)
最後の別れを告げる、告別する	отдавать последнюю дань уважения кому-л.
ひつぎに献花する	возлагать цветы к гробу

[1] предлагать тост という表現も用いられることがあるが、предлагать とは выпить за の組み合わせの方が自然とされる。
[2] 要注意！特に「お悔やみの表現」を知らずに、恥をかいた人は少なくありません。新聞雑誌で要人の死亡・葬儀関連の記事などを日ごろから収集する心構えは欠かせません。なお、故人をしのんでの「献杯」するときは、グラス類を接触させて音を出す「乾杯」（чокаться / чокнуться）はタブーとされています。

まことに痛切に絶えませんがご報告申し上げます。Aさんが12月31日に逝去されました。	С глубоким прискорбием сообщаем отом, что 31-го декабря ушёл из жизни [скончался] г-н «А».
心からお悔やみ申し上げます。	Примите мои искренние [глубокие] соболезнования. (Приношу вам свои искренние соболезнования.)
Aさんのご逝去は私たちの共通の痛み、悲しみです。	Уход из жизни г-на «А» — наше общее горе.
Aさんが安らかにお眠りになることをお祈りします。	Пусть будет земля пухом г-ну «А».
Aさんのご冥福をお祈りいたします。	Благословляю память г-на «А».

3. 資料テキスト・スピーチのひな型の分析

ここに1973年の10月、当時の田中角栄首相が訪ソした際のスピーチの原文と **Правда** 紙（10月10日付）に掲載されたロシア語の訳文があります。一国の首相の公式なスピーチで、日本語独特の表現と外交上の配慮をもとに作成されたものであり、いわばスピーチのひな型の一種と呼んでもよいでしょう。

このスピーチを、この項の冒頭でとりあげた我が国の政府レベルの「スピーチのひな型」と比べてみると、いかに延々と今日まで類型的な外交スピーチが続いているかが良く分かり、別の視点からも興味が湧きます。しかも切り出しはほとんど「ご多忙にもかかわらず……」です。儀礼ばかりで中身のない文言から切り出すわけで、これに通訳がはさまると、聞き手は退屈きわまりないでしょう。オリジナルがそうなら露訳文もそれなりであっても仕方がないはずです。

ところが、実は、ここで資料として挙げる訳文には、色々な工夫や秘訣が随所に隠されているのです。ここ最近の日ロ外交の場でのスピーチよりもはるかに気の利いた言い回しや表現法も含まれています。時代物かも知れませんが、ソ連時代の日ソ関係や、当時のソ連の国家・政府の機構の相関関係を反映する表現もあるので、それらを背景知識として知っておくのも有益でしょう。翻訳手法の分析例も何かと参考になると思われます。

* * *

コスイギン首相閣下	Уважаемый Председатель Совета Министров г-н Косыгин!
ご列席の各位	Дамы и господа!
ご多忙の折にもかかわらず[1]、コスイギン首相閣下ほかソ連党政府首脳のかたがた、ならびに当国の著名なかたがたをお迎えして[2]、ここに午餐を共にする[3]機会を得ましたことは、私の大きな喜びとするところであります[4]。	Мне доставляет большую радость, что сегодня я имею возможность присутствовать здесь вместе с Председателем Совета Министров г-ном Косыгиным и другими руководителями партии и правительства, а также вид-

[1]「お忙しい中を」「ご多忙の折にもかかわらず」のような言い回しを挨拶の中で用いる慣習はふつうのロシア人の間にはない。ただし、この **несмотря на свою занятость** という表現を、「招待に応ずることを可能と考えてくださった＝招待に応じてくださった（**сочли возможным принять приглашение**）という言い回しといっしょに用いた場合に（つまり、**несмотря на свою занятость**をより具体的に使った場合に）、はじめてロシア人にも通じ得る発言となる。

[2]「お迎えして」に直接対応する表現は露訳文の中にはない。その代わり、**присутствовать здесь вместе с** 〜 や **принять приглашение** などのことばによって「お迎えして」が、言わば"あぶり出し"になっている。

[3]「ここに午餐を共にする」は、**присутствовать здесь вместе с** 〜となっていて、午餐」ということばは **здесь** の中に飲み込まれている。なお、外交的慣習として午餐のことをロシア語では **завтрак** と言うが、これはもちろん「朝食」のことではなくて、いわゆる「ランチ」を指す。

[4]「ご多忙にもかかわらず〜を得ましたことは、私の大きな喜びとするところであります。」というのがこの発言全体の構文だが、それをロシア語に訳すとちょうど逆さまになっているところに注意。これは訳出上しばしば起こる現象であり、どこをどう訳してよいのか迷った時などは、このような逆転を試みるとうまくいくような場合も少なくない。

ными деятелями вашей страны, которые сочли возможным принять приглашение, несмотря на свою занятость.

昨日、私のあいさつの中で指摘いたしましたとおり、今回のソ連訪問の最大の眼目は、両国最高指導者間の対話の開始でありました。私は、右に際し[1]、ブレジネフ書記長閣下をはじめ、ソ連党政府首脳のかたがたと、日ソ間の最大の懸案である領土問題の解決を含む平和条約の締結をはじめ、両国間の諸問題につき、率直な意見交換の機会をもつことに重要な意義を認めております。

Как я[2] уже отметил вчера в своей речи, самая главная цель моего визита в Советский Союз — положить начало диалогу между высшими руководителями обеих стран. В этой связи самое большое значение я придаю тому, что я имел возможность обменяться откровенными мнениями[3] с Генеральным секретарём[4] и другими руководителями партии и правительства Советского Союза как по вопросу о заключении мирного договора на основе решения территориального вопроса, являющегося

[1]「右に際し」という表現はお役人の「つなぎ」の文句で、в этой связи: в связи с этим などの表現で置き換えるしかなかろう。

[2] ロシア語では、一般的には公のスピーチでは第１人称の «я» を多用しないように努める傾向がある。多用すると Он якает.「彼はワシワシしてる」などと言われかねないからだ。そのような印象を免れるためには、例えば Как мною было отмечено... のような、я の斜格を用いる場合が多い。いずれにしても、この段落で «я» が三度も用いられているのは、ロシア語の文体論およびエチケット上、良い文章とは言えない。同じく вопрос を三度も繰り返して用いるのも、しつこくて決して美しくはないが、これは「原文でそうなっているのだから」と言われればそれまでかもしれない。

[3] обменяться откровенными мнениями という表現は、「お互いの腹の中にある考えを明け透けに言い合う」つまり「さんざんやり合う」というニュアンスを含むが、それをふまえた訳なのかどうかは、テキストの翻訳者に聞くしかなかろう。

[4] Генеральный секретарь Центрального Комитета Коммунистической Партии Советского Союза（ソ連共産党中央委員会書記長）は、事実上ソ連国家の最高権力者。ゴルバチョフが最後の書記長で、1991年に同党は解党した。

самой большой нерешенной проблемой в наших отношениях, так и по другим вопросам.

昨日、ブレジネフ書記長閣下は、私どもを招いた心あたたまる午餐会の席上[1]、平和条約の締結が、日ソ関係発展のためのより強固な基礎となる、との趣旨を述べられました。私は、書記長閣下の深いご理解に対し、あらためて敬意を表するものであります。なぜならば、日ソ千年にわたる真の善隣友好関係の確立を心から願う者にとって、この問題を避けて通ることはできないと考えるからであります。繰り返して申すまでもなく、わが国にとって、平和はかけがえのないものであります。戦後わが国の国民総生産は、実質で年間10％以上の成長率を維持し、米ソに次ぐ地位を占めるに至りましたが[2]、これは働き蜂のような日本人１人１

Вчера на завтраке, устроенном для нас и прошедшем в тёплой атмосфере, Генеральный секретарь г-н Брежнев заявил, что заключение мирного договора между СССР и Японией подвело бы ещё более прочную основу под наши отношения. Я хотел бы вновь выразить своё уважение г-ну Генеральному секретарю за проявленное им глубокое понимание, поскольку, по нашему мнению, этого вопроса не может избегать тот, кто искренне желает установления подлинно добрососедских и дружественных отношений между нашими странами на тысячи, тысячи лет. Не стоит даже упоминать о том,

[1]「心あたたまる午餐会の席上」と言われて、訳例のように能動形動詞（過去形）прошедший を使うテクニックに通じておくと心強い。品詞を自由に置き換えることによってのみ良質の翻訳が可能であることを、文学者の堀越孝一氏は次のように指摘している。

翻訳とは、日本語の文章を作ることである。異質の敵に対し、日本語陣営を構築する作業である。私はためらわず敵の動詞を分捕り、これを名詞の土塊へと変形せしめて、わが陣営の土塁を積み上げた。名詞歩卒を捕えて、これを拷問にかけ、実は動詞であると自白せしめた。形容詞の旗印を副詞の火箭の的とした。」（堀越孝一、「異質の言語と内なる言語」、「私の外国語」監修梅棹忠夫・永井道雄、中公新書181～182頁、1978年。）

[2]「～は……し、××するに至りましたが、」などと言われると、これを全部接続詞かなにかでつなげることに夢中になりがちだが、訳例のように情報単位ごとにセンテンスを区切る単文主義もテクニックとして大いに役立つ。また、ここにあるような単なるつなぎの接続詞「が」は、真の意味を考えれば、こだわる必要はない。

人のヴァイタリティ[1]に加え、歴代のわが国政府が効率的な経済運営を行い、持てる力をすべて平和な国民経済発展のために、集中してきた一貫した政策の賜物によるものであります。平和国家に徹し[2]、世界の平和と福祉に貢献することは、わが国不動の方針であります。

что для нашей страны мир ничем не заменим. После войны валовая национальная продукция нашей страны ежегодно фактически возрастала более чем на 10 процентов. Наша страна вышла на третье место после Соединенных Штатов Америки и Советского Союза. Это объясняется большим трудолюбием каждого японца, напоминающего рабочую пчелу. Это также результат того, что каждое правительство нашей страны осуществляло эффективное экономическое руководство и последовательно сосредоточивало все силы и средства на развитии мирной экономики страны. Навсегда оставаться верной принципу миролюбия и вносить свой вклад в дело мира и благополучия народов во всем мире — это непоколебимый[3] курс нашей страны.

1) 働き蜂について、ロシア人の大半は（身を粉にして働くばかりで、いいところはすべて女王蜂に摂取されているということからか）必ずしも明るいイメージをもたない。ところが発言者は働き蜂に例えて日本人のことを誇っているのである。そうだとすると、働き蜂の「勤勉さ」や「勤労意欲」を強調する方向に論理の糸を引いて行かなければならなくなるはずである。ことばにとらわれずロジックを活かしてはじめて、「ヴァイタリティ」は「勤勉」（трудолюбие）へと変身を遂げる。

2) ここで「平和国家に徹する」と言う場合、それは国の方針を語っているのだから оставаться миролюбивой страной では弱い。基本的立場を強調するのだからやはりどうしても принцип ということばが湧いて出る。そして、それに徹するということで оставаться верной という熟語をもってきて、はじめて原発言の真意を伝えるロシア語となる。

3) 同じ意味の形容詞 незыблемый をもちいてもよい。

私は、かかるわが国の真摯な姿勢に対し、ソ連の皆様がたの十分なご理解を得たいと思います。

Я от души желаю, чтобы все советские люди полностью поняли искренность нашей позиции.

終わりに際し、相互理解と信頼に基礎を置く日ソ間の永久の善隣友好関係の確立を祈念しつつ、また、コスイギン首相閣下およびご列席の各位のご健康のために、ここに杯を挙げて乾杯したいと思います。乾杯[1]。

В заключение предлагаю тост за то, чтобы[2] между Японией и Советским Союзом установились навечно добрососедские и дружественные отношения, основанные на взаимном понимании и доверии, а также за здоровье Председателя Совета Министров г-на Косыгина, других дам и господ, присутствующих здесь в этом зале.

1) すでに記したとおり、「乾杯」を露訳する必要は特にない。На здоровье! とする手もある。

2) В заключение предлагаю тост за то, чтобы ～スピーチを結ぶ時の典型的な表現の1つ。「～を祈念しつつ」ということばは за то, чтобы の中に吸い込まれている。

Ⅱ. 会　議

2か国以上の代表が出席し、大勢の人がそれぞれの立場から発言する国際的な会議というものは、講演などの一方通行、交渉などの二者のやりとりの通訳とはまた少し違った技術、配慮を必要とします。初心者でも、エスコートとして会議にかかわる機会はあるので、会議の組織、運営に関連する基本的な知識と用語に通じておく必要はもちろん、会議という場の雰囲気にも親しんでおく必要があります。

ここでは会議の開会から閉会までの順を追いながらよく用いられる用語、表現の和露対照をあげ、注と解説を加えました。なお、示されている和文、露文はあくまでも意味、情報において対照なのであって、字義上の一致は必ずしも目的としていません。それぞれの状況に決まり文句がある場合には、細かい字義は違っても、それを使うべきだというのが通訳コミュニケーションの大原則の一つだからです。

1. 会議日程の実例

「日ロ両国民の平和と友好のための」日ロ～集会（フォーラム）の日程、於東京、20ＸＸ年8月	ПРОГРАММА проведения японо-российской встречи (форума) «За мир и дружбу между народами Японии и России» Токио, август 20__ года
8月29日（火） 10:00～13:00－本会議。	29 августа (вторник) 10.00—13.00 – Пленарное заседание.
－開会式。開会宣言は日本側代表団の代表が行う。	– Открытие встречи. Встречу открывает представитель японской делегации.
－議長団選出。日ロ両代表団を代	– Избрание президиума встречи.

表してロシア代表団の代表者が議長団の構成を提案。	Предложение по составу президиума вносит от имени японской и российской делегаций представитель российской делегации.
－議長団には20名（両代表団より各々10名ずつ）を選出。	– Президиум избирается в количестве 20 человек (по 10 человек от каждой делегации).
－議長団より2名の共同議長を選出。	– Президиум из своего состава избирает двух сопредседателей.
－開会宣言者が本会議参加者に共同議長の氏名を発表し、議長の任務執行を依頼する。	– Открывший пленарное заседание сообщает участникам встречи фамилии сопредседателей и просит их приступить к исполнению своих обязанностей.
－第1回本会議ではロシア代表団の代表者が議長の任にあたる。	– На первом пленарном заседании председательствует представитель российской делегации.
－運営委員会の選出。日本代表団の代表者が委員会メンバーを提案。	– Избрание процедурного комитета. Предложение оп составу процедурного комитета вносит представитель японской делегации.
－運営委員会には10名（両代表団より5名ずつ）を選出する。	– Процедурный комитет избирается в количестве 10 человек (по 5 человек от каждой делегации).
－議長は運営委員会のメンバーに選出された者に別室にてその任務の執行にとりかかるよう提案する。	– Председательствующий предлагает избранным в состав процедурного комитета собраться в отведённом для комитета помещении и приступить

	к исполнению своих обязанностей.
—挨拶[1]。	— Выступления с приветствиями.
—会議日程および議事次第[2]の承認。	— Утверждение программы и регламента встречи.
—会議日程および議事次第の提案を運営委員会の代表が行う。	— Предложение по программе и регламенту вносит представитель процедурного комитета.
—報告演説。	— Выступления с докладами.
—決議（準備）委員会の選出。委員会の構成は運営委員会の代表が提案。	— Избрание комиссии по подготовке резолюций[3]. Предложение по составу комиссии вносит представитель процедурного комитета.
—分科会[4]についての運営委員会の討議結果報告。	— Сообщение процедурного комитета о заседаниях комиссий.
13:00～15:00—昼食。	13.00—15.00 – Обед.
15:30～18:30—分科会（3分科会）。	15.30—18.30 – Заседания комиссий (3 комиссии).
—運営委員会代表による分科会の開会[5]。	— Заседание комиссии открывает представитель процедурного

1) 歓迎の挨拶は приветственная речь、答辞は ответная речь [ответное приветствие и т.д.] 。同意表現については3の「開会・会議冒頭」を参照。
2) 会議日程（программа）とは、会議そのものとそれに前後するもろもろの活動。行事などの計画およびその内容と考えてよいだろう。
それに比して議事次第（регламент）は議事そのものの進行についての約束、取り決め（例えば「ロシア側の基調報告のあとに日本側が報告し、発言時間は各人10分とし、合計4名の発言のあとに15分間休憩をとる」などについて）と考えてよい。議題は（アジェンダ）повестка дня である。ところで、議事日程という日本語は、議題の意にも、会議日程の意にも用いられるので注意。
3) комиссия по резолюциям と言うこともある。
4)「分科会」に相当するロシア語の単語はいろいろある。大きい方から並べると、だいたい комиссия, подкомиссия, секция, группа, подгруппа の順であるが、それらの用法は必ずしも厳密ではない。ここでは комиссия（комиссии）が最適であろう。これらの説明については「会議の基礎用語」の項も合わせて参照。
5) 分科会の開会から報告演説に至る過程では、日ロ両国代表団から分科会の共同議長が選出され、そのうちのロシア側代表が議長の席に着くわけだが、これは本会議と同じ要領なので省略する。

	комитета.
—報告演説。	— Выступления с докладами.
—分科会の活動結果を本会議（閉会総会）に報告するための分科会代表者を選出。	— Избрание представителя комиссии для сообщения на заключительном пленарном заседании об итогах работы комиссии.
運営委員会代表が提案。	Предложение вносит представитель процедурного комитета.
—参加者発言。	— Выступления участников встречи.
8月30日（水）	30 августа (среда)
10:00～13:00—本会議。（閉会総会）日本代表団代表が議長をつとめる。	10.00—13.00 – Пленарное заседание (заключительное) Председательствует представитель японской делегации.
—分科会の代表者による活動結果の報告。	— Сообщение представителей комиссий об итогах работы комиссий.
—決議および共同声明の採択。	— Принятие резолюции и совместного заявления.
—ロシア代表団団長挨拶（閉会の辞）。	— Заключительное выступление руководителя российской делегации.
—日本代表団団長挨拶（閉会の辞）。	— Заключительное выступление руководителя японской делегации.
15:00～17:00—レセプション[1]。（集会参加者全員の記念撮影。）	15.00—17.00 – Приём для участников встречи. (Памятный снимок[2] всех участников встречи.)

1) パーティー形式のレセプションを банкет と言うのも一般的。食事を伴う送別会なら прощальный банкет。「立食」パーティーの形式を強調する場合は аляфуршет を用いる。приём «а ля фуршет», приём «фуршет» とも記す。
2) фотографирование всех участников встречи でもよい。

17:00－双方団長の記者会見。	17.00 – Пресс-конференция руководителей обеих делегаций.

2．会議の基礎用語

会議 [1]	конференция, совещание, конгресс
集会	встреча, митинг, собрание
歓迎集会	торжественная встреча [2]
シンポジウム	симпозиум

1)「会議」という日本語はいくつもの意味で用いられるので、ロシア語にする時は区別が必要。まず、「日本学術会議」のように、あるいはまた、会社の重役会議や、学校の職員会議のように、機関または一種の団体としての意味で使われる。この用法はほぼロシア語の совет と対応する。次に「午前の会議」「昨日の会議」のように、動作名詞のように、または個々の会合の意味で用いられる場合。これは заседание。少々使い方が異なるが、совещание も。動詞は заседать, совещаться。さらに、сессия（会期）、съезд（大会）、собрание（集会）などにあたるものを、おおざっぱに「会議」と片づけてしまうこともあろう。そして、ここで言う「会議」各種国際会議や、「日ロ〇〇会議」という時の用い方があり、それが上掲の単語である。これらの語は本来、それぞれの意味を持っていたが、今ではその概念が必ずしもはっきりしたものではなくなり、内容、形式ともにたいした相違はないにもかかわらず、一方は конференция、他は совещание と呼ばれたりする。近年ではフォーラム＝форум がはやっている。つまるところ、当事者がどう呼ぶことにしたか、伝統的にどう呼んできたかによって決まっているようで、どのような会議だからどの単語を用いなければならない、ということはあまりないらしい。ただし、それぞれの会議は決まった名称を使うことになっているので、それを勝手に変えてはいけない。ちなみに、国際法教科書には次のような説明がある。

Международные конференции имеют различное наименование (конгрессы, конференции, совещания, коллоквиумы и т.д.). Это различие играло некоторую роль в прошлом, вплоть до конца XIX в., когда наименование конференции определялось в известной мере её значением (например, конгрессом назывались совещания монархов и т.д.). В настоящее время наименование конференции не имеет существенного значения. (Курс международного права, М., 1968. т. 4, с. 321.)

2) 誰かを迎える「歓迎会」は торжественный митинг (собрание) , посвящённый встрече кого-л.

セミナー	семинар
フォーラム	форум
円卓会議	(конференция, заседание и т.п.) за «круглым столом» [1]
交流会	дружеская (коллективная) встреча
会談、話し合い、交渉	встреча, беседа, переговоры [2]
発起人、主唱者	инициатор
主催者（側）	организатор, хозяин [3], устроитель
主催のもとに	под руководством, по инициативе
組織委員会	организационный комитет [оргкомитет]
準備委員会	подготовительный комитет
会議の招集	созыв конференции (совещания и т.п.)
招待状を送る	рассылать приглашения
開催地	место проведения
開催される	состояться, проводиться, [проходить]; открываться [4]

1)「懇談会」は беседа（за круглым столом）。

2) 商談などの「交渉」は переговоры だが、その雰囲気を軟らかく表現するために беседа と言い換えた方がよいと教えるロシア語のビジネス教科書もあることを踏まえておこう。

3)「主催者側」は、ちょっとくだけた言い方では хозяин（хозяева）となるし、その相手（日本語なら毎回「ロシア側」「アメリカ側」などと言うところ）は、гость（гости）となる。

4) 日本語での「開催される」には「開会される」と「行われる」の意味があるので露訳に際しては注意する。

受入れ側	принимающая сторона, хозяин
事務局	секретариат
招待側	приглашающая сторона
派遣側	направляющая сторона
代表団	делегация
代表（者）	делегат, представитель
参加者	участник
出席者	присутствующий
来賓	гость (гости)
オブザーバー	наблюдатель
参加者歓迎レセプション	банкет [приём] в честь участников
記念品交換	обмен памятными подарками
会議日程〔プログラム〕	программа (конференции и т.п.)
本会議〔総会、全体会議〕	пленарное заседание
議長	председатель, председательствующий, ведущий [1]
議長を選出する	избирать [выбирать] [2] председателя

[1] председательは役職として、また正式の議長、ведущийはそのとき会議を進行させる司会役としての議長。そのやや硬い言い方がпредседательствующий。
[2] Выбирать, избирать — выделять голосованием для исполнения каких-л. обязанностей. «Избирать» имеет более официальный и несколько приподнятый характер. — Словарь синонимов русского языка. В 2 томах. Ленинград, 1970.

議長に当選する	быть избранным [выбранным] на пост председателя [председателем]
選出、選挙	избрание, выборы
司会する	вести (заседание)
議長団（20名の議長団）	президиум (президиум в составе 20 человек)
共同議長	сопредседатели
構成	состав (президиума и т.д.)
書記	секретарь
議事録（議事録に載せる）	протокол (заносить в протокол)
定(足)数 [1]	кворум
議題 [2]	повестка дня
運営委員会	процедурный комитет
議題〔議事日程〕にある	стоять на [в] повестке дня
議題〔議事日程〕に入れる	включать в повестку дня
議題〔議事日程〕を決める（採択する）	устанавливать (принимать) повестку дня
（問題を）議題〔議事日程〕からはずす	снимать с повестки дня
議事進行の取り決め〔議事次第〕	регламент

[1] 会議の成立・議決などに要する「定(足)数」をкворумという。「定(足)数の出席がある」はИмеется кворум. Кворум есть. 定数に満たない（定足数に足りない）場合にはНет кворума.という。次のような表現もよく使われる。Поскольку имеется кворум, разрешите считать заседание открытым.
[2] 議題となっている諸問題を指したい場合はвопросы, стоящие в (на) повестке дняとする。「討議事項」は通常пункт повестки дняとなる。なお日本語では議題のことを議事日程と呼ぶこともある。

決議委員会	комитет [комиссия] по резолюциям
起草委員会	редакционная комиссия [комитет]
案文、草案	проект
対案	контрпроект
修正	поправка, изменение, исправление
補足	добавление, вставка
削除	исключение
委員会	комиссия, комитет [1]
小委員会	подкомиссия, подкомитет
分科会	секция
分科会ごとに分かれての会議	заседание по секциям
報告を行う	выступать с докладом [2], делать доклад, читать доклад

[1] Комиссия — группа лиц, составляющая орган при каком-л. учреждении, организации со специальными целями, поручениями. Комитет (коллегиальный орган, образованный для осуществления руководства какой-л. областью государственной или общественной деятельности.（下線引用者） — Словарь современного русского литературного языка (в 17 томах), Изд. АН СССР М., Л., 1950—1965 にはこのような説明があり、現に常設の機関の大部分は комитет と名乗ってはいるが、ある会議のもとに組織される委員会が комитет と呼ばれることもあり、必ずしも厳密に区別されていないようである。

[2] 日本語でもそうであるようにロシア語でも報告と発表の区別は厳密ではない。強いて言えば доклад よりも сообщение の方が規模において小さいと言えるであろう。上掲の17巻辞書には次のような説明がしてある。Сообщение — небольшое публичное выступление на какую-л. тему.

発表する	выступать с сообщением, делать сообщение
報告者	докладчик
公用（使用）語	официальный (рабочий) язык
補助語	языки, на которых разрешены выступления
同時通訳装置	оборудование для синхронного перевода
ブース	кабина для переводчиков
イヤホン	наушники
掲示板	доска (для) объявлений

3. 開会・会議冒頭

開会	открытие (конференции и т.п.)
開会式	церемония открытия; торжественное открытие
開会を宣言する	объявлять конференцию открытой
開会の挨拶、開会の辞	вступительное слово [речь]
歓迎の挨拶、歓迎の辞	приветствие [приветственная речь]
答辞	ответное слово [выступление, приветствие]; ответная речь
参加者ならびに来賓の皆さん！	Уважаемые [1] участники и гости конференции!

[1] 呼びかけに際しては、日本語の原発言には特に「尊敬する」などの言葉がなくても、露訳文には付け加えたほうが好ましい。

親愛なる皆さん！ | Дорогие друзья! [1]

日ロ代表の皆さん！ | Уважаемые японские и российские делегаты!

大変暖かい歓迎のご挨拶に感謝申し上げます。 | Благодарю вас за очень тёплое приветствие.

議事に入る | приступать к повестке

会議の進行について発言する〔議事進行に関して意見を言う〕 | выступать по порядку ведения заседания; делать замечание по ходу ведения заседания

*　　　　*

ただ今より[2]、日本組織委員会を代表し、第2回国際～会議の総会を開会させて頂きます[3]。

От имени Японского организационного комитета имею честь открыть пленарное заседание II Международной конференции [4] ～.

1) 数ある呼びかけの言葉のうち、Друзья! や Дорогие друзья! は親しみをこめた呼びかけで、一番無難な表現である。また Господа! や Дамы и господа! などは公式の呼びかけである。以上の使い分けが、すべて厳密というわけではないが、日本語で「皆さん」と言った時、上記のような表現のうちから即座に適切な呼びかけを選べるよう、普段から使い方に気をつけておかなければならない。
2)「ここに」や「ただ今より」などに相当するロシア語の適訳はないので、通常このような言葉は露訳に際しては省略される。
3) このような場合の「させて頂きます」は имею честь（～することを光栄に存じます）で処理するとよい。なお、открыть заседание は「開会を宣言する」の意味をもっている。
「開会を宣言致します」は通常次のようにも言う。Объявляю конференцию открытой. [Конференция объявляется открытой.]
4) Женевская мирная конференция; конференция по разоружению; конференция по вопросам авиации; конференция сторонников мира などのように名付ける。

この国際ロシア研究学界にとって記念すべき日にあたり、私は、ここ日本の首都に世界～カ国からお集まり頂いた会議参加者ならびにご来賓の皆様に心から歓迎のご挨拶を申し上げる次第であります[1]。

В этот торжественный для международной русистики день горячо приветствую всех собравшихся здесь участников Конференции и гостей, приехавших в столицу Японии из ～ стран мира.

なにか不行き届きの点[2]がありましたら、遠慮なくどしどしと[3]事務局にお申しつけください。

В случае, если у вас будут какие-либо затруднения, прошу без стеснения обращаться в секретариат.

最後にのぞみ、この大会が成功裏に終わることを祈念いたしまして、ご挨拶に代えさせて頂きます[4]。

В заключение позвольте от души пожелать вашей конференции успешно завершить свою работу.

最後に、限られた日数ではありますが、皆様の日本での滞在が快く有意義なものになることを願ってやみません[5]。

В заключение я хочу выразить надежду, что ваше короткое пребывание в Японии будет полезным и приятным [6].

ご静聴ありがとうございました[7]。

Благодарю [Спасибо] за внимание.

1)「歓迎のご挨拶を申し上げる次第であります」「歓迎の意を表します」などには приветствую (приветствуем) кого-л. を使えばよい。
2) これは単に「困ったこと（затруднения）」とすればよい。
3)「どしどしと」は訳出の際には省いてよい。без стеснения で十分。
4)［～を…してご挨拶に代えさせて頂きます〔ご挨拶と致します〕］という決まり文句に合致するのは В заключение позвольте ～ である。字句にとらわれないように注意。
5)「～を願ってやみません」は Я желаю ～ ...；Я хочу, чтобы ～ ... の構文でよい。
6) В заключение желаю вам провести эти несколько дней в нашей стране с пользой и удовольствием. と言ってもよい。
7) 日本語の挨拶、演説の終わりに「ご静聴ありがとうございました」がなくても、露訳に際してはこれを付け加えるのがマナーである。

私は議長としてAさんを推薦します。 — Я предлагаю на пост председателя кандидатуру г-на «А».

これから議事日程に入ります。進め方は従来のやり方にならえばよいと思います。 — Приступим к повестке. Есть предложение организовать работу так же, как и раньше.

書記はAさんとBさんのお二方にお願いします。 — Прошу господ «А» и «В» взять на себя обязанности секретарей.

議長ならびに代表各位〔の皆さん〕！ — Уважаемый г-н председатель, уважаемые господа делегаты! [1]

4. 発言・提案・動議[2]・討議

持ち時間を定める（制限する）	устанавливать (ограничивать) регламент
制限時間〔持ち時間〕を破る〔越える〕；制限時間を守る	нарушать регламент; придерживаться регламента [соблюдать регламент]
討議に入る	приступать к прениям [дискуссиям, обсуждению]
自由討議	свободная дискуссия
一般討議	общая дискуссия [прения] [3]

1) 議長に対する呼びかけは господин [госпожа] となる。単なる儀礼的な表現の господа делегаты を дамы и господа としても全く構わない。
2) 「動議」も「提案」もロシア語ではいずれも предложение と訳される。しかし、日本語の「動議」とは、会議中に予定議案以外の事項を議事に付するため、会議参加者から出される提案のことである。これを特に指す場合には、предложение по вопросам повестки дня と断ればよい。
3) прения は常に複数形で用いられる。この単語の原形である прение という中性名詞は現在では「討議」の意味では使われない。

発言させる	предоставлять слово [1] кому-л.
～さんにご発言願います	слово предоставляется кому-л.
発言する（演説する）	выступать, высказываться (выступать с речью)
自席で発言する	выступать [говорить] с места
マイクに向かって話す	говорить в микрофон
登壇する	подниматься на трибуну
降壇する	спускаться [сходить] с трибуны
発言を撤回する	брать своё заявление обратно
回答の権利を留保する	сохранять за собой право ответить позже
提案する〔動議を提出する〕	предлагать, вносить предложение [2]
提案〔動議〕を撤回する	брать назад [снимать] предложение
反対提案、対案	контрпредложение
緊急動議	внесение на обсуждение срочного предложения
緊急上程	внесение на рассмотрение срочного вопроса (взамен намеченного первоначально)

* *

1) ここでの слово は「発言する権利」の意。上記の他に Слово имеет кто-л. という表現も使われる。
2) 例えば「議長への信任を問う表決を行う動議」であれば предложение поставить на голосование вопрос о доверии председателю となる。

参加者の発言時間は１人につき15分とすることを提案します。	Я предлагаю установить регламент в 15 минут на выступления участников.
発言させてください。	Разрешите мне взять слово [выступить]. / Прошу слова.
一言だけよろしいですか。	Реплику можно?
Ｃさんにご発言願います。	Разрешите предоставить слово г-ну «С».
私は原案に～を挿入することを提案します。	Я предлагаю включить [1] в проект (что-л.)
私は、～についての私の考えを率直に申し上げ、ついで皆様がたの忌憚のない [2] ご意見をお伺いしたいと存じます。	Я выскажу свои соображения (о чём-л.) и надеюсь услышать ваше мнение.
たいへん話が長くなってしまいまして申し訳ありませんでした。	Прошу извинить меня за чересчур долгое выступление.

5. 賛否・質問・回答

異議ございませんか。	Нет возражений?
確認のため	в порядке уточнения
反対を考慮する（しない）	(не) считаться с возражением

[1] その他には、「付け加える」－ добавлять в проект、「削除する」－ исключать из проекта。「原案に挿入する」は上記以外に вставлять в проект とも言う。
[2] ここで「率直に」や「忌憚のない」を «откровенно» выскажу や ваше «истинное» мнение などの表現で訳すと、「こっちも腹を割って話すから、そっちもウソ抜きできてもらいたいもんだ」というニュアンスになるので、実際には「率直に」や「忌憚のない」は省いて露訳する。

～の意見を尊重する	уважать (чьё-л.) мнение
～と意見を同じくする〔～と同意見である〕	придерживаться [быть] того же мнения, что и кто-л.; быть одного мнения с кем-л.; разделять [1] мнение с кем-л.
～と意見が合わない〔～と意見を異にする〕	расходиться во мнениях с кем-л.
しりぞける（専門家の結論・鑑定などを）	отвергать (заключения экспертов и т.д.)
承認する	принимать [одобрять] предложение (проект, поправку и т.п.)
多数決に回す	оставлять на решение большинства
提案を支持（反対）する発言をする	выступать в защиту (против) предложения
決定を延ばす	откладывать [отсрочивать] решение
修正を受け入れる〔採択する〕	принимать поправку
（会場からの）質疑（に）応答	ответы (докладчика) на вопросы (из зала)
ご質問がおありでしょうか。	Есть [Имеются] ли вопросы?
今のご質問についてですが…	Относительно вашего вопроса...;
	Отвечая на ваш вопрос, (я могу сказать...);
	Что касается вашего вопроса, (то я могу сказать...)

[1] この動詞は -ся が付くと「意見が分かれる」という意味になるので注意。Мнения разделились.（意見が分かれた）。

答えるのに多言は要しません。	Чтобы ответить на этот вопрос, не потребуется много слов. / Для ответа достаточно несколько слов.

*	*
ロシア代表団の提案には賛成でしょうか？	Поддерживаете [Одобряете] ли вы предложение российской делегации?
細かい点について3点ほど質問があります。	У меня 3 вопроса, касающихся подробностей.
お許し頂ければ少し基本的なことをお伺いしたいのですが。	С вашего разрешения, я задам вопрос общего характера.
意見が2つあります。	У меня есть два соображения.
この質問につきまして、ちょっと説明させて頂きたいと思います。	Позвольте дать разъяснения по этому вопросу.
ここでは最終的なお答えは差し控えたいと思います。	Я бы не хотел давать сейчас окончательный ответ.
ただ今のは私の失言でした。	Прошу простить меня за неудачное выражение.
発言を撤回します。	Я беру своё слово обратно / назад.
私はAさんにまったく賛成で、なにも同氏の発言に付け加えることはありません。	Я полностью согласен [1] с г-ном «А» и не имею ничего добавить к его словам.

[1] Я совершенно того же мнения, что и г-н «А», и мне нечего добавить к его словам. とも言える。

それには異議ありません。	Я не возражаю против этого. [1]
大変参考になりました。	Это очень познавательно.

6. 議事進行のための議長発言

意見を求める	просить кого-л. высказать своё мнение
簡潔な発言を求める	просить (ораторов) выступать кратко
本題からそれぬよう求める	просить оратора [предлагать оратору] не отклоняться от темы [существа вопроса]
本題に移る	переходить к существу дела
議事日程を守る	придерживаться повестки дня
議長裁断を下す	вносить председательское решение
議題の順序を変える	изменять очерёдность вопросов повестки
～を優先させる	предоставлять первоочерёдность чему-л.
次の議題に移る	переходить к следующему пункту [вопросу] повестки дня
（この）問題に他の側面からアプローチしてみましょう。	Подойдём к вопросу с другой стороны.
お時間のようです〔時間切れです〕。	Наше время истекло.

[1] У меня нет возражений против этого. でも可。

発言を中止して頂きます。	Я вынужден прервать выступление. [Прошу оратора остановиться.]
討議を打ち切る	закрывать [прекращать] дискуссию [прения]
(〜を) 次回まで延ばす	переносить (что-л.) на следующее заседание
会議を翌日まで (1週間) 延期する	откладывать заседание до следующего дня (на неделю)

*　　　　　　　　*

これまでの発表に関しましてこれから討議に入りたいと思います。どうかご意見やご提案を出して頂きたいと思います[1]。	Перейдём к прениям по заслушанным докладам [сообщениям]. Прошу высказывать мнения и предложения.
自由討議に入りたいと思います。	Предлагаю приступить к свободному обсуждению (свободной дискуссии).
この問題についての皆さんのご意見はいかがでしょうか。	Каково мнение присутствующих по этому вопросу?
いろいろな貴重なご意見を皆様方から賜りたいと存じます。	Мы надеемся услышать ваши самые разные точки зрения, представляющие для нас большую ценность.
これまでに発言なさらなかった方の中で何かおっしゃりたい方はおいででしょうか。	Нет ли желающих высказаться среди тех, кто ещё не выступал?

1) このような場合の「〜と思います」にはあまり気を使わなくてよい。露訳するには「〜と思います」の直前にある動詞のほうを重視すること。

お話を少し切り詰めて頂けないものでしょうか。／手短にお願いします。	Прошу вас быть краткими.
議論が少し枝葉のほうへそれてしまったように思えますので、もとへ戻してはいかがでしょうか。	Мне кажется, мы несколько отклонились от нашей темы. Давайте вернёмся к главному вопросу.
今、意見の一致が得られそうにもありませんので、次の問題に進んではいかがでしょうか。	Поскольку мы, очевидно, не придём сейчас к единому мнению, не перейти ли нам к следующему вопросу?
休憩に入りましょうか。それとも意見交換を続けましょうか。	Как мы поступим: объявим перерыв или же продолжим обмен мнениями?
10分間休憩とします。	Объявляется перерыв на 10 минут.[1]
会議を再開致します。	Разрешите возобновить заседание.[2]
まだまだご質問がおありのこととは思いますが、残念ながらこれで討議を終えなければなりませんので、何とぞご了承願います[3]。	У вас, вероятно, ещё много вопросов, но, к сожалению, на этом мы вынуждены закончить дискуссию. Благодарю вас за содержательные выступления.

1) 「コーヒーブレーク／昼食のための休憩とさせて頂きます。」などはОбъявляется перерыв на кофе / на обед. という。
2) Продолжим работу. とも言う。
3) この場合の「なにとぞご了承願います」をпросим вашего понимания とかпросим иметь в виду とするのはこっけい。何らかの言葉で終わりを締めくくるために口にする表現だから、上記の露訳例のように置き換えるのが普通。

ご意見もいろいろ出ましたので、このあたりでまとめるべきだと思います。

Мы выслушали достаточно много различных мнений. Я полагаю, пришло время подвести итоги [1].

ここで出ました意見は次のように要約できると思います。

Высказанные здесь мнения можно суммировать следующим образом.

7. 表決・結論・閉会

表決〔議決・採決・投票〕	голосование
決議〔決定〕; 宣言	резолюция, решение; декларация
次回会議の日取りと場所を決める	устанавливать дату и место следующей сессии (и т.п.)
表決に付す	ставить (вопрос) на голосование
投票用紙	бюллетень
無記名（秘密）投票	тайное [закрытое] голосование
公開投票	открытое голосование
投票箱	урна [ящик] для бюллетеней [для голосования]
挙手投票	голосование поднятием рук
イエス、ノーによる表決	голосование ответом «да» или «нет»
（条）項別投票、逐条的投票	раздельное [постатейное] голосование

[1] пришло время подвести итоги の部分を можно подытожить дискуссию としてもよい。

一括投票する	голосовать по предложению в целом
記名投票	поимённое голосование
票を数える	подсчитывать голоса
票数計算委員会	счётная комиссия
棄権する	воздерживаться [отказываться] (от голосования)
賛成（反対）票	голос за (против)
単純多数	простое большинство
絶対多数	абсолютное большинство
満場一致により表決なしで（決議を）採択する	принимать решение [резолюцию] без голосования на основании единодушного одобрения [на основании выражения всеобщего одобрения] [1]
決定を破棄する	отменять решение
結語演説	заключительное слово [речь]
謝辞	благодарственная речь [2]

*

恐らくもう意見も出尽くした感がありますので、採決に移ってもよろしいかと思われます。

Поскольку все мнения, по-видимому, высказаны, я полагаю, можно перейти к приятию решения [резолюции].

[1]「決議は満場一致で可決（採択）された」は Решение принято единогласно. と言う。
[2] 英語の vote of thanks にあたる。閉会に際して参加者の代表が行うスピーチのこと。コンテキストによっては выражение признательности が当てはまる。

規則にのっとり、投票による採決を行います。提案に賛成のかたは緑、反対のかたは赤の票を入れてください。投票は無記名です。

В соответствии с существующим порядком вопрос будет решаться путём голосования. Голосующие за предложение опускают зелёные бюллетени, против предложения — красные. Голосование тайное.

書記より投票結果を報告して頂きます。

Прошу секретаря объявить результаты голосования.

投票総数100票、うち賛成70票、反対20票、棄権10票。

Количество голосовавших — 100 человек. «За» проголосовало 70 человек. «Против» проголосовало 20 человек. «Воздержалось» — 10 человек.[1]

賛成のかたは挙手を願います。はい、ありがとうございました。

Кто «за», прошу поднять руку! Прошу опустить! Спасибо. / Благодарю вас всех.

提案〔動議〕は可決されました。

Предложение принято [одобрено].

提案〔動議〕は否決されました。

Предложение отклоняется.

提案〔動議〕は（多数決で；満場一致で）可決されました。

Предложение принято (большинством голосов; единодушно).

[1] 票数と合わせて提案（決議など）の可否を発表する場合は、Предложение [решение и т.п.] принято семьюдесятью голосами против двадцати при десяти воздержавшихся. とも言う。

皆さんこぞっての拍手を、提案された共同声明文の全員一致の承認と見なさせて頂きたいと思います。

Позвольте, дамы и господа, ваши дружные аплодисменты принять как единодушное одобрение предложенного текста совместного заявления.

では結論を出させて頂きます。

Итак, позвольте подвести итоги.

それでは午前中のセッションを終わらせて頂きたいと思います。

На этом позвольте завершить утреннее заседание.

それでは本日の会議はこれで終了いたします。

На этом разрешите закрыть сегодняшнее заседание.

予定の時間を20分ほど超過してしまいまして、申し訳ございませんでした。

Прошу прощения, мы превысили отведённое время на 20 минут.

議事日程が終了いたしましたので、これで会議を閉じることにさせて頂きます。

Повестка исчерпана. Разрешите на этом закрыть заседание.

会議の閉会を宣言させて頂きたいと思います。

Позвольте объявить конференцию закрытой.

Ⅲ. 交　渉

交渉には交渉特有のやり方があり、一定のよく使われる語彙、表現、文型があります。完全網羅というわけにはいきませんが、比較的よく使われると思うものを単語、語結合のレベルで列挙し、文例を若干挙げました。一応日・露の対応になっていますが、文脈次第ではこのままの対応ではすまないこともあり得ます。例えば下に示したように、ロシアの交渉・商談の教科書[1]にも、言いたいことの正反対までを言い換えの例として奨励しているほどです。そして、可能な限り、堅苦しい響きの переговоры よりも беседа を用いることまで勧めています[2]。しかし、解説し出すと長くなるので、読者各位の実力に期待して放置しました。配列は一応話し合いの進行に合わせた格好になっています。

避けたい表現	角の立たない表現
Когда-нибудь вы поймёте... (...ということはいつかお分かりになるでしょう。)	Согласны ли вы с тем, что... (...ということにはご同意なさるでしょうか。)
Я считаю, что... (私は...と考えます。)	Вы не находите, что... (...とはお思いではありませんか。)
Сейчас я вам, наконец, докажу... (いまこそあなたに...ということを証明しましょう。)	Сейчас вы сможете убедиться в том, что... (...ということがいまご納得いただけるでしょう。)
Вы, конечно, ещё об этом не думали... (あなたは、勿論、これについてはまだ考えたことがないでしょう。)	Вам, конечно, известно, что... (...ということは、勿論、ご案内のことでしょう。)

1) Предраг Мицич. Как проводить деловые беседы. М., 1983. с. 85
2) Венедиктова В.И. О деловой этике и этикете. М., 1994.

1. 交渉の形式に関連する表現

交渉の進め方	порядок ведения переговоров
前回会議〔会合〕	прошлое заседание
定例会議〔会合〕	очередное заседание
(非) 公式会議〔会合〕	(не)официальное заседание
団長間（一対一の）会議（会談）	встреча глав делегаций (с глазу на глаз[1])
フルミーティング	заседание (и т.п.) в полном составе
スモールパーティー	узкая группа
ワーキングパーティー〔実務班〕	рабочая группа
双方	стороны, обе стороны
議事手続きの暫定規則	временные правила работы (заседания и т.п.)
手続きを踏む	соблюдать процедуру
約束（決まり）	договорённость
(議事) 日程に載せる	ставить в повестку дня[2]
(議事) 日程からはずす	снимать с повестки дня
事前に	в предварительном порядке
予備交渉	предварительные переговоры
前(後)任者	предшественник (преемник)

1) 「一対一」「差しの」という意味で、特に外交の場などでは с глазу на глаз のほかに тет-а-тет（е はэと発音する）という表現も使われる。
2) повестка дня について詳しくは「会議用語」の項を参照。

話の経緯	история вопроса
交渉の進展〔成り行き〕	ход [развитие] переговоров
交渉の大詰め	заключительный этап переговоров
最高レベルで	на высшем уровне
原案、草案	проект
暫定案	рабочий проект
仮の案	предварительный проект
対案	контрпроект
書類〔文書〕	документ(ы)
～を文書〔書類〕にする	фиксировать что-л. в документе
定められた〔所定の〕形式で	в установленной форме
ブランクにしておく	оставлять незаполненным
協定	соглашение
契約	контракт
条約	договор
議定書	протокол
覚書	меморандум
交換書簡	обменное письмо
付属書	приложение
文書（協定その他）調印	подписание документа (соглашения и т.п.)

2.「意見、問題、注意」をめぐる表現

意見 [1]	мнение; замечание [2]
意見を交換する	обмениваться мнениями
意見を述べる〔発表する〕	высказывать [излагать] мнение
～について意見が一致している	по вопросу ～ мнения совпадают
～について意見が一致していない〔食い違っている〕	по вопросу ～ мнения расходятся
～については意見がまちまちである	по вопросу ～ мнения разделились (разделяются)
意見の不一致	разногласие [расхождение] во мнениях [во взглядах]
私の考え〔意見、見解〕では	по-моему [по моему мнению, на мой взгляд, с моей точки зрения]
われわれの希望を言わせて頂ければ	что касается нашего желания, (то...)
～をお耳に入れておきたいと思います	хочу довести до вашего сведения (то-то и то-то).
考えに考えたあげく	после долгих раздумий
長い目で見ると	в перспективном плане
～という意見が支配的である	преобладает мнение, что...

---

[1]「意見」という語を使ったいろいろな表現については「会議」の部も合わせて参照のこと。

[2] замечание は「気のついたこと」、「ちょっとした意見」の意味の他に「非難、叱責」の意味にも使われる。つまり высказывать своё замечание なら「気づいたことを述べる」だが、делать кому-л. замечание なら「非難する、叱責する、注意する」となる。

問題にぶつかる	сталкиваться с проблемой [1]
問題に取り組む	работать над решением проблемы
問題に楽観的にのぞむ〔アプローチする〕	оптимистически подходить к вопросу
問題の実態を明らかにする	раскрывать сущность проблемы
概略がわかる	получать общее представление
問題を保留する〔懸案としておく、ペンディングにする〕	оставлять вопрос открытым
双方に興味のある問題	вопрос, представляющий взаимный интерес
質疑を交わす	задавать вопросы
解決すべき問題	проблема, требующая решения
一考を要する問題	вопрос, который следует обдумать
問題の焦点は～である	суть проблемы [вопроса] состоит в чём-л.
～問題に焦点をしぼる	сосредоточивать внимание на проблеме ～
～という点に注目する	обращать внимание на то (обстоятельство), что
～に注意を喚起する	привлекать внимание к чему-л.
～は内外の強い関心を集めている	что-л. вызывает большой интерес [привлекает широкое внимание] не только в нашей стране, но и за рубежом [как в нашей стране, так и за рубежом]

[1] Проблема — сложный вопрос, требующий изучения, разрешения.

*	*
ご意見があればお聞かせ頂きたいと思います。	Если у вас есть замечания, мы хотели бы их услышать.
私なりの意見を申し上げます。	Я выскажу своё личное мнение.
これについては別の席上ですでに私たちが申し上げたとおりであります。	Об этом нами уже было сказано во время предыдущей встречи.
私たちはロシア側からの案について十分考慮致します。	Мы серьёзно обдумаем проект, выдвинутый российской стороной.
この問題についてはAさんが一番詳しいので、最初に発言して頂きましょう。	С этим вопросом наиболее хорошо знаком г-н «А», поэтому попросим его выступить первым.
これはここで取り上げるべき問題ではありません。	Этот вопрос не стоит сейчас поднимать.
別の側面から問題にアプローチしましょう。	Подойдём к вопросу с другой стороны.
大変参考(勉強)になりました。	Для меня это было очень познавательно, полезно.
特に次の点にご注目下さい。	Обратите особое внимание на следующие моменты.

3.「立場、態度、考える、検討する」をめぐる表現

立場(態度)をとる	занимать какую-л. позицию
非妥協的態度	непреклонная [непримиримая] позиция
(非)協力的態度	(не)дружелюбная [(не)дружественная] позиция
強硬(柔軟)な態度	жёсткая (гибкая) позиция
納得できない態度	необъяснимая [непонятная] позиция
基本的立場	принципиальная позиция
理解に苦しむ	затрудняться понять
誤解をまねく	вызывать недоразумение, приводить к недоразумению
方針をとる	проводить курс [1]
承っておく	принимать к сведению что-л.
われわれは〜を潔しとしない	мы не можем позволить себе...
〜は…の出方にかかっている	что-л. зависит от чьей-л. позиции
好意的態度をとる	относиться доброжелательно [благожелательно] (к кому-л.; к чему-л.)
中立的立場をとる	занимать нейтральную позицию
自分の立場を堅持する	отстаивать свою позицию

[1] これは「方針を実行」するの意味である。もし брать курс на — とあれば、これは「〜の方向に進む、進路を取る」という意味である。

態度を崩さない	не отступать от своей позиции
当初の立場を（一歩も）譲らない	(ни на шаг) не отступать от первоначальной позиции
自分の立場を固執する	стоять на своём
〜の立場を尊重する	уважать чью-л. позицию
私たちは〜を認めるにやぶさかでありません	мы готовы признать...
相手の立場になって考える	входить в положение партнёра
共通の立場を見い出す	находить общую точку [язык]
双方の立場を害さないで問題を解決する	решать вопрос, не ущемляя интересов обеих сторон
相互主義にのっとって	на основе взаимности
相互理解と協力の精神で	в духе взаимопонимания и сотрудничества
平等互恵の原則に基づいて	на основе равноправия и взаимной выгоды
〜に基づき〔依拠し〕	на основе чего-л; основываясь [базируясь] на чём-л.; опираясь на что-л.; исходя из чего-л.
〜は許容できないと考える	считать что-л. недопустимым
〜を考慮して	учитывая что-л.; учитывая, что...
〜を総合的に検討する	рассматривать что-л. в совокупности
〜についての確信を表明する	выражать уверенность в том, что...

*　　　　*

そのような態度は非常に遺憾に思います。	Подобная позиция (вашей стороны) вызывает у нас сожаление.
お互いに慎んでいきたいものです。	Желательно воздержаться обеим сторонам.
どうかもう一度考え直して頂くようお願いします。	Убедительно прошу вас ещё раз подумать над этим (вопросом).
どうかちょっとだけでも私の身になってみて下さい。	Пожалуйста, попробуйте хоть на минутку встать на моё место.
この点をお含みの上で問題をご検討願います。	Просим (вас) учесть это (обстоятельство) при рассмотрении вопроса. [Просим (вас) иметь это в виду при рассмотрении вопроса.]
この提案はいろいろな点から検討する必要があります。	Это предложение необходимо рассмотреть с разных сторон [со всех сторон].
この案にはプラスの面もあればマイナスの面もあると考えます[1]。	Я считаю, что у этого проекта есть как достоинства, так и недостатки. [...есть как положительные, так и отрицательные стороны.]

4.「措置、対策、前例、資料、事実」をめぐる表現

措置をとる、対策を講ずる	принимать меры, предпринимать шаги [2]

[1] ...имеются и свои плюсы, и минусы. でも可。
[2] шаги や меры は、направленные на что-л. の組み合わせでよく用いられる。направленные на улучшение / разрешение / ускорение / ликвидацию и т. д.

暫定的措置	временные меры
さし当たりの対策	первоочередные шаги (меры)
然るべき〔適当な〕措置	надлежащие [соответствующие] меры
中途半端な措置	половинчатые меры
強硬な措置	жёсткие меры
共同の努力を払う	прилагать взаимные усилия к чему-л.
下手をすると～に響く	если допустить оплошность, то это отразится на чём-л.
過去の前例に従って	следуя сложившейся традиции; по примеру прошлых лет; как установилась традиция
過去の経験を考慮して（しながら）	учитывая прошлый опыт
過去の経験から判断すると	судя по прежнему опыту [по опыту прошлого]
慣例に背く	идти вразрез с традицией
慣例を破る	нарушать традицию
慣例を踏襲する	придерживаться (ранее) принятой практики
経験の教える〔示す〕ところでは	опыт учит [показывает, говорит], что...; как показывает опыт, ...
データ、資料[1]	данные [2], сведения, материалы

[1]「統計資料（データ）」は статистические данные
[2] фактические данные「実際の資料」、проверенные данные「正しい資料、点検済みの資料」

データを持ち合わせていない	не иметь под руками [при себе] данных [1]
速報（中間報告）によれば	по предварительным данным
手に入った資料（情報）によれば	по имеющимся данным
報告に挙げられている資料によれば	по данным отчёта
控えめに見積もったデータ（数字）によっても	даже по преуменьшенным данным
われわれの手元にある文書	документы, имеющиеся в нашем распоряжении
あなたが提出なさった資料	представленные вами материалы [данные]
～のリストに若干の修正を加える	вносить некоторые поправки в список ～
確定的な事実	достоверный [подтверждённый] факт
信ずるに足る証拠	достоверные сведения
一般に認められている事実	общепризнанный факт
事実を認める（無視する）	признавать (игнорировать) факт
～ということは広く知られた事実である	общеизвестен тот факт, что ～
あくまでも事実にのっとって	строго придерживаясь фактов
これらの事実に照らして	в свете этих фактов
この事実から出発致しますと…	исходя из этого факта; на основании этого факта

[1] не располагать данными も可。Я не располагаю данными. のように使う。

～と予想される	предполагается, что...
～の公算は少ない	мало вероятно, что...
～する気配はない	не похоже, чтобы...
～の気配が濃厚である	очень похоже на то, что...

*

早く措置を講ずる必要があります。	Необходимо срочно принять меры.
これなら前例も破らずに済むでしょう。	Это позволит избежать нарушения установившейся [существующей] традиции.
従来の慣例どおりにしたいものです。	Хотелось бы соблюсти традицию. [Сделаем так, как это делалось раньше.]
これについてもう少しデータがございませんか。	Нет ли у вас ещё данных по этому вопросу?
この資料は非常に参考になるでしょう。	Эти материалы будут для нас очень полезны. [Это будет для нас очень полезным материалом.]
このリストはすでにロシア側に提出したとおりです。	Этот список мы уже представили российской стороне.
私はそういった事実は聞いておりません。	О подобных фактах мне ничего не известно.

5.「対立、主張、かけひき」に関連する表現

論拠に反論する	отвергать аргументы [1]
水かけ論	бесконечный спор
～に圧力を加える	оказывать давление на кого-л., что-л.
交渉をぶちこわす	срывать переговоры
言葉尻をとらえるわけではありませんが、〔言いがかりをつけるわけではありませんが、〕…	не в порядке придирки к сказанному, но...
お互いにあげ足をとるようなことはせずに〔突っかかるのはやめて〕、…	не придираясь друг к другу, ...
案にけちをつける	осуждать проект
振り出しに戻る	возвращаться к началу
障害になる	служить [быть] помехой [препятствием]
要求をしりぞける	отклонять требования
理屈がたたない、筋道が立っていない。	Нет логики [2]. [Где же логика?]
杓子定規に～に対処する〔ごく形式的に～に接する〕	подходить чисто формально к чему-л.
一方的に（決める etc.）	в одностороннем порядке (решать и т.п.)

1)「論証する、論拠を示す」は приводить аргументы または аргументировать。
2)「あなたの発言は筋が通っていない」は В вашем высказывании нет логики. とする。ただし、相手が気を悪くすることを覚悟の上でないかぎりは、他の穏便な表現を使う方が無難。

一つの土俵で討論する〔同じ土俵に上がる〕	находить общую основу для обсуждения
論拠を別の問題に敷衍する	распространять довод на другой вопрос
議論をむしかえす	снова поднимать спор
～の権限を与えられていない[1]	(Я) неуполномочен на что-л.
意見を留保する	резервировать мнение
否定も肯定もしない	не отрицать и не подтверждать
利害得失を計算に入れる	взвешивать плюсы и минусы
損得ずくで	ради выгоды
責任を逃れる〔回避する〕	уклоняться от ответственности
無理やりに正当化しようとする	пытаться оправдать всеми правдами и неправдами
ご参考までに～ということをお伝え［お知らせ］しておきます	я сообщаю к вашему сведению о том, что.... [2]
先走っているようだ〔時期尚早の感じだ〕	кажется преждевременным
～に支障をきたさない範囲で	в пределах, не причиняющих ущерба чему-л.
その代償として	взамен этого [как возмещение этого]
～を平静に受け止める	спокойно воспринимать что-л., [спокойно относиться к чему-л.]

1)「それは私の権限外だ」「そのことは私の管轄外だ」というのであれば Это вне моей компетенции. と言う。
2) これに対し「拝聴致しました」「承っておきます」は Принимаем к сведению. となる。

割り切れないものがある。	Остаётся неудовлетворённость.
誤解が氷解した。	Заблуждения устранены.

*　　　　　　　　*

それははなはだ片寄った考え方です。	Это весьма односторонняя концепция.
あなたのお考えは甘すぎるように思われます〔あなたは楽観的にものを考えすぎています〕。	Мне кажется, что вы видите вещи в розовом свете [1].
誤解をまねくといけませんから、弁明しておきます。	Во избежание недоразумений [Чтобы не было недоразумений], я хочу сделать [дать] разъяснение.
われわれは原則論を議論するつもりではありません。	Мы не намерены вступать в споры по принципиальным вопросам.
あなたに不愉快な思いをさせたくはありません。	(Нам) не хотелось бы, чтобы у вас оставалось неприятное чувство.
すべてをわれわれのせいにされると困ります。	Нельзя обвинять во всём только нас.
それでは一応口頭で説明しましょう。	(В таком случае) позвольте дать [сделать] устное разъяснение [объяснение].

1) 同じような表現で Вы смотрите на всё сквозь розовые очки.（あなたはすべてを楽天的に考えておられる）というのもある。

簡単に説明させて頂きます。	Позвольте вкратце объяснить. [Позвольте (мне) дать краткое объяснение.]

6. 詰めから妥結まで

～の糸口をつかむ	находить ключ к чему-л. [1]
一時的な損得を離れて	не считаясь с временными выгодами и невыгодами,
妥協点を見い出す	идти на компромисс [2]
なるべく〔できるだけ〕	по (мере) возможности
期待に応える	оправдывать надежды
不本意ながら	против воли [своего желания]
ご期待に沿わないかもしれませんが	возможно, это не будет отвечать вашим чаяниям [3], (но...)
ご異存がございませんならば〔お差し支えなければ〕	если вы не возражаете, ...
下話の時にありましたように	как это уже было сказано на предварительных переговорах, ...
意見の違いがどうあろうと	какие бы ни были расхождения во взглядах, ...
折れ合う用意があります。	(Я) готов на уступку.
今後も宜しくお願いします。	Надеемся на дальнейшее сотрудничество.
私の出来ることなら何でもしたいと思います。	Я постараюсь сделать всё от меня зависящее [4].

1) 「問題解決の糸口をつかむ」なら、находить ключ к решению проблемы.
2) 「双方は妥協点を見い出した」は Обе стороны пошли на компромисс.
3) чаяниям の代わりに надеждам としてもよい。чаяние は文章語。
4) всё от меня зависящее = всё, что от меня зависит.

努力しますが、確約はいたしません。	Постараюсь, но точно не обещаю.
努力します。しかし、何もお約束は出来ません。	Постараюсь. Но обещать ничего не могу.
快く受け入れる	охотно соглашаться с чем-л.
不承不承承諾する	невольно соглашаться с чем-л.
曲がりなりにも納得する	соглашаться с трудом с чем-л.
不安を解消する	рассеивать [устранять] беспокойство
撤回する	отменять, брать назад
修正する（訂正する）	вносить изменение (поправку) [1]
合意をみた決定	согласованное решение
双方の合意事項	согласованные пункты
口頭確認	устное подтверждение
但し書き、留保	оговорка
ギブ・アンド・テイクの原則	принцип взаимности
合意、合意に達する[2]；妥結、妥結する	договорённость [3] , договориться [完]; соглашение, прийти [完] к соглашению [4]
大体のところを決める	ориентировочно решать

[1]「修正」を意味するいろいろな単語については「会議」の項を参照。
[2]「双方は合意に達した」は Стороны (Обе стороны) нашли общий язык. とも言う。この表現もよく使われる。
[3] この単語を使って「われわれは合意に達した」を言うのなら Мы достигли договорённости. または Между нами достигнута договорённость. とすればよい。
[4] приходить (прийти) к соглашению には「合意を見る、妥結を見る、了解がつく、折り合いをつける；意見の一致を見る」などの意味がある。

仮に決める	условно решать
まだ予断できない	пока ещё трудно определить [完] [предсказать] что-л.
契約を結ぶ	заключать контракт
所期の目的が達せられた	достигнуты намеченные цели
成文化する	оформлять документом
相違にかかわらず双方の意見を併記する	фиксировать мнение сторон, невзирая на расхождение
妥協案〔折衷案〕	компромиссный проект
突き合わせる〔照らし合わせる〕	сверять, сличать (документ и пр.)
仮調印	парафирование
調印（本調印）〔署名〕	подписание [1]
発効する（有効である）	вступать в силу [2] (оставаться в силе)
（契約などの）有効期間を定める（限る）	устанавливать (ограничивать) срок действия (контракта и пр.)
この契約書は日本語とロシア語で各2通ずつ作成され、条文は同等の効力を有する。	Настоящий Контракт составлен в двух экземплярах, каждый на русском и японском языках, причём оба текста имеют одинаковую силу.

[1]「契約調印」= подписание контракта.「契約（文書）に調印する」= подписать контракт (документ).
[2]「本協定は、署名の日に効力を生じ、2020年12月31日まで効力を有するものとする」= Настоящее Соглашение вступает в силу со дня его подписания и будет действовать по 31 декабря 2020 года.

7. よく使われる挿入句、挿入語的表現

前にも申し上げましたが	Как я до этого говорил, ... [Как было изложено ранее, ...]
すでに前にも簡単にふれましたが	Как я вкратце уже упомянул, ...
今のお話にありましたけれども	Как сейчас уже было сказано, ...
私の存じているところでは	Насколько мне известно, ... [Насколько я знаю, ...]
私の覚えている限りでは	Насколько я помню, ...
私の判断では	Насколько я могу судить, ...
私が経験した範囲では	Насколько я могу судить [знаю] по собственному опыту, ...
	Как мне подсказывает мой собственный опыт, ...
私の記憶に誤りがなければ	Если мне не изменяет память, ... [Если меня не подводит память, ...]
（もし）私が間違っていなければ	Если я не ошибаюсь, ...
重複することになりますが	Правда, это будет повторением, но ...
ここで改めて申すまでもなく	Здесь нет необходимости вновь повторять [говорить], что...
ついでながら申し上げますが	Замечу попутно [мимоходом], что ... [Попутно я хочу сказать, что ...]
余談ですが	Попутно говоря, ...

少し話が脇にそれることになりますが	Я несколько отклонюсь [отойду, отступлю] от темы [от предмета нашего разговора], ...
話が前に戻りますが	Возвращаясь к сказанному, ...
細かいことはさておき〔細かい話はあとにして〕	Оставляя в стороне подробности, ... [Отвлекаясь от подробностей, ...] [Не касаясь пока деталей, ...]
細かい点にこだわるつもりはありませんが	Я не собираюсь [не намерен, не буду] вдаваться в подробности [задерживаться, останавливаться на подробностях], но ...
正確な表現は難しいのですが	Мне трудно [Я затрудняюсь] подобрать [найти] точное выражение, но ...
話の腰を折って済みません（お話中失礼します、恐れ入ります）[1]。	Извините, что (я) вас перебиваю (перебью / перебил).
どうか話の腰を折らないで下さい。	Не перебивайте меня, пожалуйста.
まあ、もう少し先をお聞き下さい。	Нет, пожалуйста, послушайте дальше.
～とおっしゃるのは、どういうことをお踏まえの上でしょうか（何を念頭にお入れでしょうか）	Что вы имеете в виду, когда утверждаете, что...?
～というご発言はどう理解すればよいのでしょうか	Как нужно понимать ваше высказывание о ...?
お話からすると、～と言うことなのですね	Из ваших слов следует, что...

[1] 出来る限り相手が話している間は聞くに徹するのがロシアのマナーなので、よほどのことがない限り、多用してはならない。「合いの手」も少ないほうがよい。

言い換えると、～とおっしゃりたかったのですね	Другими словами, вы хотели сказать, что…
つまり～とお考えですね	То есть вы считаете, что…

8. 会話の合いの手の表現

そうなんですか？へー！	Да? Вот как!
そうですかね（それは本当ですか）。	Так ли это? (Это) правда?
まさか。	Неужели!
それは妙ですね。	(Это) странно.
それは信じられません。	В это трудно поверить. / Этому трудно поверить.
それはあり得ないことですよ！	Этого не может быть!
恐らくそれはないでしょう。	Вряд ли это возможно.
それは否定できませんね。	Этого нельзя отрицать.
まったくおっしゃるとおりです。	Вы абсолютно (совершенно) правы.
それは結構ですね。	Это хорошо! (Прекрасно!)
素晴らしいですね。	Замечательно! (Отлично! Чудесно!)
それはそれは[1]。	Приятно (это) слышать.
残念ですね。	А жаль! (Как жаль / жалко!)

1) 良い知らせや評価などを耳にしたときの相づち。以下のようなやりとりのときに使う。
① — У нас всё в порядке. Дочка учится в университете.
— Приятно это слышать.
② — Как хорошо, что вы позвонили! Вы как раз нам нужны!
— Приятно это слышать.

なんて不幸なことでしょう。	Какое несчастье!
ご同情申し上げます。	Примите мои сочувствия. / Я вам сочувствую.

9. 電話でのアポイントの取り方、その他若干の表現

もしもし！おはようございます。イワノフさんをお願いします。	Алло! Доброе утро! Можно попросить господина Иванова? / Попросите, пожалуйста, г-на Иванова.
番号[1]違いです。	Вы не туда попали. / Вы ошиблись номером.
電話を切らないで下さい。	Не кладите трубку.
はい私です。／イワノフです。	Слушаю вас. / Иванов у телефона.
イワノフさんですか？（こちらは）山田です。	Г-н Иванов? (Это) Говорит Ямада[2].
お忙しいところをお邪魔して申し訳ございません。	Извините за то, что отрываю вас от дел.
お休みの日にお騒がせして申し訳ございません。	Прошу прощения за то, что беспокою вас в выходной день.

1) 通常最初を3桁で言い、その後は2桁ずつに区切って言う— 521-9400（пятьсот двадцать один, девяносто четыре, два нуля）。ゼロが続くとき нуль-нуль とも言う。два нуля を「20」と勘違いしないように。
2) 一方的な用件、依頼、問い合わせなどで電話するときには、Вас беспокоит Ямада. という表現がよく使われる。Говорит もそうだが、名前が主語だと三人称になる。
　また、「夜分遅く／朝早くからお電話して申し訳ございません」と謝る表現は— Извините за поздний / ранний звонок.

内線30番をお願いします。	Мне нужен добавочный номер 30.
少々お待ち下さい。済みませんが、お話中です／出ません。	Подождите, пожалуйста. Извините, номер занят / не отвечает.
イワノフは不在です（彼は今、手が放せません）。	Г-на Иванова нет (Он занят).
またお電話下さいますか。	Вы будете звонить ещё раз?
何でしたら、今日の午後か明日の朝（彼に電話を）かけ直しましょうか。	Может быть, мне лучше ему перезвонить во второй половине дня или завтра утром?
分かりました、後ほど電話します。	Хорошо, я позвоню позже.
何か彼にお伝えしましょうか。	Передать ему что-нибудь?
山田がお電話を差し上げたとお伝え下さい。	Передайте ему, пожалуйста, что звонил Ямада.
こんにちは、先ほどの山田です。イワノフさんをお願いします。	Добрый день, говорит Ямада ещё раз. Попросите г-на Иванова, пожалуйста.
山田さん、少々お待ち下さい。いまおつなぎします。	Подождите минуту г-н Ямада. Я вас соединю.
こんにちは、山田さん。いかがお過ごしですか。	Здравствуйте, г-н Ямада. Как поживаете?
ありがとうございます、おかげさまで。アポイントについてお約	Спасибо, хорошо. Мне хотелось бы договориться о встрече.

束頂きたいのですが、明日の朝はお会いできませんでしょうか。	Можем ли мы встретиться завтра утром?
朝はふさがっています。午後4時はいかがでしょうか。それだったら都合がよいのですが。	Утром я занят. А в 4 часа дня? Это было бы удобно.
それで結構です。明日4時に伺います。	Хорошо [1]. Я буду у вас завтра в 4.
長話になって申し訳ございませんでした。	Примите мои извинения за слишком долгий разговор.

＊電話を終えるときはお互いに丁寧な言葉を交わすのがエチケットで、以下のような表現がお勧めです [2]。

どうも、貴重なお話（情報）、ありがとうございました。	Спасибо вам большое за ценную информацию.
いろいろと助かりました、ありがとうございました。	Сердечно благодарю вас за помощь.
お騒がせ致しまして申し訳ございませんでした。	Извините за беспокойство.
何かとご面倒をお掛けしたようでしたら、お許し下さい。さようなら。	Прошу простить, если я доставил вам много хлопот, до свидания.
どうもお電話ありがとうございました。	Спасибо, что вы позвонили.

[1] Это меня вполне устраивает. という表現もある。
[2] Русская речь. № 4. М., 1986. с.53.

お話しできて、とても良かったです。

Мне было очень приятно поговорить с вами [1].

いつでもお電話お待ちしております。

Звоните, всегда рады вас слышать.

[1] 動詞 поговорить の用法には要注意。Мне нужно с вами поговорить. という表現は、「ちょっとお話があるんですが。」の意味を持ち、相手に対してネガティブな内容の「話がある」というニュアンスが込められる。折りいった「相談事」があるときは、Мне нужно посоветоваться с вами. と言う。ことがより深刻なら Мне хотелось бы посоветоваться с вами. と言えば、折りいったニュアンスが強まる。

第3部

実務の補助用語・表現

I．日程・エスコートガイド

滞在日程の書き方には一定の様式があります。内容は、当然、どれも似たりよったりのものになるはずですから、ここにあげたひな型だけでも大半をカバーしたことになると思います。ここに不足している分も類似の書き方をすればよいわけです。なお、会議の日程は「会議」の項目に記しました。

エスコートガイドは、公的機関から派遣された技術研修員など政府や政府関係機関の要人、あるいは経済界のリーダー、各界の著名人、有識者など、海外から来日する外国人を国内滞在中、訪問先にエスコートするのが仕事です。状況に応じて簡単な通訳も行います。「エスコートガイド」という呼び名は固定したものでなく、派遣機関によってエスコート、アテンドなどとも呼びます[1]。

エスコートガイドは、外国人を訪問先に案内するのが主な仕事ですが、同時にスケジュールの管理を行ったり、日本の習慣や生活についてのアドバイスをしたり、観光地に案内することもあります。そして、〈Какая у вас группа крови?　あなたの血液型は？／ У меня кровь первой [второй, третьей, четвёртой] группы. 私はＯ［Ａ，Ｂ，ＡＢ］型です。〉というやりとりや体調にかかわる基本的な諸表現も身につけつつ、コンピューター技術も学ぶ、といった非常に多岐にわたる教養が求められます。

これらすべての場面で通用する表現は網羅できませんが、ここではエスコートガイド的な用語、表現の若干を記しておきます。【補足】の項ではロシア語版ガイドテキスト「日本案内」からの若干の文章のほかに、和食をめぐる用語・表現も記しておきました。総じてこの第３部は、ロシア語による直接のコミュニケーションにも有用でしょう。

---

1)「通訳者・翻訳者になる本」2002，イカロス出版､2001年、119ページ参照。

1．滞在日程

ロシア～代表団日本滞在日程 （20xx年6月1日～10日）	ПРОГРАММА пребывания российской делегации ~ в Японии с 1 по 10 июня 20__ года
6月1日（月曜日）[1]	1 июня (понедельник)
成田到着（アエロフロートSU575便）	11.00 Прибытие [2] в аэропорт Нарита (рейсом SU575)
都内へ移動	11.30–12.30 Переезд [3] в город
「ホテル・トーキョー」にてチェックイン後休憩	12.30–14.00 Размещение [4] в гостинице «Токио», отдых
ホテル食堂にて昼食、滞在日程打合せ	14.00–15.00 Обед в ресторане гостиницы, обсуждение [5] программы пребывания делегации
都内観光[6]	15.00–18.00 Экскурсия по городу [7]
ロシア代表団歓迎レセプション	18.00–20.00 Приём в честь российской делегации
休息	20.00 Отдых [8]

---

1) 日本語のほうは時間表記を省略。
2) その他 прилёт（飛行機のみ）、приезд。
3) 必要なら переезд автомашиной（автомобилем, автобусом）と造格を補う。на＋前置格でもよい。
4) размещение は厳密には「部屋割り」のことで、「チェックイン」とは少々異なるが、実際上はいずれも、宿泊手続きをしてキーをもらい、部屋に入って荷物を置くこと全体を指して使うので、安心して размещение を使ってよい。
5) согласование программы も可。
6)「観光」と「見学」に厳密な使い分けはないが、「都内見学」というなら、осмотр города。
7) もちろん、экскурсия по столице あるいは по Токио としても差し支えない。ただ、東京にいて город と言えば、それが東京を指していることは一目瞭然なのでこれで十分。
8) Свободное время でもよい。

	(以下、途中の日付は省略)
歓迎集会	Митинг по случаю прибытия делегации
産業別・階層別集会 [1]	Встречи по отраслям и социальным слоям
～研究所訪問	Посещение [2] научно-исследовательского института ～
記者会見	Пресс-конференция
～と会見	Встреча с кем-л.
～工場見学	Осмотр завода ～
工場責任者と懇談	Беседа с администрацией завода
～労働組合と交流集会	Дружеская встреча с членами профсоюза ～
築地の料亭Aで夕食	Ужин в ресторане «А» с японской кухней в районе Цукидзи
観劇	Посещение театра
～主催昼食会	Обед, устраиваемый кем-л. (по чьей-л. инициативе)
ホテル出発	Выезд из гостиницы
「のぞみ」号で京都へ出発、車中で朝食	Отъезд [3] на сверхскоростном поезде «Нодзоми» в Киото, завтрак в поезде

[1] 代表団が多数の場合、例えば、労働組合員、学生、スポーツマン、芸術家など、専門、職業別にそれぞれ集会を持つような時の表現。
[2] посещение は非常に広く用いられるので、訪問先を正確にして後に付けることにより、「見学、視察、見物、観劇、鑑賞、参拝」などにあてることができる。広く用いられるだけでなく、この語を使うのが最も適当である場合も少なくない。例えば「観劇」。посещение музея, цирка, выставки, храма, кино, концерта, завода, предприятия и т.п.
[3] Отправление сверхскоростного поезда «Нодзоми» Токио-Киото でも良い。

日帰り	Возвращение в тот же день; однодневный (о маршруте, поездке и проч.)
京都着	Приезд в Киото
市長を表敬訪問	Визит вежливости к мэру города
ツアー「古都を訪ねて」(名所旧跡めぐり)	Экскурсия «Киото — древняя столица Японии» (с осмотром достопримечательностей города)
比叡山ドライブ	Поездка на автомобиле на гору Хиэй
琵琶湖遊覧	Прогулка на катере по озеру Бива
宇治遊覧	Поездка (экскурсия) в город Удзи
契約書調印式	Церемония подписания контракта
歓送会(集会)	Прощальный приём (митинг)
自由時間	Свободное время
ショッピング	Покупка сувениров
6月10日(水曜日)	10 июня (среда)
モーニング(ウェイクアップ)コール	7.00 Утренняя побудка
出発準備	8.30–10.30 Сборы в дорогу [1]
チェックアウト	10.00 Выписка из гостиницы
成田へ出発	10.30 Выезд в аэропорт Нарита
成田着	12.30 Приезд в аэропорт

[1] または подготовка к отъезду。

SU 584 便でモスクワへ	14.00 Вылет[1] в Москву рейсом SU584

2. 送迎の表現

1）出迎え

私は～と申しますが	Разрешите [позвольте] познакомиться [представиться][2]. Я ～
失礼ですが～社との商談にお見えになった方ですか。私は～社の山田と申します。お迎えに上がりました。	Прошу прощения. Вы приехали на переговоры с торговой фирмой ～? Моя фамилия Ямада, я работник фирмы ～. Я пришёл [приехал] встретить вас.
ようこそ日本にお越し下さいました。	Добро пожаловать в Японию. (Рад приветствовать вас в Японии.)
遠路はるばる日本においで頂いてありがとうございました。	Благодарим вас за то, что вы приехали к нам, несмотря на столь огромное расстояние[3].
道中はいかがでしたか。	Как вы доехали[4]?
お疲れでしょう。	Не утомила ли вас дорога?
私どもは皆さんのお越しを楽しみにしておりました。	Мы с нетерпением ждали [ожидали] вашего приезда.

1) 「帰国」なら вылет на родину（飛行機の場合）、отплытие на родину（船）。
2) ここのカッコの中はより公式的な表現。
3) ロシア人はこのような言い方をしないが、あえて左の日本語をロシア語に訳すとこうなる。
4) 飛行機なら долетели もよい。

お名前はかねがね伺っておりました。	О вас я уже слышал много хорошего[1].
どうぞよろしく。	Очень рад [приятно] с вами познакомиться[2].
お出迎えありがとうございます。	Большое спасибо за то, что вы нас встретили[3].

2）空港からホテルまで

日程はやや窮屈かもしれませんが、おもしろいもののはずです。	Ваша программа (пребывания), может быть, немного перегружена, но мы надеемся, что она вам понравится [она будет для вас полезной и интересной].
ご希望に応じて日程は多少変更できます。	По вашему желанию мы можем внести изменения в программу.
何か特にご希望はおありですか。	Нет ли у вас каких-либо пожеланий?
ひとまずゆっくりお休みください〔どうぞごゆっくり〕。	Отдохните, пожалуйста[4].
細かい点は後ほど。	Подробности обсудим позже.
明日会議の席でまたお目にかかりましょう。	Увидимся завтра на заседании.

1) 本当に評判の良い人に対してのみ使える表現。中立的な表現にするなら много хорошего を省けばよい。
2) 知り合った時に使う「よろしく」はこう訳す他ない。
3) もっと簡単に言うなら、Благодарю вас за встречу。
4) Сейчас вы можете отдохнуть с дороги. という言い方もある。

3）見送り

日本で何が一番印象に残りましたか。

Что произвело на вас самое сильное впечатление в Японии? [Что вам больше всего запомнилось в Японии?]

いろいろ行き届かない点があったかと思いますが、ご容赦ください。

Простите, пожалуйста, если что-нибудь было не так.

モスクワの皆さんによろしくお伝えください。

Передайте, пожалуйста, привет нашим московским друзьям [коллегам].

どうぞお元気で。

Желаю вам здоровья.

どうぞご無事で。

Счастливого пути [1].

お見送りありがとうございます。

Спасибо за то, что вы пришли нас проводить. [Спасибо за проводы.]

おかげさまで、私たちの日本滞在はたいへん楽しく、有益なものでした。

Благодаря всем вам наше пребывание в Японии [2] было полезным и приятным.

ぜひモスクワへもいらしてください。

Обязательно приезжайте в Москву.

---

1) こう言われたら、出発するほうの側は Счастливо оставаться. と言うのがロシア語の礼儀。

2) поездка по Японии と言ってもよい。

3. エスコートガイド

1）行動

ここで解散（自由行動）としますが、1時間半後、3時ちょうどには、またここに集まって下さい。

Теперь мы разойдёмся (теперь мы распустим группу), но вновь соберёмся здесь же ровно в три часа, то есть через полтора часа.

ここで10分間停車致します。11時25分までにバスにお戻り下さい。

Здесь мы остановимся на 10 минут (Остановка на 10 минут). Вернитесь к автобусу не позже 25 минут двенадцатого.

もしお手洗いが必要でしたら、まっすぐ行った所です。

Если вы хотите помыть руки, пожалуйста, идите прямо.

まとまって行動して下さい。

Будем идти группой.

後について来て下さい。

Прошу следить (идти) за мной.

ご乗車下さい。

Прошу в машину.

こちらへどうぞ。

Прошу сюда.

記念撮影をしましょう。

Давайте вместе сфотографируемся на память.

金閣をバックに写真をおとりしましょうか。

Хотите, я вас сфотографирую на фоне «Золотого павильона».

朝食は2階のレストランで7時から8時までの間におとりください。

Вы можете завтракать в ресторане на втором этаже с 7 до 8 часов.

明日は10時に出発ですから、9

Завтра мы выезжаем в 10.00,

時50分にロビーにお集まり下さい。私は正面玄関で皆様をお待ちします。

поэтому прошу собраться в вестибюле в 9.50. Я буду ждать вас у главного входа.

バスの方へお願いします。出発です。

Прошу в автобус. Мы отправляемся.

チップは必要ありません。

У нас не принято давать чаевых.

2）**見物**[1)]

これが日本で最初のモノレールで、全長13キロメートルです。

Вот перед нами первая в Японии монорельсовая дорога длиной в 13 км.

札幌は、日本では少ない整然とした建築計画に従ってつくられた都市のうちの一つです。

Саппоро — один из немногих японских городов, который построен по чёткому архитектурному плану.

猪苗代湖は日本で3番目に大きく、純度では日本の2位、世界の5位です。

Озеро Инавасиро является третьим по величине озером Японии и занимает второе место в Японии и пятое место в мире по чистоте воды.

華厳の滝は、日本で最も大きな滝の一つで、高さは93.3メートルです。

Кэгон — один из самых больших водопадов в Японии высотой 93,3 м.

1) 日本国内では神社仏閣などへの案内の機会が多いので、最低限でも「お寺」будийский храм、「神社」синтоистский храм、「お賽銭」денежное пожертвование в храм、「おみくじ」билет с предсказанием «судьбы»、「お守り」амулет, талисман、「お城」(феодальный) замок,「天守閣」замковая башня などは覚えておきたいもの。なお、都市などについて「古い歴史を持つ」と言うときは、имеет богатую историю という表現を用いる。

私たちが今いる所は、昔はお堀でした。

На этом месте, где мы с вами стоим, когда-то был крепостной ров.

霞ケ関ビルは日本の最初の高層ビルです。36階で、高さは147メートルです。

Здание Касумигасэки — это первое высотное здание в Японии. Оно насчитывает 36 этажей, а его высота 147 м.

銀座は日本一のショッピングゾーンです。

Гиндза — это крупнейший в Японии торговый район.

この辺りは日本のビジネスの中心地です。

Этот район представляет собой деловой центр Японии.

新宿駅は日本一の乗降客数を誇るターミナル駅です。

Через вокзал Синдзюку проходит самый большой в Японии пассажирский поток.

名古屋には数々のすばらしい名所旧蹟があり、大勢の観光客を集めています。

Город Нагоя изобилует достопримечательностями и великолепными историческими памятниками, привлекающими сюда многих туристов.

「兼六」とは、「宏大、幽邃、人力、蒼古、泉水、眺望」の6つを兼ね備えるという意味です。

«Кэнроку» означает сочетание шести качеств: простора, глубины, человеческих стремлений, долголетия, чистой воды и живописного пейзажа.

二条城は、徳川将軍が京都入りしたときの公邸として使われました。

Замок Нидзё служил резиденцией сёгунов Токугава, когда они прибывали в Киото.

大仙院の枯れ山水は、本質的には2つの部分に分かれています。	«Сухой» сад (Сухой ландшафт) храма Дайссэн-ин, по существу делится на две части.
寺町にはまだ各宗派のお寺がたくさん残っています。	В районе Тэрамати всё ещё сохраняется много буддийских храмов разных сект.
後楽園は旭川岸の領主の別荘周囲の砂地に、1686年に造成されました。	Сад «Коракуэн» был разбит в 1686 году вокруг виллы феодала на песчаных берегах реки Асахи.
今日広島は、人類史上初の原爆被災都市として世界中に知られています。	Сегодня Хиросима известна во всём мире как город, уничтоженный первой в истории человечества атомной бомбой.
原爆が広島に投下されたのは1945年8月6日のことでした。	Атомная бомба была сброшена на Хиросиму 6 августа 1945 года.
これらの彫刻は8世紀のもので、現存するこの種の作品中最も古いものです。	Эти скульптуры относятся к VIII веку и являются самыми древними из сохранившихся до настоящего времени творений этого типа.

3）～が見えます

皆様の右手に見えるのは外務省の建物です。	Справа от вас — здание министерства иностранных дел.
左手の建物は東京証券取引所です。	Здание слева — Токийская фондовая биржа.
もう少し行きますと国会議事堂が見えます。	Проедем немножко вперёд, и будет видно здание Парламента.

右をご覧ください。皇居の向こうに東京タワーが見えています。	Посмотрите туда направо. За Императорским дворцом виднеется Токийская телебашня.
もう少し歩いて行きますと有名な清水寺が見えます。	Если пройти немного вперёд, увидите знаменитый Храм «чистой воды».
左手のお城は大阪城です。	Слева видим феодальный замок Осака.
右手には大文字山が見えます。	Справа видна гора Даймондзи.
展望台からは市内の素晴らしいパノラマが見えます。	Со смотровой площадки открывается прекрасная панорама города.

4）交通機関

新幹線	новая железнодорожная магистраль «Синкансэн»（線として）, сверхскоростной поезд, суперэкспресс（列車として）.
準急、急行、特急	скорый поезд < курьерский поезд < экспресс（日本の車種とは必ずしも対応しないが、速さはこの順）
寝台車	спальный вагон
食堂車	вагон-ресторан
ビュッフェ	буфет
グリーン車	вагон первого класса
改札	вход на платформы

待合室	зал ожидания для пассажиров
ポーター	носильщик
3番線	третья платформа
ロープウェイ	подвесная (канатная) дорога
ケーブルカー	фуникулёр
モノレール	монорельсовая дорога
ホーバークラフト	катер на воздушной подушке
水中翼船	судно на подводных крыльях
フェリーボート	(автомобильный) паром
京都まで2時間45分の道のりです。	Наша поездка до Киото займёт 2 часа 45 минут.
皆さんの席は9列目のEから11列目のCまでです。	Ваши места — с места «E» 9-го ряда по место «C» 11-го ряда.
時に高速道路はひどく渋滞することがあります。	Временами на автострадах образуются огромные пробки.
最近マイカー族たちが、ドライブを楽しむ場所まで行くためにフェリーを利用することがますます多くなっています。	В последнее время всё больше автомобилистов пользуются паромом для того, чтобы добраться до места, где они собираются отдохнуть или покататься на автомобиле.

5）市内

市役所	городское управление, муниципалитет, мэрия
県庁	префектуральное управление

官庁街、ビジネス街	деловой центр [район, квартал, часть]
副都心	второй центр города
超高層ビル	небоскрёб, (сверх)высотное здание
商店街	торговые улицы [ряды]
繁華街	оживлённая часть города, центр развлечений
盛り場	увеселительный квартал
「歩行者天国」	«рай для пешеходов»
住宅街	жилой район
郊外	пригород ～で（に）за городом
団地	жилой [жилищный] массив
ベッドタウン	«спальный район»
オリンピック施設はすべて、市内にあるものも郊外にあるものも、市の中心地から簡単に、早く行ける所にあります。	Все олимпийские спортивные сооружения, независимо от того, находятся ли они в самом городе или за его пределами, расположены таким образом, что к любому из них можно легко и быстро добраться из центра города.
競技場は8万人の観客を収容します。	Стадион вмещает 80 тыс. зрителей.
多くの大百貨店は自分の画廊や展示場を用いて海外文化の紹介に努めています。	Многие крупные универмаги проводят в своих галереях и выставочных залах мероприятия для популяризации зарубежной культуры.

6）固有名詞

固有名詞の全部は網羅できませんので、以下を参考にして、とっさの場合には訳語（仮訳）が作れるようにして下さい。（その他は次の【補足】の項に挙げたガイドテキスト「日本案内」に満載されています。）

衆議院	Палата представителей (нижняя палата)
参議院	Палата советников (верхняя палата)
首相官邸	Официальная резиденция премьер-министра
内閣府[1]	Канцелярия кабинета министров
法務省	Министерство юстиции
外務省	Министерство иностранных дел /МИД/
財務省	Министерство финансов
文部科学省	Министерство по делам просвещения, культуры, спорта, науки и техники
厚生労働省	Министерство здравоохранения, труда [2] и социального обеспечения
農林水産省	Министерство сельского, лесного и рыбного хозяйства

[1] 2001年1月から、中央省庁再編で発足した。「大蔵省」、「運輸省」など、なじみの名称が姿を消した。以下の新省庁のロシア語名称は、A. Paxyбo 東大講師による仮訳である。「総務省」の仮訳は Министерство по общенациональным делам, местной автономии и связи。今後、正式名称に関する情報にご注意。

[2] 普通のロシア人は труда, здравоохранения... と続く方が論理的だと考える。

経済産業省	Министерство экономики, торговли и промышленности
国土交通省	Министерство национальных земель, инфраструктуры и транспорта
環境省	Министерство по делам окружающей среды
防衛庁	Управление национальной обороны [УНО]
国家公安委員会	Государственный комитет по обеспечению общественной безопасности
最高裁判所	Верховный суд
日銀［日本銀行］	Банк Японии [Японский банк]
日本輸出入銀行	Экспортно-импортный банк Японии
経団連［経済団体連合会］	Федерация экономических организаций
日経連［日本経営者団体連盟］	Федерация предпринимателей Японии
日本商工会議所	Японская торгово-промышленная палата
国立劇場	Национальный театр
東京駅	Токийский вокзал
東京中央郵便局	Токийский центральный почтамт
皇居前広場	Дворцовая площадь

皇居（御所）	Императорский дворец
国立国会図書館	Государственная парламентская библиотека (Библиотека Национального парламента)
迎賓館	Дом приёмов
東京国立博物館	Токийский государственный музей
国立近代美術館	Государственный музей современного искусства
日本民芸館	Японский музей народного искусства
武道館	Спортивный зал «Будокан»
明治神宮外苑	парк, в глубине которого находится храм Мэйдзи
国立競技場	Национальный стадион
（代々木）スポーツセンター	спортивный центр (в Ёёги), спортивный комплекс
NHK（「日本放送協会」の訳なので「テレビ」という語は入れない）	Японская вещательная корпорация (Эн-Эйч-Кэй)
東京復活大聖堂（通称ニコライ堂）	Собор Святого Николая
浅草寺	Храм Сэнсодзи
雷門	«Ворота божества грома»
東京ディズニーランド	Парк Токио Диснейлэнд
“Landmark Tower”	«Ландмарк тауэр»
大仏	Большой Будда
五重の塔	пятиярусная (пятиэтажная) пагода

日光	«Никко» по-японски означает «солнечное сияние».
東照宮	святыня «Тосёгу», «Храм восточного сияния»
金(銀)閣	Золотой (Серебряный) павильон
竜安寺の石庭	Сад камней в храме Рёандзи
三十三間堂	Холл тридцати трёх отсеков
苔寺	храм мхов «Сайходзи»
夢殿	Зал сновидения
鳳凰堂	Павильон феникса

＊元号　японская система летосчисления の説明・換算法

Японская система летосчисления соответствует годам царствования (правления) императоров. По этой системе с воцарением нового императора меняется наименование годов правления.

注意！　昭和で言われたら（19)25を、平成には（19)88をとっさに加算することくらいは覚えておきましょう。

【補　足】

1．ロシア語版「日本案内」より

1999年末ロシア語通訳協会発行の、菊次厚子、徳永晴美・総監修によるロシア語版「日本案内」新版より、内容のごく一部を紹介させて頂きます。

日本観光通訳協会の英語版「GUIDE TEXT」を基本とするこの新版は、350ページのボリュームで、日本の地理、気候、歴史、文化、伝統芸能ならびに政治、経済から衣食住までの森羅万象を概説するとともに、東京、京都、大阪、広島は言うまでもなく、北海道から沖縄までを網羅して、各都市や地域の概括ならびに名所旧跡、観光スポットについて言及しています。

ロシア語を学ぶ場合、ロシアのことを知るのに重点が置かれます。が、そうして獲得した語学知識では、日本の事物現象を説明するには不十分。この「日本案内」は、日本人がロシア語でアウトプットするためのコミュニケーション能力の拡大に役立つと思います。

日本列島の概要　Япония, страна с населением более 126 миллионов человек, состоит из четырёх основных островов: Хоккайдо, Хонсю (или главный остров), Сикоку и Кюсю, а также из около 7 тыс. мелких островов. Эти острова образуют форму дуги у северо-восточного побережья Азии. Их общая протяжённость составляет приблизительно 3 тыс. км, а площадь — около 377 тыс. квадратных километров. Около 70% этой площади занимают горы, и лишь около 14% приходится на сельскохозяйственные угодья.

Северное побережье Хонсю расположено на расстоянии около 965 км от дальневосточного побережья России, а расстояние от западного побережья Кюсю до китайского города Шанхая — примерно 800 км. Ширина Цусимского пролива, отделяющего Японию от Кореи, составляет всего лишь 190 км, и это близкое соседство в древние времена позволяло китайской культуре проникать в Японию.

На Хонсю проживает около 80% всего населения страны; его площадь — примерно 231 тыс. квадратных километров. В самой

широкой части острова расстояние между побережьями Тихого океана и Японского моря составляет 271 км. Это главная часть страны. На Хонсю расположено более 490 городов, в их числе и шесть самых больших в Японии: Токио, Йокогама, Осака, Нагоя, Кобэ и Киото.

Хоккайдо, самый северный из 4 основных островов, является наименее населённым. Остров занимает 22% общей территории Японии. Однако его население составляет лишь 5% от общей численности населения страны. Он является одним из центров лесного хозяйства, животноводства, рыболовства и сельского хозяйства. Здесь сосредоточено много предприятий тяжёлой промышленности. Хоккайдо расположен почти на той же широте, что и Чёрное море.

Кюсю, соединённый с Хонсю трёхкилометровым подземным тоннелем, сегодня выглядит почти как часть Хонсю. В северной части этого острова залегают уголь и другие полезные ископаемые, поэтому здесь много предприятий тяжёлой промышленности.

Сикоку — самый малый из 4 главных островов. Он расположен напротив Хонсю, и их разделяют лишь спокойные воды Внутреннего японского моря (Сэто). Это очень живописный остров. В апреле 1988 г. был введён в эксплуатацию железнодорожный автотранспортный мост, соединяющий города Кодзима (Хонсю) и Сакаидэ (Сикоку). В апреле 1998 г. был построен второй мост, соединивший города Кобэ (Хонсю) и Наруто (Сикоку), а в мае 1999 г. завершилось строительство третьего моста между городами Ономити (Хонсю) и Имабари (Сикоку).

東　京　Токио — столица Японии. Это не только крупнейший город страны, но также один из самых больших городов мира. Токио образует особый административный район, называемый Токийской столичной префектурой. Она включает собственно город, 27 городов — спутников, 5 посёлков, 1 деревню и 9 островов. Численность населения Токио — более 11,8 млн. чел.; площадь — около 2186 квадратных километров. Город является административным, финансово-экономическим, промышленным и культурным центром страны.

Собственно город можно приблизительно разделить на 2 большие части: верхнюю (яманотэ) и нижнюю (ситамати). Яманотэ — жилой

район, а ситамати — деловой и торговый район. В центре города расположен Императорский дворец, занимающий площадь 100 гектаров. Исторически Токио развивался вокруг него. Все части города соединены между собой разветвлённой сетью городской железной дороги, метро и автобусных линий. Главными транспортными артериями токийского мегаполиса являются Тюо-сэн (Центральная линия), а также линия Яманотэ (кольцевая) принадлежащие железнодорожной компании JR Хигаси-нихон.

Токио не такой древний, как японские «классические» города Нара и Киото. История города берёт начало в 1456 г., когда феодальный князь ОТА Докан построил замок на том месте, где сейчас находится Императорский дворец. К концу XVI века в этот замок переехал ТОКУГАВА Иэясу, основатель сёгуната Токугава. Он реконструировал замок и сделал его ставкой сёгуната. (см. Сёгун). С этого момента и начался расцвет Эдо (так тогда назывался Токио). В 1868 г., когда бразды правления перешли к императору Мэйдзи, столица была переведена из Киото в Эдо, который переименовали в Токио. Токио означает «Восточная Столица», так город назвали, чтобы отличать его от бывшей столицы Киото, расположенной в 500 км к западу от Токио.

京 都 Киото — древняя столица Японии, являвшаяся центром японской цивилизации на протяжении более тысячи лет. Этот город посещают едва ли не все, кто приезжает в Японию. Несмотря на то, что Киото превратился в современный город, его, тем не менее, можно назвать классическим городом, где в изобилии имеются древние храмы, святилища и памятники японского искусства. К счастью, Киото не пострадал во время II мировой войны.

Сегодня население Киото составляет около 1,4 миллиона человек — это седьмой по численности населения город в Японии. Он расположен на берегах живописной реки Камо и окружён красивыми горами. Киото славится многочисленными пейзажными ландшафтами и историческими достопримечательностями.

Киото является буддийским центром Японии. В городе расположено около тысячи шестисот буддийских храмов, а также около трёхсот синтоистских храмов. Тридцать буддийских храмов являются головными храмами различных школ. (В Японском

буддизме одна школа зачастую имеет несколько центров, которые различаются названиями: генеральный головной храм, большой головной храм, старший храм, младший храм и т.д.).

大 阪 Осака — третий по величине город Японии с населением около 2,5 млн. чел. Это центр японской промышленности и торговли. Расположенный в устье реки Ёдо, город был известен многочисленными каналами, которые соединяли его с реками и морем и образовывали крупную сеть водных путей. Поэтому его когда-то называли «метрополис на воде». Большинство этих водных путей было засыпано и превращено в улицы и автострады. Однако в своё время они сыграли важную роль в развитии Осаки как торгового города.

Осаку также называют «городом дымов» ввиду огромного количества дыма из многочисленных заводских труб. Раньше Осака гордилась разветвлённой сетью трамвайных линий общей протяжённостью в 120 км, однако в марте 1969 г. они прекратили своё существование, чтобы разгрузить транспортный поток на улицах города. К 1998 г. в городе было построено семь линий метро общей протяжённостью около 116 км.

(...) В конце XV века Рэннё, буддийский монах школы Дзёдо Син, основал большой храм Исияма-Хонгандзи, на горе, где сейчас расположен Осакский замок. Храм стоял на высоком склоне, отсюда и название места - Осака, что буквально означает «большой склон». Когда в середине XVI века на храм напал ОДА Нобунага со своими войсками, группа приверженцев школы превратила этот храм в крепость. Позже ТОЁТОМИ Хидэёси построил на этом же месте большой замок, и до 1596 г. город оставался центром административного управления Японии. В правление Хидэёси в Осаке расцвели промышленность и торговля. В период Эдо город стал основным рынком купли-продажи риса, и именно здесь появились так называемые «осакские купцы», которые до сих пор считаются самыми авторитетными бизнесменами в Японии.

歴史・将軍 Когда читаешь о Японии, то неизбежно наталкиваешься на слово сёгун. Буквально оно означает «генералиссимус». Первоначально это был временный титул, даваемый главнокомандующему экспедиционной армией. Вплоть до XI века

императорское правительство часто отправляло подобные экспедиции в северо-восточную область Японии, где так называемые варвары время от времени восставали против императорского правления. Предполагалось, что в конце кампании титул сёгун должен быть возвращён императору, однако победоносные командующие не спешили расставаться с благородным званием, сулящим большие привилегии. Позже этот титул стал присваиваться главе самураев с формального согласия императора. Впервые положение сёгуна стало соответствовать положению административного главы государства при МИНАМОТО Ёритомо в конце XII столетия, что явилось фактическим отстранением императора от управления государством и оставило за ним лишь право назначать чиновников и исполнять традиционные церемониалы. Правление сёгунов продлилось почти 700 лет с конца XII до XIX века.

Правительство сёгуна называлось бакуфу (в буквальном переводе полевая ставка сёгуна); оно возглавлялось сёгуном и располагало абсолютной административной властью. Однако Япония была разделена на множество феодальных провинций, управляемых князьями, называвшимися даймё. Основная задача сёгуната заключалась в контроле над многочисленными феодалами и удержании их в повиновении центральному правительству. В истории правления сёгуна — сёгуната — насчитываются три длительных периода и два коротких (режимы ОДА Нобунага и ТОЁТОМИ Хидэёси). Короткие периоды характеризовались тем, что титул сёгун правителям-полководцам не присваивался. Тем не менее и эти периоды относят к эпохе сёгуната.

Нобунага стал повелителем большинства феодальных князей (даймё) центральной части Японии благодаря своему стратегическому таланту и умению решительно действовать. Его вполне можно назвать военачальником, который внёс наибольший вклад в разрушение старых политических и религиозных представлений и систем. Амбициям Нобунага воссоединить страну помешало его убийство в 1582 г. одним из его вассалов.

Работа Нобунага по воссоединению страны была продолжена вассалом ТОЁТОМИ Хидэёси, который родился в крестьянской семье и смог продвинуться от рядового до офицера.

Ему удалось политически воссоединить Японию, однако он не смог стать сёгуном, так как этим званием мог обладать лишь тот,

кто принадлежал клану МИНАМОТО или ТАЙРА.

Существует версия, согласно которой Хидэёси удалось выдать себя за потомка знатного рода ФУДЗИВАРА путём подкупа представителя одной из ветвей этого славного рода. (...)

После этого Хидэёси взял себе фамилию ТОЁТОМИ и вступил в должность канцлера (кампаку) при императорском дворе, которую мог занимать лишь тот, кто состоит в кровной связи с родом ФУДЗИВАРА. Канцлер являлся главным советником императора и представлял его на важных встречах, когда тот отсутствовал.

江戸時代へ ТОКУГАВА Иэясу, один из величайших исторических деятелей Японии, был старшим сыном провинциального феодального правителя Окадзаки. Он родился в середине XVI века, когда страна была истощена длительными междоусобными войнами. Затем она была объединена стараниями 2 знаменитых полковников — ОДА Нобунага и ТОЁТОМИ Хидэёси. Одно время ТОКУГАВА Иэясу был сподвижником Нобунага, после смерти которого снова разгорелась борьба за власть. Поучаствовав некоторое время в этой борьбе, Иэясу заключил мир с Хидэёси и стал служить под его началом. Однако, после смерти Хидэёси, Иэясу, в духе Макиавелли, организовал заговор против семьи ТОЁТОМИ и, в конце концов, сокрушил её власть. Таким образом, Иэясу, пожав плоды ОДА и ТОЁТОМИ, стал сёгуном.

На хорошо известной карикатуре Нобунага изображён замешивающим тесто для пирога из разваренного риса, Хидэёси — пекущим, а Иэясу — его поедающим.

Иэясу получил титул сёгун в 1603 г. и стал первым сёгуном сёгуната ТОКУГАВА. Он установил бакуфу (букв. полевая ставка сёгуна) в Эдо. Поскольку правительство сёгуната ТОКУГАВА находилось в Эдо, этот период также называется периодом Эдо.

明治維新 К середине XIX столетия длительному правлению сёгуната ТОКУГАВА был положен конец. Помимо слабости феодальной системы в силу того, что она изжила свой век, и обострения её внутренних противоречий, основными факторами, приведшими к падению сёгуната, явились мощное движение некоторых феодальных князей и аристократов при дворе Киото за восстановление административной власти императора, а также

действия США и других стран, которые принудили Японию открыть себя остальному миру (1854 г.).

ТОКУГАВА Ёсинобу, пятнадцатый и последний сёгун клана ТОКУГАВА, отказался от исполнительной власти 14 октября 1867 г. Таким образом, император Мэйдзи (Мицухито) спустя 675 лет вновь обрёл императорские прерогативы, утраченные его предшественниками. Это событие, получившее название «Реставрация Мэйдзи», явилось одной из самых эпохальных реформ за всю историю нации. Реставрация Мэйдзи положила начало модернизации и индустриализации Японии. Феодализм ушёл в прошлое вместе с системой сёгуната.

2. 和食 японская кухня：料理に関する語彙、表現

箸（複数形）	палочки
茶碗	пиала
ご飯（の説明）	Основой японской еды служит рис, сваренный без добавления соли или масла.
みそ汁	суп из (перебродившей) бобовой пасты
豆腐	соевый творог
油揚げ	соевый творог, жаренный в масле
ゆば（複数形）	высушенные пенки бобового молока
こんにゃく	желе из корня растения «конняку»; аморфофаллюс
蒲鉾、ちくわ類	рыбная колбаса
ゆでる、煮る	варить (варёный)

焼く	жарить (жаренный)
（パンなどを天火で）焼く	печь (печённый)
ゴマ油で揚げる	жарить в кунжутном масле
蒸す	тушить (тушёный)
あえる	приправлять
つける（浸す）	макать
醤油をつけて召し上がって下さい。	Макайте, пожалуйста, в соевый соус.
ふりかける	сыпать
お弁当	походный обед
めん類	лапша [1]
漬物	маринованный; солёный; квашенный
ぬか漬け	солёные продукты с рисовыми высевками
たくあん	квашенная редька
梅干し	солёные (маринованные) сливы
干物類／かんぴょう	сушёный ～ / мелко нарезанная сушёная тыква
わさび	японский хрен
薬味	специи
しょうが	имбирь
唐辛子／コショウ	красный / чёрный перец

[1] 汁物のめん類は лапша в супе、ラーメンは便宜的に китайская лапша в супе という。

すき焼き	тонкие полоски мяса, жаренные на соевом соусе с различными овощами в железном котелке
てんぷら	ломтики рыбы или овощей, зажаренные в тесте
すし[1]	колобки из варёного риса, покрытые рыбой, яйцом, овощами и приправленные уксусом и сахаром
さしみ	кушанье из ломтиков сырой рыбы
軟体動物（複数形）	моллюски
タコ	осьминог
イカ（の塩から）	кальмар (соленье из кальмара)
アワビ	морское ушко
貝	ракушка, раковина
サザエ	турбо
ホタテ	гребешок
アサリ	пафия
シジミ	карбикула
カキ	устрица
甲殻類（複数形）	ракообразные
カニ	краб

[1] 旧ソ連人の多くは魚介類の名称を詳しく言っても、知らないのでよく分からない。その場合は、軟体動物、甲殻類、海藻の一種などと説明するだけにするか、以下のような説明を付け加えるとよい。
例：Это — одна из разновидностей моллюсков.

タラバガニ	камчатский краб
毛ガニ	волосатый краб
ズワイガニ	краб-стригун
エビ	креветка
伊勢エビ	лангуст, омар
車エビ	пильчатая креветка
マグロ	тунец
マガツオ	полосатый тунец
ブリ	лакедра
タイ	морской карась
メヌケ	морской окунь
スズキ	морской судак
カレイ類（複数形）	камбалы
ヒラメ	ложный палтус
サケマス（総称）	лосось
ベニザケ	нерка
アジ	ставрида
サバ	скумбрия, макрель
イワシ	сардина-иваси
サンマ	сайра
キス	сихама
シシャモ	мойва
スケソウ／タラコ	минтай / икра минтая

ウナギ	угорь
アナゴ	морской угорь
フグ	собака-рыба
コイ	карп
海藻類（複数形）	морские водоросли
コンブ	морская капуста
ワカメ	алария
海草	морская трава
野菜類（複数形）	овощи
ゴボウ	лопух
大根	редька
ネギ	зелёный лук / лук-татарка
白菜	китайская капуста
タケノコ（複数形）	побеги бамбука
きのこ（複数形）／マツタケ	грибы / гриб типа опёнка
ほうれん草	шпинат
サツマイモ	батат
大豆（複数形）	соевые бобы
モヤシ（複数形）	бобовые побеги
エンドウ豆	горох
インゲン豆／小豆	фасоль / красная
ピーナッツ	арахис
ソバ	гречиха
パセリ	петрушка
セロリ	сельдерей
キク	хризантема
わらび	папортник-орляк
ぜんまい	папортник Осмунда
日本酒	Национальным алкогольным напитком является рисовое вино «сакэ» [1], которое пьют обычно подогретым.
生ビール	бочечное (нестерилизованное) пиво
つま楊枝	зубочистка

[1] рисовая водка と訳すこともある。が、厳密には водка は蒸留酒、日本酒は醸造酒である。醸造酒なら вино という。ただし、単に「代表的な日本のお酒」の意味で японская водка という言い方はある。蒸留酒である日本の「焼酎」こそが японская водка だ。

Первое, что приходит в голову при упоминании о Японии

«Известия» 22 июля 2000 года より

Гейша — термин, обозначающий род занятий для девушек, развлекающих клиентов увеселительных заведений и частных клубов.

Икэбана — искусство аранжировки цветов.

Камикадзе — «божественный ветер». Воин, жертвующий собой для уничтожения цели.

Каратэ — «пустая рука». Вид единоборства, получивший наибольшую известность в мире.

Кимоно — вид национальной одежды.

Сакура — японская вишня, цветок которой стал одним из символов Японии.

Сакэ — рисовая водка, наряду с пивом пользующаяся большой популярностью среди японцев.

Сумо — вид национальной борьбы.

Суши (правильно «суси») — национальное блюдо из риса и сырой рыбы или морепродуктов.

Фудзияма (правильно «гора Фудзи») — уснувший вулкан, укрытый белой шапкой снега, долгое время является одним из символов Японии.

Харакири (правильно «сэппуку») — ритуальное самоубийство предпринимаемое в случае утери чести или репутации.

※「日本」と聴けば先ず何を連想するか、というわけだ。
Сакэ については前ページの「日本酒」の説明参照。

Ⅱ．会社案内

企業訪問や工場見学などが日程に入っている時は、極力事前に訪問対象についてのパンフレットや概略書を入手して読み込むとともに、時間が許す限り当該産業分野についての基本知識を身につけるように心がけると、効果が上がります。出来ればロシア語の百科事典や専門書に目を通しておいて、自分用の単語帳も準備しましょう。極力あらゆる場合に備え、日ごろから様々なテーマに分けて新聞雑誌のスクラップブックを作っておくことも大切です。

また、訪問先を代表して来客をもてなすホスト側の顔ぶれ（出席者リスト）も教えてもらっておくのがベストです。現場で立ち往生する場面が最少になり、数人の名前と役職を一挙に列挙されて何をどうしてよいかわからずパニックに陥ったり、適当に伝えて場をとりなした結果、職業上いつまでも後味の悪い思いをしたりするというようなことがないためにも、です。

もちろん、名刺を見た瞬間に訳が口をついて出てくるための訓練は欠かせません。会社役員の役職名や部、課などの名称、さらにはそれらの長、責任者およびその代理、次長（**заместитель начальника, заместитель заведующего отделом, замзав**）などの表現を何度も口ずさんで、定期的に記憶を新たにするようにしましょう。

さらに、本書では取り上げませんが、企業訪問時には実に色々な生産プロセスや行程あるいはハイテク機器のことを説明する場面に遭遇します。ですから、ポピュラーサイエンスの雑誌やその種の専門書にトライすることは学習戦略上欠かせません。最先端の一業種について、一冊の薄いロシア語の文献を手にし、その内容と似通った日本語の文献も揃えて、ざっと内容に目を通すというのが効率的な学習方です。

さて、いま、国際コミュニケーションの現場では**IT**（情報技術）[1] や**IT**革命（**ИТ-революция**）さらに **интернет-сайт, сервер, электронная**

---

[1] ロシア語では **информационная технология** 。

почта, домашняя страница, онлайновая программа 等々が日常用語として飛び交っています。企業訪問もそのような用語知識抜きでは成り立たなくなりました。詳しい金融・財務知識なども求められます。しかし、一方では、戦後日本の経済体制の根幹を成してきた終身雇用や年功序列などのシステム存亡の問題も大きな焦点になっています。本書は事典ではありませんので、網羅というには程遠いのですが、あえて主としてその伝統的な日本の経営とそれを取り巻く周辺事情に関連する基本表現を記しておきました。

すべてが定訳ではありませんが、「過労死」など、日本だけの特殊事情を伝える表現も少なくありませんので、ロシア語の造語法を学ぶための参考になれば幸いです。

1. 経営組織・機構[1]

トップ・マネージメント[2]	высшая администрация
重役	высшие администраторы
会長〔取締役会長〕	председатель совета [собрания] директоров (компании и т.п.)
社長〔取締役社長〕	президент
副社長〔取締役副社長〕	вице-президент
専務〔専務取締役〕	генеральный директор [1]
常務〔常務取締役〕	директор-распорядитель [2]
取締役	директор(а) [3]
監査役	аудитор
部長	заведующий отделом [4]
課長	заведующий сектором
工場長	директор завода
営業所長	директор конторы
営業部	оперативный отдел; сбытовой отдел; отдел сбыта
業務部	операционный отдел
営業管理部	отдел контроля над сбытом
商務部	коммерческий отдел
調査部	отдел обследований
統計部	статистический отдел
総務部	административный отдел [5]
人事部	отдел кадров
経理部	бухгалтерия
監査部	отдел инспекций

1) 経営組織・機構といってもすべての会社を取り扱うわけにはいかない。そこで、多くの会社に共通する役職や組織単位を中心に列挙する。なお、「～部」といってもいろいろな訳が可能な場合も少なくない。またその会社の“守備範囲”によって、例えば「営業部」といってもその意味する内容は一様ではない。したがって露訳も1つではないはずである。また、「～部」を отдел と訳すよりも сектор と訳したほうが場合によっては当該の会社機構をより正確に言い表せることもある。しかし、経営組織についての専門的なセミナーを行っているのではない限り、この種の役職・組織単位の名称を最も一般的な、通じやすいロシア語で伝えることは許されるし、必要なことであろう。

2) 非営利団体の指導部の役職は、「会長」председатель, президент、「理事長」председатель правления、「事務局長」генеральный секретарь、「理事」член правления と言うのが一般的。

1) 専務を директор-управляющий と言うこともある。
2) 常務会は оперативный комитет と訳される。
3) 取締役会は совет [собрание] директоров. ロシア人には、директор と言うと「企業長」すなわち「社長」を想像する人もいる。もしそのうような誤解をあらかじめ防ぎたいのなら один из директоров と付け加える手もある。なお、「代表取締役」は директор-представитель と訳される。
4) заведующий は造格を要求する。
5) 「総務部」を общий отдел とも呼ぶ。

法律部	юридический отдел
貿易部	отдел внешней торговли
輸出部	экспортный отдел
海外調査部	отдел обследований внешних рынков
宣伝部	отдел рекламы / рекламный отдел
販売部	отдел сбыта
月販部	отдел продажи в рассрочку
販売開発部	отдел освоения новых рынков сбыта
販売助成部	отдел форсирования сбыта
生産部	производственный отдел
生産管理部、査業部	отдел производственного контроля
技術管理部	отдел технического контроля [1]
プラント部	отдел комплектного заводского оборудования
設計部	конструкторский отдел
資材部	отдел снабжения
工務部	промышленный отдел; отдел строительства; отдел ухода за оборудованием
施設部	отдел заводского строительства

[1] 略してOTK（オー・テー・カー）と言う。

生産技術部	отдел производственной технологии
研究部	научно-исследовательский отдел
開発部	отдел развития исследований
特許部	отдел патентов, патентный отдел
市場調査課 [1]	сектор обследований рынка
技術課	технический сектор
商品研究課	сектор товароведения
意匠課	сектор моделирования
考案課	сектор проектирования
指導課	сектор тренировки персонала
秘書課	секретариат
調査室	группа [2] обследований
社長室	канцелярия президента
企画室	группа планирования
海外事業室	группа заграничных операций
技能者養成所	центр повышения квалификации работников
工員養成所	школа профессионального обучения
販売所	торговая точка

[1] 上に列挙した「部」をただ単に「課」と入れ替えただけですむような「～課」の名称は省略する。
[2] 「～室」に相当するのは группа（班、グループ、団、陣の意）。なお「～室長」は通常 руководитель группы とされる。

科学管理委員会[1]	комитет контроля научных исследований
新製品委員会	комитет по новым видам продукции
企画本部[2]	центр планирования
部品事業部	отделение деталей
ＰＲ本部	центр общественных отношений[3]
海外事業部	отделение заграничных операций [зарубежных связей]
輸出事業部	экспортный центр

2. 景気・経営

国際収支の悪化	ухудшение состояния платёжного баланса
貿易外収支	невидимая торговля
金換算で［金本位で］	в золотом стандарте
金準備	золотой запас [резерв]
外貨借款	заём в иностранной валюте
外貨保有高	запас иностранной валюты
国際通貨・金融問題	международные валютно-финансовые проблемы

1) トップの委員会制度をもつ企業は少なくない。上に挙げたものの他に「品質管理委員会」комитет по контролю за качеством、「宣伝（広報）委員会」комитет по рекламе и информации などがよく普及している。
2) いわゆる事業部制（система децентрализованных отделений）を採用している企業には、「～本部（центр）」や「～事業部（отделение）」が置かれている。
3) ロシアでの通称は служба по связям с общественностью 。
これを単に паблик-рилейшнз と言っても通じる。略して ПР とも言う。

東京外国為替市場の混乱	сумятица на токийском валютном рынке
円高	рост курса иены по отношению к доллару
ドルの切り下げ	девальвация доллара
国際通貨基金［IMF］	Международный валютный фонд [МВФ]
新国際経済秩序の確立	установление нового международного экономического порядка
燃料エネルギー資源	топливно-энергетические ресурсы
生産物分与方式（PS方式）	система раздела продукции
フィージビリティー・スタディー（企業化調査）	технико-экономическое обоснование
資源の枯渇	«сырьевой голод»
高度に効率的なエネルギー源	высокоэффективные источники энергии
関税および貿易に関する一般協定［GATT］	Генеральное соглашение о тарифах и торговле [ГАТТ]
世界貿易機関［WTO］	Всемирная торговая организация [ВТО]
国連貿易開発会議［UNCTAD］	Конференция ООН по торговле и развитию [ЮНКТАД]
国連アジア太平洋経済社会委員会［ESCAP］	Экономическая и социальная комиссия ООН для Азии и Тихого океана [ЭСКАТО]

アジア太平洋経済協力会議［APEC］	Азиатско-Тихоокеанское экономическое сотрудничество[1] [АТЭС]
輸出(入)税	вывозная (ввозная) пошлина
輸出先	контрагент по экспорту
貿易政策	внешнеторговая политика
貿易の自由化	либерализация внешней торговли
ダンピング輸出	демпинговый [сбросовый] экспорт
輸出割戻金［奨励金］	вывозная премия
保護貿易［主義、策］	торговый протекционизм
国際分業	международное разделение труда
アウタルキー	автаркия
国民経済の均等発展	пропорциональное развитие народного хозяйства
「経済白書」	«Белая книга по экономике»
「国民所得白書」	«Белая книга по национальному доходу»
GDP［国内総生産］の実質成長率	реальные темпы роста ВВП [валового внутреннего продукта]
バブル経済	экономический подъём на волне спекулятивного бума на фондовом рынке; экономический бум второй половины 80-х годов
バブル経済の崩壊	экономический спад после падения цен фондового рынка

[1] 毎回の「会議」は Форум АТЭС と呼ばれる。

資産運用	управление портфелем финансовых активов
外貨建証券	ценная бумага с деноминацией в иностранной валюте
財テク	«искусство делать деньги путём финансовых операций»
金融ビッグバン	крупномасштабная реформа кредитно-финансовой системы Японии, получившая название «Большой взрыв»
規制緩和	упразднение огромного количества правил и регламентаций, (регулировавших деятельность банков и корпораций)
IT革命	ИТ-революция
デジタル化	цифровизация
バーコード	штриховое кодирование товара
オフィスのＯＡ化	оснащение офисов оргтехникой
ベンチャー・ビジネス	венчурный бизнес
投機熱	спекулятивная горячка
消費者物価の上昇	рост потребительских цен
卸売物価指数	индекс оптовых цен
購買力	покупательная способность
通信販売	посылочная торговля
消費控え	«отложение спроса»
商品のダブつき〔市場滞貨〕	затоваривание рынка

耐久消費物資の需要低下	снижение спроса на товары длительного пользования
スタグフレーション	«стагфляция»; сосуществование депрессии и инфляции
円のデノミ	деноминация иены
生産縮小	свёртывание производства
経済の落ち込み	экономический спад
ゼロ成長	«нулевой рост»
潜在的失業	потенциальная безработица
慢性的失業	хроническая безработица
市況	рыночная конъюнктура
景気の上昇（後退）	улучшение (спад) конъюнктуры
景気の刺激	«оживление» конъюнктуры
景気過熱	конъюнктурный перенакал [перегрев конъюнктуры]
法人	юридическое лицо; корпорация
自由競争	свободная конкуренция
独占禁止法	Акт о запрещении частной монополизации и поддержании справедливой торговли [антимонополистическое законодательство]
経済の二重構造	«двойственная структура» экономики
総合請負会社（機関）、ゼネコン	генеральный подрядчик
中小企業	средние и мелкие предприятия

下請け業者	субподрядчик
第三次産業	третичный сектор [третичные отрасли]
労務管理	контроль над персоналом
（企業内）労資関係	отношения между рабочими и администрацией
経営家父長制	«патерналистское управление» (фирмами и т.п.)
企業意識	«чувство принадлежности к компании» (напр. у рабочих)
定年	предельный возраст, диктующий необходимость ухода с работы [предельный возраст пребывания на работе]
退職金制	система выходных пособий
福利・厚生施設	культурно-бытовые учреждения
人事考課	оценка персонала
他社からスペシャリストを引き抜く	переманивать специалистов у других компаний
経営多角化	диверсификация управления
長期経営計画	перспективное планирование
長期利潤	долговременная прибыль
販売政策	сбытовая политика

3. 労働・職場

雇用問題	проблема занятости

雇用保障	гарантия [обеспечение] занятости
完全雇用	полная занятость
職業安定所	биржа труда
フリーター[1]	лицо, предпочитающее временное трудоустройство
日雇い労働（者）	подённая работа (подёнщик)
出稼ぎ〔季節〕労働者	сезонный рабочий
出稼ぎに出る	уйти на заработки в город
内職（家内業）者	надомник〔男〕、надомница〔女〕
低賃金労働者	низкооплачиваемый рабочий
（非）熟練労働者	(не)квалифицированный рабочий
ＯＬ	женщина-клерк; конторская служащая
キャリアウーマン	преуспевающая деловая женщина; женщина, сделавшая карьеру
女性パートタイマー	женщина, занятая неполный рабочий день; парттаймерша
臨時（非常勤）女性労働者	временная (внештатная) работница
出産休暇	декретный отпуск
病気休暇	отпуск по болезни
有給休暇	оплачиваемый отпуск

[1] 説明的に訳すとこうなる。フリーターとして雇われた者を指すなら лицо, принятое на временную работу あるいは временный рабочий, внештатный работник などの表現で実態を伝えるしかない —「РИАノーボスチ通信社」東京支局長イリヤシェンコ氏の訳語。

労働条件	условия труда
労働保護	охрана труда
安全設備	техника безопасности
労働災害	несчастный случай на производстве; производственная травма
職業病	профессиональное заболевание
労働生産性の向上	рост производительности труда
技術革新	технический прогресс
科学技術革命	научно-техническая революция [НТР]
生産の機械化と自動化	механизация и автоматизация производства
産業ロボット	промышленный робот
ロボット技術	робототехника
（生産）合理化	рационализация производства
労働強化	интенсификация труда
懲戒処分	дисциплинарное взыскание
行政処罰（分）	административное наказание (взыскание)
基本的人権	основные права человека
不当労働行為	действия, нарушающие права рабочих
セクハラ	сексуальное домогательство
過労死	смерть от переутомления на работе

働き中毒[1]	трудоголизм / трудоголик
フレックスタイム	скользящие и гибкие графики работы
労働法	кодекс законов о труде; трудовое законодательство
労働基準法	Закон о трудовых стандартах
男女雇用機会均等法	Закон о равных возможностях в сфере наёмного труда
労働基準局	Департамент трудовых стандартов
社会保障	социальное обеспечение
（国家、国営）社会保険	(государственное) социальное страхование
団体保険	коллективное страхование
身体障害者年金	пенсия по инвалидности
老齢年金	пенсия по старости
遺族年金	пенсия в связи со смертью кормильца
健康保険	страхование здоровья
介護保険	страхование на случай необходимости ухода по недееспособности
労働災害保険	страхование на случай производственного травматизма

[1] 仕事に熱中する程度の「仕事中毒」を意味するならработомания という表現がある。

失業保険（雇用保険）	страхование на случай безработицы
失業手当	пособие по безработице
無料医療	бесплатное медицинское обслуживание

4. 給与

実質（名目）賃金	реальная (номинальная) заработная плата
平均賃金	средняя заработная плата, средний заработок
最低賃金	минимальная заработная плата
賃金の最低保障	гарантированный минимум заработной платы
賃金の上限	потолок заработной платы
賃金凍結	замораживание заработной платы
ボーナス	премия, бонус, наградные, премиальные
退職金	выходное пособие
同一労働同一賃金	равная оплата за равный труд
被扶養者	иждивенец
年功序列型賃金制〔賃金体系〕	система заработной платы, определяемой в первую очередь в зависимости от продолжительности непрерывного стажа работы на данном предприятии[1]

[1] продолжительность непрерывного стажа работы на данном предприятии とは「当該企業での勤続期間」のことである。これは日本特有の勤続期間の↗

初任給	(перво)начальная заработная плата
基本給	базисная ставка, основной оклад
家族手当	семейная надбавка
時間外手当	надбавка за сверхурочные работы
僻地手当	надбавка за работу в отдалённых районах
住宅手当	надбавка на квартирную плату
職務手当	надбавка за служебную должность
通勤手当	надбавка за проезд от дома до места работы и обратно
役付手当	надбавка за ответственную служебную должность
精勤手当	надбавка за отсутствие прогулов и опозданий
職能給	основная заработная плата, определяемая в зависимости от способностей работников

考え方である。ちなみにロシアで стаж と言えばそれは一般に трудовой стаж、すなわち「社会に出て勤労生活を営んだ全期間の合計」を意味する。つまり、1人の労働者がこれまでにさまざまな企業（機関、組織）で何年かずつ働いてきたとすれば、それらの勤労年数をすべて加算したものが今日の彼の стаж（勤続期間）ということになる。

5. 資料テキスト「終身雇用」制の特徴[1]

Говорят, что решение проблем, связанных с персоналом[2], как бы венчает процесс модернизации управления. Какой бы совершенной ни была организационная структура, её эффективное функционирование в значительной степени зависит от людей, которые работают в её рамках. В особенности это относится к Японии, где общепринятой является шкала заработной платы, определяемой не по служебной должности, а по непрерывному стажу работы на данном предприятии[3], где персонал с момента поступления до выхода на пенсию неразрывно связан с развитием компании, что вызывает необходимость периодического составления планов рабочей силы.

В памяти у всех еще свежо указание американского учёного-специалиста по менеджменту[4] Дж. Эйбеглена о том, что именно система "пожизненного найма"[5] резко отличает управление японскими фирмами[6] от управления американскими и западноевропейскими. (...)

Менеджеры видят в системе "пожизненного найма" как сильные, так и слабые стороны[7]. К достоинствам можно отнести, во-первых, роль этой системы в повышении морали и усилении чувства преданности фирме[8] у персонала; во-вторых (и это связано с первым достоинством), возможность сохранения рабочей силы, несмотря на относительно низкую заработную плату; в-третьих, то

1) "Управление фирмами в Японии". Перевод с японского В.Б. Рамзеса. М., 1969, с. 303—305（邦文原題—「日本経営の解明」、1967年，東洋経済新報社編）より。

2) персонал は人員、職員の総体（集合名詞）を指す。

3)「年功序列型賃金体系」を説明している。

4) менеджмент「経営管理」。「経営(管理)者」は менеджер(ы)。

5) система "пожизненного найма"「終身雇用」制。

6) управление фирмами「企業経営」。

7) сильные стороны, достоинства は「長所」、слабые стороны, недостатки は「短所」のこと。21世紀を迎えた日本の企業は、ここで指摘される「終身雇用」制の「短所」を克服するのに躍起となっているようだ。ここで指摘された、かつての「長所」が、今では企業経営の足かせになった、という認識が深まっている点が興味深い。

8) усиление чувства преданности фирме「会社への忠誠心の強化」。

обстоятельство, что малая изменяемость численности занятых под влиянием конъюнктурных колебаний является средством обеспечения социальной устойчивости и сама по себе содействует стабилизации конъюнктуры. Недостатки системы "пожизненного найма" заключаются в том, что она, во-первых, лишает управление фирмами необходимой гибкости; во-вторых, делает невозможным быстрое привлечение способных работников; в-третьих, закрепляет за фирмой [1] неэффективную или ненужную рабочую силу и тем самым приводит к падению производительности труда на отдельных предприятиях и по отраслям [2] в целом; в-четвёртых, создаёт преимущества для проработавших длительное время слабых работников [3] и тем самым приводит к падению морали способных работников. Несмотря на все эти недостатки, в условиях нынешней Японии приходится волей-неволей продолжать использование системы "пожизненного найма" и планировать рационализацию управления с учётом этого факта.

Любопытно, что коэффициент "ухода с работы" [4] женщин-работниц высок и в Японии. При этом данный показатель обнаруживает тенденцию к росту [5]. (...) Однако в отличие от США этот факт указывает не на переход их из компании в компанию, а на другие причины: брак и т.д. Возможности работать для женщин ограничены весьма коротким сроком, и зачастую их производственный опыт связан с одной компанией.

---

1) закреплять что-л. за кем-л. は普通「確保する、保障する」の意味。ここでは、非能率、あるいは不用な労働力を企業に「定着させる」の意味で使われている。
2) отрасли промышленности「産業部門」のこと。
3) создаёт преимущества для проработавших длительное время слабых работников の部分は、日本語の原文では「非能率な人間を年功で待遇する」となっている。
4) коэффициент "ухода с работы"「退職率」
5) обнаруживает тенденцию к росту「強まる傾向にある」

Ⅲ. 説明・説得のための汎用数字表現

コミュニケーションに数字・データによる説明・説得は不可欠です。本来ならば小学校から高校までの数学をロシア語で学んでおくのが理想ですが、大方はなかなかそれが出来ないのが現実です。ここでは、これくらい知っていれば、かなりのことが表現できるはずであろう汎用表現を記しておきました。

その内の一部は **по сравнению с тем же периодом предыдущего года**（前年同期比で）や **по данным на декабрь 2001 года**（2001年12月時点のデータでは）などの言い方と組み合わせて表現練習をするとよいでしょう。

また、例えば **большинство** は、文法上は単数・複数のどちらとして扱うのか、など「数の文法」については補足の項を参考にして下さい。

いずれ数字データは常に古くなりますので、気づいたときに書き込んでいきましょう。以下では、表現法の学習を主眼として下さい。

1. 数量の表現

1）「～の数である」

составлять, насчитываться（数が主語）、насчитывать（数を有するものが主語）、иметь, достигать, равняться, равен, приходиться, занимать [1] ...

大企業は、全企業の3％<u>である</u>。	Крупные предприятия <u>составляют</u> 3% всех предприятий.
女性の平均寿命は84歳、男性は77歳<u>である</u>。	Средняя продолжительность жизни у женщин <u>составляет</u> 84 года, а у мужчин — 77 лет.

---

1) ロシア人はいろいろな動詞を使うから、こちらもある程度慣れておかなければならないが、日→露通訳としては、まず第一に、圧倒的に使用範囲が広く、頻度も高い составлять を使いこなせるようにする必要がある。与格要求の равняться などは、聞いて分かれば良いが、会話ではことさら積極的に使う必要はあるまい。

通関統計によると、1997年の日本の輸出は4208億9600万ドルであった。

По данным таможенной статистики, экспорт из Японии в 1997 году составил 420,896 млрд. долларов.

日本の石炭、褐炭の総埋蔵量は約300万トンである。

Общие запасы каменного и бурого угля в Японии составляют около 3 млн. тонн.

1997年に、日本には127の民間テレビ会社があった。

В 1997 году в Японии насчитывалось 127 коммерческих телевизионных компаний.

3つの労働組合ナショナルセンターは、合計840万名を有している。

Три общенациональных профсоюзных объединения насчитывают в общей сложности 8 млн. 400 тыс. человек.

琵琶湖は長さ63km、幅約20kmである。

Озеро Бива имеет[1] 63 км в длину, около 20 км в ширину.

東京の人口は1200万人である。

Население города Токио достигает 12 млн. человек.

1974年の電子機器輸出額は55億5千万ドルであった。

Объём экспорта электронного оборудования в 1974 году равнялся 5.550 млн. долларов.

猪苗代湖の面積は105平方kmである。

Поверхность озера Инавасиро равна 105 кв. км.

---

1) この文を составлять で言うなら、Длина озера Бива составляет... となる。составлять は、原則として、「広さ」「規模」「額」「数」等々の語を主語とする。前ページの例文では、それぞれ продолжительность, экспорт, запасы がこれにあたる。前ページ「大企業は…」で始まる例文にはそれはないが、この場合は「全企業の3％」とあるためにわざわざ「大企業の比重は」と言う必要がなく、「大企業」という主語で十分だ。

小売り流通量の5％が百貨店によるものである。

На универмаги приходится около 5% товарооборота розничной торговли.

日本において最も重要な燃料は石油であり、我が国で使用される燃料の51％である。

Самым важным видом топлива в Японии является нефть, которая составляет 51% потребляемого в стране горючего.

全面積のわずか13.4％しか農業に利用できず、しかもその41.4％は稲作用である。

Только 13,4% от общей площади земли может быть использовано в сельском хозяйстве, причём 41,4% из них занимают рисовые поля.

羊毛の買い付けに関し、日本はアメリカに次いで第2位である。

По закупкам шерсти Япония занимает второе место после США.

現在日本は、化学原料の先進的な生産国の一つである。

В настоящее время Япония входит в число ведущих стран мира по производству химического сырья.

2）「～の数になる」

日本の工業生産規模は戦前の水準の10倍以上となった。

По объёму промышленного производства Япония более чем в 10 раз превысила довоенный уровень.

こうして日本は世界の大工業国の一つとなった。

Таким образом, Япония превратилась в одну из крупнейших индустриальных стран мира.

1999年のロシアの対日輸入は半減し、総額4億8,070万ドルにまで落ち込んだ。

Импорт в Российскую Федерацию из Японии в 1999 году сократился вдвое до суммы 480,7 млн. долларов.

昨年消費物価は平均2％高くなった（上がった）。

В истекшем году потребительские цены выросли в среднем на 2%.

最近10年間にわが国の輸出量は平均年12.3％ずつ多くなった（拡大した）。

За последние десять лет объём экспорта нашей страны увеличивался в среднем на 12,3% в год.

中国の経済学者たちの計算によると、2010年ごろに同国に必要となる石油輸入量は9000万トンにまで増大し、それは国内の予測採掘量のほぼ半分に相当することになる。

По подсчётам китайских экономистов, к 2010 году объём необходимой стране импортной нефти возрастёт до 90 млн. тонн, что будет равняться почти половине прогнозируемого объёма добычи в КНР.

1975年度の日本の国家予算の赤字は、税収入の減少のために巨大な額――約4兆円となった（に達した）。

Дефицит государственного бюджета Японии на 1975/76 [1] год вследствие сокращения налоговых поступлений достиг огромной суммы — около 4 трлн. иен.

来年度に経済援助額は国民総生産の0.22％、すなわち93億5800万ドルとなるだろう。

В будущем финансовом году [2] объём экономической помощи составит 0,22% валовой продукции страны, или будет равен 9 млрд. 358 млн. долларов.

1) 日本の会計年度は4月に始まるので、厳密にはこのような表現になる。
2) финансовый год は「会計年度」。фискальный год とも言う。

3）定語となる場合

最も広く用いられるのは、（名詞）＋（「長さ」「容積」「強さ」等々の語の造格）＋в＋（数字の対格）の組み合わせだが、в＋（数字の対格）の代わりに、ただ数字の主格が用いられることもある[1]。

гора высотой в 1000 *м* (высотой 1000 м)

北海道の中央に高さ海抜2290mの旭岳がそびえている。

В центре о. Хоккайдо возвышается гора Асахи высотой в 2290 *м* над уровнем моря.

ロシアは鉱物資源に富んでおり、その潜在的価値は2000年末現在の世界価格で28兆6,000億ドルと評価されている。

Россия богата полезными ископаемыми. Их потенциальная стоимость в мировых ценах по состоянию на конец 2000 года определена в 28,6 триллиона долларов.

のぞみ号は515kmの距離を平均時速205km以上の速さで、2時間30分で走る。

Экспресс «Нодзоми» преодолевает расстояние в 515 *км* за 2 ч. 30 м. со средней скоростью более 205 *км* в час.

新潟市は東京の北、新幹線で2時間以内の所にある。

Город Ниигата расположен менее чем в двух часах езды на сверхскоростном поезде к северу от Токио.

1969年に東京と名古屋を結ぶ長さ346.7kmの東名高速道路が開通した。

В 1969 году по автостраде «Томэй» протяжённостью 346,7 *км*, которая соединяет Токио с городом Нагоя, было открыто движение.

1) 比較的最近の現象で、特に日常生活や専門家同士の口語表現では頻度が高い。どちらも正しい用法と認められている。後半の「数に関する文法・表現の補足整理」参照。

1975年4月現在、東京には総延長163.2km、8路線の地下鉄があった。	В апреле 1975 года в Токио было 8 линий метрополитена общей протяжённостью 163,2 *км*.
1975年に、日本の一造船会社は、排水量48万3377トン、長さ379m、幅62mの、世界最大の船を建造した。	В 1975 году одна из судостроительных компаний Японии построила самое большое в мире судно водоизмещением 483.377 тонн, имеющее 379 *м* в длину и 62 *м* в ширину.
1972年に新大阪から岡山までの161kmの支線が開通した。	В 1972 году была открыта 161-километровая ветка от Син-Осака до Окаяма.
日本では毎年合計15億7千万冊以上の本が印刷され、1880億円の売り上げを出している。	Всего в Японии ежегодно печатается свыше 1 млрд. 570 млн. книг, а продаётся книг каждый год на сумму 188 млрд. иен.

4）大きい数と小さい数

多くの人が苦手とするものに、百万、億などの大きな数と、分数、小数があります。大きな数に関しては、よくよく考えると、さほど複雑なことはありません。ただ、千、万、百万などの区切り方が、日本語では4桁、ロシア語では3桁と食い違っているだけです。とは言え、これを克服するには、是非とも一定量のトレーニングを積まねばなりません。

数字は間違えてはいけないのでメモを取りますが、その際、初心者は必ず原発言の方法を使い（つまりロシア語で言われたらロシア語ふうに）その時点では、言い換えを考えないことです。

двести сорок три ときたら、ともかく243と書いてしまい、そのあとに **миллиона** ときたらコンマを打って先を続け、そして訳出の際に、少し時間がかかっても日本語ふうに2億4300万、とする。逆に日本語の時には、出てくる順に数字を書きつらねておき、訳出の際に3桁ごとにコンマを打って、それぞれ **миллион, тысяча** を対応させればよいのです。

それでも数字が苦手だという人は、まず1000までの数字、その後で大きな数字の聞き取りに時間を割くとよいでしょう。

一方、分数、小数は確かに複雑です。ロシア語の分数表現方法の根本の理屈をしっかり理解しておく必要がありましょう。

① 分数　「何分の1」という数を、ロシア語では **доля (часть) единицы**（1単位の部分）という語に順序数詞を付けて表す。例えば5分の1は正式には、**одна пятая доля единицы** となる。これを普通、**одна пятая** と言う（**доля единицы** は省略される）。同様に5分の2なら、**две пятых** となる。

分子が2以上の時、分母である順序数詞は複数生格となる（順序数詞は名詞ではなく、形容詞だから）。なお、1/2、1/3、1/4に関しては、分数よりも、同じ意味の名詞のほうがよく用いられる。

帯分数の整数の部分には **целая** を補う。（想定されている名詞が **единица** なので女性形）したがって1は **одна**、2は **две (целых)**。

	数字の読み方	通常使用されるもの（名詞）
1/2	одна вторая	половина
1/3	одна третья [1]	(одна) треть
2/3	две третьих	две трети
1/4	одна четвёртая	(одна) четверть
3/4	три четвёртых	три четверти
1/6	одна шестая	
5/8	пять восьмых	
7/12	семь двенадцатых	
1 7/9	одна целая семь девятых (одна и семь девятых) [2]	
2 3/7	две целых три седьмых (две и три седьмых)	
9 4/5	девять целых четыре пятых (девять и четыре пятых)	

---

[1] 分子が1の分数では、**одна** を省いて、**часть** を入れた形を用いることが多い。**1/3 третья часть (доля), 1/6 шестая часть, 1/10 десятая часть**。

[2] **целая** という語を出さず、整数と分数の間に **и** が入ると、整数（1と2）は女性形とは限らず、後にくる名詞に従って男性、中性にもなり得る。

1 2/3メートル　**одна целая, две третьих метра ／ один и две третьих метра**

②小数　ロシア語には、言い方に関する限り、小数は存在しない。つまり、小数も0.1は1/10、0.2は2/10、0.03は3/100のように、分数として扱うから、上述した分数と同じ言い方になる。小数点前の0を省略しない場合、ноль（нуль）は целая（единица）の複数生格 целых（единиц は省略）を要求する。なお、ロシア語では、小数点はコンマで表記し、大きな数を3桁ずつに区切る時に用いられるのがピリオドであることに注意。

0,1	(ноль целых),	одна десятая
0,5	-〃-	пять десятых
0,01	-〃-	одна сотая
0,03	-〃-	три сотых
0,28	-〃-	двадцать восемь сотых
1,4	одна целая, четыре десятых	
6,0	шесть и ноль десятых	
15,49	пятнадцать и сорок девять сотых	

ところで、ロシア人が数字を発音する場合、通常はかなり早口となる。小数の混ざる数字は、発音上時に整数とまぎらわしくなるから、細心の注意が必要である。例えば шесть десятых と шестьдесят は、気をつけないと混同するおそれがある。

③分数、小数の格変化；名詞、形容詞との関係　分数（小数）が文中で格変化をする場合は、分子、分母ともそれぞれ変化する。共に用いられている名詞（単位）、形容詞などはその変化に影響されず、常に生格。従って、例えば3/10（0.3）メートルの与格は、трём десятым метра となる。

名詞、形容詞（いずれも生格）が単数、複数のいずれになるかは、その名詞の意味による。すなわち、単数生格となるのは、

1個の事物の部分を言う場合	три пятых широкой комнаты
物質名詞、集合名詞	две седьмых воды
メートル、グラムなどの単位	четыре десятых секунды

であり、複数生格となるのは、

全体が複数で表されるものの部分を言う場合、	пять восьмых наших студентов
また、まれに、単数形のない名詞	две пятых суток

である。帯分数（または整数のある小数）では、従って、まずほとんどが単数のはずである。

述語は通常の数詞の場合と同様に考える。つまり、主語を構成する分数の分子が1なら、одна だから当然、述語も女性単数となり、それ以外なら中性単数が原則。ただし、複数となることもある。

Две трети этой дороги уже открыто для движения.
15,3 процента всех сельских хозяйств не имело самоходных сельскохозяйственных машин.
По общенациональному избирательному округу за Демократическую партию голосовали всего 35,8 процента избирателей.

♥ 分数の変化パターンのまとめ

主　格	одна пятая	две пятых	пять пятых
生　格	одной пятой	двух пятых	пяти пятых
与　格	одной пятой	двум пятым	пяти пятым
対　格	одну пятую	две пятых	пять пятых
造　格	одной пятой	двумя пятыми	пятью пятыми
前置格	об одной пятой	о двух пятых	о пяти пятых

5）率、割合

数量に関連した話の際、日本語では、「率」、「割合」、「パーセンテージ」という語がよく使われる。これらは一応、доля, удельный вес などに当たるが、むしろ多くの場合、ロシア語ではまったく別の言い方になるために、直接対応する語は必要ではない、と考えた方がよいのではないだろうか。特に「普及率、保有率、成功率、視聴率…」などの語は、“直訳”しようとするより、意味を解きほぐすことに努めるべきだろう。коэффициент は、

話し言葉ではあまり使われる単語ではないから乱用は避けたほうがよい。また、рождаемость（出生率）、посещаемость（出席率）、прирост（増加率）のように、一語で片付くものもある。

全工業生産物のうち、中小企業によるものが占める割合は2/5である。

Доля продукции мелких и средних предприятий составляет 2/5 всей промышленной продукции.

国連の専門家は、2001年および2002年のロシアの経済成長率は増大し、1999年が3.2％だったのに比して4％になるだろうと見ている。

Эксперты ООН считают, что темпы экономического роста в России увеличатся в 2001—2002 годах и составят 4% по сравнению с 3,2% в 1999 году.

1970年に工業と運輸の占める率は、GNPの約47％であった。

К 1970 году в Японии на долю промышленности и транспорта приходилось около 47% всего ВНП[1].

1980年には、既に日本製テレビがアメリカ市場の65％を占めていたが、1984年にその割合（比重）は44％にまで低下した。

Ещё в 1980 году японские телевизоры занимали 65% всего американского рынка, однако в 1984 году их удельный вес упал до 44%.

選挙を重ねるごとに、この党の得票率は低下した。

От выборов к выборам падает процент избирателей[2], голосующих за эту партию.

この年の人口増加率は、前年の0.4％であった。

Прирост населения в этом году составил 0,4% по сравнению с предыдущим годом.

[1] ВНП = валовой национальный продукт「国民総生産」。
[2] これを見ると、日本語の「〜率」と同じように процент を使っていいような感じだが、процент を使うことはそれほど多くないし、процент избирателей を取り出してみても、「支持率」のような明確な意味を持った語になるわけではない。

日本では車の保有率は2世帯に1台である。

Каждая вторая японская семья имеет автомашину.

この手術の成功率は今のところ80％である。

Сейчас только 80% этих операций проходит успешно.

日本において最も重要な燃料は石油であり、我が国で使用される燃料の51％の比重[1]を占めている。

Самым важным видом топлива в Японии является нефть, которая составляет 51% потребляемого в стране горючего.

6）比較

1999年の粗鋼生産は、1974年の1億1710万トンに比べ、9420万トンに落ちた。

Выплавка стали в 1999 году упала до 94,2 млн. тонн по сравнению со 117,1 млн. тонн в 1974 году.

日本の通関統計によれば、1999年のロ日貿易額は前年比で9.7％伸びて、42億3,670万ドルとなった（1998年は38億4,600万ドル）。

По данным японской таможенной статистки, внешнеторговый оборот российско-японской торговли в 1999 году увеличился на 9,7% по сравнению с предыдущим годом и составил 4.236,7 млн. долларов (в 1998 году — 3.846 млн. долл.).

今年7月の加工工業生産高は、2000年同月の水準を11.2％下回るものであった。

В июле текущего года объём производства в обрабатывающей промышленности был на 11,2% ниже уровня соответствующего месяца 2000 года.

[1] удельный вес「比重」という言葉を使っての作文も可能だ（её удельный вес составляет 51%...）が、何パーセントかを表すことで相対的な比重についての情報が伝わるのなら、ことさら用いる必要はない。

今年上半期に中国は日本に275万トンの石油を輸出したが、これは昨年同時期よりも20％少ない。

За первое полугодие нынешнего года Китай поставил в Японию 2.750 тыс. тонн нефти — на 20% меньше, чем за тот же период в прошлом году.

中国の液化天然ガス生産は、予測では、2005年には需要2000万トンに対し、900万トンにしかならない。

Производство в Китае сжиженного природного газа, по прогнозам, в 2005 году составит лишь 9 млн. тонн при потребности 20 млн.

1949—1969年における年平均の工業の伸び率は、ドイツ連邦（西独）の10％に対して日本では15.8％であった。

Среднегодовые темпы промышленного роста в Японии в 1949—1969 гг. составили 15,8% против 10% в ФРГ.

1960年の農家の収入を100とすれば、1974年のそれは、719であった。

Если принять доход сельской семьи в 1960 году за 100 единиц, то в 1974 году он составил 719.

7）数量をめぐるその他の表現若干

1999年の自動車生産量は990万台で、その内810万台が乗用車であった。

Выпуск автомобилей в 1999 году составил 9,9 млн., в том числе 8,1 млн. легковых машин.

われわれのアンケートに回答をよせた50社のうち[1] 39社が定期的に企業予算を編成している。

Из 50 фирм, приславших ответы на вопросы нашей анкеты, 39 регулярно занимаются составлением бюджетов.

1)「～のうちいくつ」の言い方に慣れておきたい。「調査対象となった69の」という日本語をきいて из 69 обследованных は出てこないだろう。ロシア語のほうを先に見るとすぐ意味がわかってしまうので、あまり注意をはらわないものだが、逆に日本語からはこのような端的な表現は思い浮かばないものであるから、ロシア語の表現を見る時には、いつも逆に日本語からアプローチするつもりになることが必要。

調査対象となった69の東京湾各地区のうち20地区で、生物の形跡が発見されなかった。

В 20 из 69 обследованных участков Токийской бухты не обнаружено признаков жизни.

調査対象となった80社の平均従業員数は1万人である。

В среднем на каждую из 80 обследованных компаний приходится 10 тысяч работников.

鉄道と自動車輸送の比率はそれぞれ40％と35％である。

На долю перевозок по железным дорогам и автотранспортом приходится соответственно 40% и 35%.

国民1人当たりのGDPで日本は世界で第2位である。

По ВВП[1] на душу населения Япония занимает 2-е место в мире.

賃金を凍結するか、増大を少なくとも1％以下の枠内におさえるべきだ、と経団連会長は考えている。

Президент Федерации экономических организаций считает, что заработная плата должна быть заморожена или в крайнем случае увеличена в пределах ниже 1%.

文部省が行った100の小学校に対する調査の結果は第20表に出ている[2]。

Результаты обследования 100 начальных школ, проведённого министерством просвещения, показаны в таблице 20.

第3表を見れば、企業においていかに賃金問題が重視されているか、すぐに理解できよう。

Если обратиться к данным таблицы 3, то можно сразу понять, с каким глубоким вниманием относятся в фирмах к проблемам заработной платы.

1) ВВП = валовой внутренний продукт「国内総生産」。
2) 交渉でも会議でもセミナーでも、数字が問題になる時には、資料を配布して、それにしたがって議論を進めることが多い。また、そうではなくても、数字を出す際には、その根拠を示すことが多い。以下、それに関連した表現。何でもないようだが、意識しておかないとスラスラとは出ない。

このデータから十分理解できることは、日本の重役は概してあまり株を持っていないので、資本家というよりむしろサラリーマンであるということである。

Из этих данных с достаточной очевидностью следует, что в Японии число акций, находящихся в руках высших администраторов, в общем невелико, и они скорее являются служащими, чем капиталистами.

組閣直後の2000年4月時点に朝日新聞が行った世論調査によると、内閣支持率は41%であったが、同年5月末には19%となった。

По данным опросов[1], проведённых газетой «Асахи» в апреле 2000 года, сразу же после сформирования кабинета, его поддержали 41% опрошенных, а в конце мая того же года — 19 %.

朝日新聞が2000年12月13日に発表した世論調査によると、首相への支持率は、5月始めには40%を超えていたのに対して、18%と、瀬戸際の水準にまで低落した。

Согласно опросу общественного мнения, опубликованному 13 декабря 2000 года газетой «Асахи», уровень доверия к премьер-министру, упал до критического уровня в 18 процентов, тогда как к началу мая этот показатель превышал 40 процентов.

最新の算定によると、日本のインターネット接続人口は総人口のおよそ4分の1で、2005年にはこの割合は5分の3にまで伸びる。

По последним оценкам, примерно четверть всех японцев сейчас подключены к Интернету, и к концу 2005 года эта доля возрастёт до трёх пятых.

[1] Согласно данным опросов でもよい。また、Как показали проводившиеся газетой «Асахи» опросы общественного мнения, と言うこともある。

2. 数に関する文法・表現の補足整理[1]

♥ ロシア語の数字がらみの «раз» に要注意！

увеличить в три раза объём продукции は「生産量を3倍にする（増やす）」と機械的に訳せば済む。しかし、「減らす」などの表現と раз との組み合わせにはくれぐれも注意。例えば、меньше в 10 раз と言われれば、日本語に訳すなら「10分の1である（ほどに少ない）」と訳さねばならない。普通、「10倍少ない」という表現はしないからだ。同じように、уменьшать / сокращать в пять раз と言われれば、即座に「5分の1にする」（5分の1までに縮小する／削減する）と、「倍」の数字を「分母」に持っていかなければ不自然な日本語の表現になる。とりあえずは「12.4分の1」ないしは「124分の10」という理不尽とも思われる数字を伝えて、専門家の後の判断に委ねるような場面に遭遇することがあるが、このような場合に備えて、機械的な言い換え・操作のコツを心得ておくとよい。

♥ Большинство студентов хорошо сдал.. все экзамены. という文章の.. の部分は о か и か？

実は、両方とも正しい。большинство の文法上の性は中性だから сдало となる。一方、意味上の主語は複数だから сдали としても正しい用法とされる。以下、用法を整理しておこう。

(1) Большинство поддержало председателя.

このように большинство が独立して主語となる場合（後ろに кого-чего が付かないとき）は、述語は単数形で用いられる。

(2) Большинство населения города поддержало предложение мэра.

主語 большинство が集合名詞の単数生格形を伴う場合（населения）

[1] 数に関する文法の一部は以下の文献に記述があるものの、いずれも外国人向けに書かれたものではないので、日本人にとっては不十分である。今後に期待したい。
Шелякин М.А. Справочник по русской грамматике. М., 1993.
Розенталь Д.Э. А как лучше сказать? М., 1988.
Кохтев Н.Н., Розенталь Д.Э. Популярная стилистика русского языка. М., 1984.

も、述語は単数形になる。

(3) Большинство студентов справилось / справились с трудным заданием.

主語 большинство が複数生格形の言葉を伴う場合（студентов）は、述語は単数形あるいは複数形のいずれの形でも用いられる。ただし、最近では意味上の複数扱いが優先視されている—

Большинство этих слов теперь вошли в систему литературного языка.

さらに、主語と述語の間に二次的成分や従属節などが加わっている場合（すなわち主語と述語が離れている時）は、述語は複数形が好ましい—

Большинство лиц, которые давно уже знали молодого человека, хорошо отзывались о нём.

* большинство が活動体複数形（кого-либо）を伴う場合、積極的な動作を意味する述語は複数形で用いられる場合が多い—

Большинство студентов приняли участие в туристском походе.

不活動体複数形（чего-либо）を伴う時は、文法上の性と数に従い、単数形で用いられる—

Большинство этих книг издано недавно.

この規則は数詞や несколько が主語の場合にも適用される—

— Шесть выпускников нашей школы получили медали.
— Шесть новых школ построено за этот год в нашем городе.
— Несколько детей вошли в комнату.
— Несколько книг лежало на полу.

ただし、活動体複数形を伴う主語が消極的な状態にあることを意味する場合の述語は単数形になる—

Несколько человек умерло от ран.

*数詞が主語の場合、述語が単数形か複数形かで意味が変わる場合がある。以下の2つの例を比較してみよう。

— Пять солдат отправилось в разведку.（5人の兵士はグループで同じ場所に偵察に出かけた。）

— Пять солдат отправились в разведку.（5人の兵士はそれぞれの任務を持って別々の場所に偵察に出かけた。）

♥ Жена с мужем пошл.. в кино. という文章の.. の部分は и か а か？

まず、Муж с женой пошли в кино. という表現は正しい。これは Муж и жена пошли と同じ表現だからだ。ところが、жена с мужем となると別問題。実はロシア語ではこういう場合には、列挙の順番は通常 брат с сестрой, отец с матерью, дед с бабкой のように、男性名詞が先に来る。（さらに文法上、男性名詞のほうが強い— Мальчик и девочка шли по улице. Оба они.. のように文法上、両者は男性扱いになる。だから Обе они とはならない。）

ここでわざわざ муж と жена の組み合わせを入れ替えると、動作の主体を強調する表現になる。Мать с ребёнком пошла в консультацию. の文でわかるように、動作の主体は мать であり、従って述語は пошла となる。これに準じて、Жена с мужем пошла в кино. とするのが自然とされる。

♥ две больш.. комнаты という表現の.. の部分は их か ие か？

Две больших комнаты という用法も正しいが、現代では две большие комнаты という用法がまさっている。以下の例を参照—

– два (три, четыре) больших дома
– два (три, четыре) больших окна
– две (три, четыре) большие комнаты

ただし要注意。女性名詞の単数生格形では力点が語末にくるが（гора—горы, сестра—сестры）、複数主格形では力点が語幹にある場合（горы, сёстры）、形容詞は複数生格形が用いられる—

две (три, четыре) высоких горы, младших сестры

♥ Я владею русским и английским язык..という文章の.. の部分は ом か ами か？

解答の前に、まず次の規則を理解しておこう。

(1) 単数形は事物の内面的な関連、事物の意味的あるいは用語上の近さを強調する—

в правой и левой руке, глаголы совершенного и несовершенного вида, существительные мужского и женского рода, оперное и балетное искусство, учащиеся среднего и старшего школьного возраста, промышленный и аграрный переворот, рабочие первой и второй смены, у моего и твоего отца, в том и другом случае, у той и этой комнаты；

(2) 複数形は事物がいくつかあることを強調する―

биологический и химический методы, японская и немецкая комнаты, золотая и серебряная медали, соляная и серная кислоты, токарный и фрезерный станки, широкоэкранный и обычный варианты кинофильма, академическое и массовое издания книги, Орловская и Курская области и т.п.

以上の規則からすると、Я владею русским и английским языками. となる。

♥ Я давно не видел моих брата и сестру. という言い方は正しいか？

ロシア人は「これはロシア語ではない」と言う。正しい言い方は моего брата и сестру である。

у моего брата и сестры などの用法の規則を整理すると―もし定語が、最も近い名詞だけでなくその後の名詞にもかかるなら、定語（修飾語）は単数形で用いられる―

летний жар и зной, морской прилив и отлив, уличный шум и грохот, школьная успеваемость и дисциплина, наша наука и техника, каждый завод и фабрика; написать свой адрес, фамилию, имя, отчество

一方、定語が最も近い名詞だけにかかっているのか、その後の名詞にもかかっているのかが不明確になりがちなら、定語を複数形にしなければならない―

способные ученик и ученица, нарезанные зелень и мясо, коричневые шкаф и стол, талантливо исполненные пьеса для виолончели и концерт для скрипки с оркестром

＊契約書に построить каменный дом и гараж と書かれてあった場合、家は石造りだがガレージは木造になっても文句は言えない。両方共に石造りにしたいのなら必ず каменные дом и гараж としなければならない。

♥ 「列席者は全員脱帽した」という文章を、обнажить голову という言い回しで露訳する時、голова は単数形、複数形のどちらか？

正解は、Все присутствующие обнажили голову. と、単数形を用いる。同じものがグループ内のそれぞれに所属する時は、単数形が複数の意味で用いられる ―

– Все повернули голову.
– Повелено брить им бороду.
– Изучается форма уха, носа, глаз.（формы ではない。）
– У моих и твоих часов сломалась пружина.（пружины ではない。それぞれの時計の同一部品が話題になっているので単数形。）
– Какое горе лежало на сердце чужих людей!（ただし、葬式でのお悔やみの表現で用いる「各人、全員の心の中に」と言うような雅語慣用表現では、Светлая память о тебе вечно останется в наших сердцах. のように сердце を複数形で用いることもある。）
– Пять воинов были награждены орденом Славы 1 степени.（орденами ではない。）
– Девушки закрыли лицо передником.（лица передниками ではない。各々に лицо も передник もあることを踏まえた表現だ。）
– Ребята ковыряли вилкой остывшую картошку.（вилками ではない。）

♥ В центре о.Хоккайдо возвышается гора Асахи высотой в 2290 м над уровнем моря. という表現に見られるように、высотой в ... という数字表現が以前は標準だったが、最近では、簡素化のために前置詞 в を省いた用法が普及している ― высотой 2290 м. 以下の例参照―

длиной десять километров, шириной три метра, на высоте 1500 метров, ценой четыре рубля, стоимостью пятнадцать копеек, ростом 170 сантиметров, водоизмещением 30 тонн, весом два килограмма, на расстоянии 450 километров, тиражом 50 тысяч экземпляров, со скоростью 60 километров в час и т.д.

♥ 数詞と名詞の結合ヴァリエーションの整理

(1) один で終わる合成数詞では、単位となる名詞は単数形—
двадцать один ученик, сорок одна книга и т.п.

(2) человек の複数形は люди だが、数詞との組み合わせによっては複数でも человек が用いられる—
у пяти человек, дать пяти человекам, встретить пять человек, познакомиться с пятью человеками, речь шла о пяти человеках.
しかし、定語がある時は люди を用いることもできる—
пять незнакомых людей, трое взрослых людей и т.п.

(3) пять, шесть およびそれ以上の数詞との結合では、主格・対格と生格では лет が用いられる—
прошло пять лет, не достиг семи лет и т.п.
しかし、それ以外の格では год の変化形が用いられる —
к пяти годам, старше семью годами. Вспоминали о последних десяти годах. и т.п.

(4) 不定個数詞 несколько, сколько, столько は、活動体名詞との組み合わせで、対格形で用いられる時には 2 通りの形がある—
встретить нескольких друзей / встретить несколько друзей
обучать стольких же учеников / обучать столько же учеников
—最近ではいずれも後者の用法が一般的となっている。

(5) 活動体名詞と два, три, четыре で終わる合成数詞の対格形も 2 通りの言い方がある—
принять двадцать два студента / принять двадцать двух студентов
前者は文語体の表現で、後者は会話体の表現。

(6) два, три, четыре の時、通常、述語は複数形を用いる—
Три книги лежали на столе.

(7) 合成数詞が один で終わる場合、述語は単数形になる—
Двадцать один студент сдавал экзамен.

(8) 主語部に лет, месяцев, дней, часов и т.д. がある時、通常、述語は単数形になる—
Прошло десять лет. Прошло два месяца.

♥ 同種（однородные）主語と述語の呼応関係の整理

(1) 接続詞でつないでない、あるいは接続詞 и でつないだ単数の同種主語の後に述語がくる時、その述語は通常、複数形をとる。だが、述語が単数の同種主語に先行する時は、その述語は単数形で用いられる。以下の例文を比較すると分かりやすいだろう—
Книга и тетрадь лежали на столе. / В лесу была тишина и прохлада.

(2) 単数の同種主語の間に分離接続詞（или；то ... то ...）があるとき、述語は、通常、単数形となる—
– Мальчику помогал отец или старший брат.
– То одно, то другое отвлекало нас от работы.

(3) 単数の同種主語の間に反意接続詞（а, но）がある時、述語は、通常、単数形となる—
Роман, а не повесть будет опубликован в журнале.

(4) 単数の同種主語の間に対比接続詞がある時は、以下の呼応関係が用いられる。

(a) как ... так и ...（繰り返しの接続詞 и ... и... に近い意味で用いられる接続詞）の場合、述語は複数形になる—
Как наука, так и искусство обогащают духовный мир человека.

(b) 接続詞 не только ... , но и ...；не столько ... , сколько... が使われる時、述語は最も近い名詞と数・性において一致する—
Не только лето, но и зима богата красками природы.

♥ до 1 октября 2002 года とは、いつ「まで」のことか？

時を表す「до＋生格」と「по＋対格」の用法の違いに気をつけよう。「до＋生格」で日付を表すとき、示された日付は含まれない。つまり、Я буду в отпуске до 1 октября. と言えば、日本語では「私は9月30日まで休暇です。」となる。日本語の「まで」は基準点となる日を含むからだ。出入国ビザに до 1 октября と記載されていたら、そのビザの期限は確実に9月30日を含む日まで有効で、10月1日には期限切れで無効となる。

従って、もし「私は10月1日まで休暇です」と言いたいなら、Я буду в отпуске по 1 октября. と、基準点となる数を含む「по＋対格」で表現

する。

＊1985年4月9日、当時のソ連が、核軍縮に関する新提案を行った。「本日から中距離核ミサイルの配備凍結を実施する」と声明し、この凍結（мораторий）の実施期間については “Срок действия моратория — до ноября текущего года.” と発表した。

これを日本の各新聞は、「11月まで凍結」と報じたが、当然11月は含まれないので、文法上、少なくとも「10月まで」とすべきだったが、ノーボスチ通信社（АПН）東京支局は、さらに正確に「凍結の実施期間は本年10月いっぱいとする。」という和訳文を配布した。

♥ 「以上、以下」について

Не разрешается продажа спиртных напитков лицам, не достигшим 21 года. というのを、ある日本の新聞は、「21歳以下の若者にアルコール類を売るのを禁止する」と訳して報じた。誤訳だ。ロシア語の原文は「21歳未満」を意味し、つまり「20歳以下の若者」へのアルコール類の販売を禁じているのである。

日本語の「～未満」は、基準の数値に達しないことを表す。したがってその数値は含まれない。「～以内」、「～以下」という時は、いずれも、基準の数値を含めて、それより小さい数値を表す。

旧ソ連の憲法に、Гражданин СССР не может, как правило, быть избран более чем в два Совета народных депутатов. という項目があったが、このболее чемというのは「基準点となる数値を含まない」ので、「～以上」という日本語の表現を用いて訳すなら、「ソ連邦市民は、原則として3つ以上の人民代議員ソビエトに選出されえない」とするしかない。一方、два を生かして訳すときは、「2つを超える人民代議員ソビエトに」という表現を使う方法もある。

♥ 数詞の格変化を回避する若干のずるい表現法 «Речевые хитрости»

数詞を主格（場合によれば対格）で用いて、「何がどうした」という文章をつくれば、数詞固有の複雑な格変化が回避できる。ネイティブのロシア人でさえ、皆が皆、数詞を正しく斜格変化させることが出来るわけではない。訓練を受けたプロのアナウンサーでも、数詞の格変化でつまずくこともある。だから、オデッサ国立大学の И. П. Бондаренко 教授（言語学博士）は、ロシア語通訳協会関西支部での2000年7月の公開学習会の席上、そのような複雑な格変化を回避するには、ロシア人も用いる «речевые хитрости» を真似るとよいとして、以下の例を示してくれた。

(1) 生格を回避する

Мне не хватало пятисот шестидесяти семи рублей.
→У меня на пятьсот шестьдесят семь рублей было (оказалось) меньше.
У вас не найдётся (нет) семидесяти пяти копеек?
→У вас найдётся (есть) семьдесят пять копеек?
Не прошло и трёх часов, как он вернулся.
→И три часа не прошло, как он вернулся.

(2) 与格を回避する

Преподаватель задал это домашнее задание двумстам семидесяти семи студентам.
→Это домашнее задание получили от преподавателя двести семьдесят семь студентов.
К двумстам пятидесяти рублям сына я добавил ещё столько же.
→У сына было двести пятьдесят рублей. И я дал ему столько же.

(3) 造格を回避する

Три профессора с пятьюстами девяноста четырьмя студентами уехали в Архангельск.
→Три профессора и пятьсот девяноста четыре студента уехали в Архангельск.

(4) 前置格を回避する

Он часто вспоминал об этих двадцати пяти чудесных днях, проведённых в горах.
→Он часто вспоминал эти чудесные двадцать пять дней, проведённые в горах.

♥ とは言え、少なくとも基本的な数字表現の読み方は練習しましょう。

(1) В царской России свыше 70% (*семидесяти процентов*) населения было неграмотным. Из 100 (*ста*) народов СССР 43 были бесписьменными и получили письменность только после 1917 (*тысяча девятьсот семнадцатого*) года. Свыше 100 (*ста*) больших и малых народностей проживает в Российской Федерации. Книги в Российской Федерации издаются на 145 (*ста сорока пяти*) языках. Число массовых библиотек в стране превышает 131 (*сто тридцать одну*) тысячу. Каждый читатель в среднем пользуется 20 (*двадцатью*) книгами в год.

(2) Здания Ленинской библиотеки занимают ныне целый квартал, площадь которого около 70 (*семидесяти*) тыс. (*тысяч*) кв. (*квадратных*) м. (*метров*). Основное книгохранилище занимает целый корпус в 19 (*девятнадцать*) этажей-ярусов. Около 3,5 (*трёх с половиной*) тыс. (*тысяч*) сотрудников числится в настоящее время в штате Ленинской библиотеки [1].

(3) Библиотека Академии наук ведёт своё начало от первой Государственной библиотеки, открытой в 1714 (*тысяча семьсот четырнадцатом*) году Петром I в Петербурге. Государственная библиотека имени М. Е. Салтыкова-Щедрина открыта 14/I- 1814 г. (*четырнадцатого января тысяча восемьсот четырнадцатого года*). Первая Московская публичная библиотека ведёт своё начало с 1862 (*тысяча восемьсот шестьдесят второго*) года [2].

(4) Свидетельством того, что книга является одним из величайших средств развития культуры и науки, служат такие красноречивые цифры: в XVIII (*восемнадцатом*) веке вышло примерно 1,6 (*одна и шесть десятых*) млн. (*миллиона*) книжных изданий, в XIX (*девятнадцатом*) — 6,1 млн. (*шесть и одна десятая миллиона*), а XX (*двадцатый*) век подарит человечеству уже около 50 (*пятидесяти*) млн. (*миллионов*) новых книжных изданий. Сейчас во всём мире ежегодно появляется не менее 500 (*пятисот*) тысяч названий. За последние 20 (*двадцать*) лет число выпускаемых в мире книг удвоилось, а их общий тираж утроился; одновременно вдвое выросло число грамотных, читающих людей на планете.

(5) Правильно произносите дробные числительные:
(a) Число сотрудников Библиотеки им. В.И. Ленина достигает 3,5 тыс. (*трёх с половиной тысяч, или трёх и пяти десятых тысячи*) человек.
(b) Книжные фонды российских библиотек включают свыше 4,2 млрд. (*четырёх целых и двух десятых миллиарда*) книг и журналов.

[1] «более 4,5 млн. человек» の読み方は 2 通りあるが、単位に注意— более четырёх и пяти десятых миллиона человек, или более четырёх с половиной миллионов человек.
[2] «в 1918—21 гг.»の読み方は、*в тысяча девятьсот восемнадцатом – двадцать первом годах* となる。

♥ Склонение составных количественных числительных

Падежи	7495
И.	семь тысяч четыреста девяносто пять
Р.	семи тысяч четырёхсот девяноста пяти
Д.	семи тысячам четырёмстам девяноста пяти
В.	семь тысяч четыреста девяносто пять
Т.	семью тысячами четырьмястами девяноста пятью
П.	о семи тысячах четырёхстах девяноста пяти

♥ 単位に注意！

65,8 процента	65 процентов
12,5 килограмма	12 килограммов
17,2 центнера	17 центнеров
48,3 километра	42 километра
15,6 гектарра	151 гектар
14,1 секунды	14 секунд

あ と が き

ロシア語通訳者・エッセイストとして知られる米原万里さんに筆者は「ドジ」というあだ名を付けました。「ドッジ」とも呼びます。「ドジ」としたのは、彼女が「出来が良くないのに“同時通訳者です”といってお金貰うのヤダ」と言うので、筆者が、「じゃー、音引きせずに“ドジツウヤクシャです”といえばいい」とアドバイスしたのがきっかけです。いまでこそ八面六臂の活躍を見せてくれる彼女ですが、20年以上も前の、初々しいデビューを覚えています。

東京での「アジア交通運輸労組セミナー」に彼女を同時通訳初体験に引っぱり出したときのことです。仕事は、鉄道労組代表のペーパーを事前にロシア語に翻訳しておいて、そのスピーチに合わせて「同時読み上げ」するだけのことでしたが、発言者に合わせてロシア語文を読み始めた途端、頭混乱、心臓ドキドキの米原さんは「だめ、私やっぱり才能ない、こんなの向いてない」と言ってヘッドホンを放り出してしまいました。

とっさに筆者はマイクのスイッチを切って、「万里ちゃん、大丈夫だよ、分かるところをゆっくり伝えるだけでいいんだよ」とささやいて、ヘッドホンを付けてやり、ゆっくりマイクをスイッチオンしました。

同時通訳者・米原万里の誕生シーンでした。その時筆者は、「あっ、いつかきた道だ！」と感じました。駆け出しの時、緊張感から心臓が解剖学的に痛んだ昔を思い出したのです。通訳とは“CTPAX”と“CTPECC”を抱える仕事。しかも、通常目立たない場所にある同時通訳用ブース内でよりも、衆目の中で通訳をするほうが遙かに大きな心理的負担を負います。

聴衆にロシア語を知っている人がいればなおさらです。また、諸般の事情で通訳が旨くいかなかった場合は自己嫌悪に陥ります。が、どうかご安心を。全てごく普通の現象です。経験を積もうと、場慣れしようと、つきまとう心理現象です。特に、緊張を怖れることはありません。それはそのうち、集中力をもたらす要因へと好変化します。焦らずに待ちましょう。

さまざまな心理的プレッシャーを取り除くには、強いて言えば、まず、出来る枠内で準備をしっかりして本番に臨むこと。そして「誰もが間違いを犯すものであり、自分も例外ではない」との悟りを持ち、自虐はしないこと。また、通訳の場を、克服すべき「難所」ではなくて、「チャレンジ」として受け止めること。常に、御自身に、語りかけましょう、「はじめはアルファベットさえも知らなかったではないか」と。

「スプートニク」という単語だけしか知らずにモスクワに向かった筆者は、ロシア語を学び始めて数週間で深い挫折感を覚え、退学を真剣に考えていました。まさに、遠い坂の上の雲を追う感。いや、空を見上げることさえ出来ない心境でした。その後も、通訳が出来るようになるだろうと思ったことは一度たりともありませんでした。

大学卒業後、ソ連の新聞社の東京支局に職を得たときには、別の焦燥感が待ち受けていました。18歳でロシアに行くまでに住んでいた実家に電話がなかったので、電話での日本語会話が出来ないのです。ロシア人の支局長から用事を頼まれても、毎回20分ほど、電話機と睨めっこをしていました。逆説的ですが、「ロシア語でなら言えるのに！」とよく憤慨したものです。ようやく相手に電話をかけると、何をどう言うべきか全く要領を得ず、いらつかれました。ある場所に行くために、その所在地や道筋の説明を受けても良く分からない。「磁器」を「磁気」と露訳し、30分も経ってやっとそれが誤訳だったと気づいたこともありました。

そうした中で日本語を外国語として学ぶことに目覚めました。職業的な通訳を意識し始めてからは、さらに日本語とロシア語の双方を「外側から」見つめるようになり、研鑽を心がけました。「通訳は人の言うことをただ繰り返すだけのこと」と言う人もいますが、「それが過不足なく出来れば芸術だ」と実感できるようにもなりました。

一度も完璧な通訳ができたことはありませんでしたが、それでも、現場と理論のキャッチボールが重要との思いから、共著『ロシア語通訳読本』の一部と、月刊誌「現代ロシア語」への連載記事「通訳者のフィールドノート」を基に、大幅な加筆、書き下ろしを行い、本書を上梓しました。実践に役立ち、次世代による体系的な通訳コミュニケーション論への一通過ポイントにでもなればと思います。

どうか、みなさん、大志、希望とともに、もっと遠くへ！

最後に、私事ですが、私をロシア留学に放り出したことをいまだに後悔していない、こりない父母に本書を捧げることをお許しください。

徳 永 晴 美

【主な参考文献】

通訳・翻訳論

Бархударов Л.Д. Язык и перевод. М., 1975.

Бережков В. Как я стал переводчиком Сталина. М., 1993.

Брандес М.П., Провоморов В.И. Предпереводческий анализ текста. Курск. 1999.

Вишняков С.А. Русский язык как иностранный. М., 1998.

Власов С., Флорин С. Непереводимое в переводе. М., 1978.

Гак В.Г., Григорьев Б.В. Курс перевода. М., 1997.

Исследование речевого мышления в психолингвистике. под ред. Е.Ф. Тарасова. М., 1985.

Комиссаров В.Н. Общая теория перевода. М., 1999.

Комиссаров В.Н. Лингвистика перевода. М., 1980.

Лингвистические проблемы перевода. М., 1981.

Львовская З.Л. Теоретические проблемы перевода. М., 1985.

Лилова А. Введение в общую теорию перевода. М., 1985.

Лингвистические проблемы перевода. Сборник статей. М., 1981.

Миньяр-Белоручев Р.К. Как стать переводчиком? М., 1999.

Миньяр-Белоручев Р.К. Записи в последовательном переводе. М., 1996.

Миньяр-Белоручев Р.К. Последовательный перевод. М., 1969.

Миньяр-Белоручев Р.К. Пособие по устному переводу. М., 1969.

Найда Ю.К. К науке переводить // Вопросы теории перевода в зарубежной лингвистике. М., 1978.

Перевод как лингвистическая проблема (Сборник статей). Под отв. ред. Н. Грабовского. М., 1982.

Справочник участника международных научных конференций. Английский язык. М., 1985.

Ступин Л.П., Лапицкий А.Н. Английский язык на научных конференциях. Л., 1984.

Тетради переводчика. Научно-теоретический сборник. М., 1989.

Федоров А.В. Основы общей теории перевода. М., 1968.

Федоров А.В. Основы общей теории перевода. М., 1983.

Флорин С. Муки переводческие. М., 1983.

Чернов Г.В. Теория и практика синхронного перевода. М., 1978.

Чернов Г.В. English Основы синхронного перевода. М., 1987.

Черняховская Л.А. Перевод и смысловая структура. М., 1976.

Чужакин А., Палажченко П. Мир перевода. М.,1999.

Ширяев А.Ф. Синхронный перевод. М., 1979.

Японский язык. «Устный перевод на средних семестрах». М.,1995.

文法・テキストロジー・文体論・語順論・教授法・ビジネス

Акишина А.А., Формановская Н.И. Русский речевой этикет. М., 1982.

Аникина М.Н. Лексическое приложение для деловых людей. М., 1992.

Арутюнова Н.Д. К проблеме связности прозаического текста. М., 1971.

Былинский К.И. Язык газеты. М., 1996.

Вакуров В.Н., Кохтев Н.Н., Солганик Г.Я. Стилистика газетных жанров. 1978.

Ванников Ю.В. Синтаксис речи и синтаксические особенности русской речи. М., 1978.

Васильева А.Н. Основы культуры речи. М., 1990.

Вейзе А.А. Реферирование текста. Минск. 1978.

Венедиктова В.И. О деловой этике и этикете. М., 1994.

Войскунский А. Я говорю, мы говорим... М., 1982.

Волгин Б. Помогите телефону. М., 1983.

Гапочка И.К. Пособие по обучению чтению. М., 1978.

Гапочка И.К. Пособие по обучению чтению. Изучающее чтение, М., 1989.

Гвишиани Н.Б. Язык научного общения / Вопросы методологии. М., 1986.

Загорская А. Большой англо-русский словарь по бизнесу. М. 1997.

Зарубина Н.Д. Методика обучения связной речи. М., 1978.

Зарубина Н.Д. Текст: лингвистический и методический аспекты, М., 1981.

Жданова И.Ф. Деловой русский. М., 1992.

Иванова-Лукьянова Г.Н. Культура устной речи. Интонация, паузироваание, логическое ударение, темп, ритм. М., 2000.

Иностранный язык в сфере научного общения. Лингвистические проблемы. Под отв. ред. Цвилинга М.Я. М., 1986.

Казарцева О.М., Вишнякова О.В. Письменная речь: Учеб.

пособие для учащихся 10—11 классов и абитуриентов. М., 1998.

Колтунова М.В. Язык и деловое общение. Нормы, Риторика, Этикет. М., 2000.

Колшанский Г.В. Контекстная семантика. М., 1980.

Кохтев Н.Н., Розенталь Д. Э. Популярная стилистика русского языка. М., 1984.

Коцарь Э.Б., Марусанова В.Е. Пособие по обучению чтению и развитию навыков профессиональной научной речи для аспирантов. М., 1986.

Крылова О.А., Хавронина С.А. Порядок слов в русском языке. М., 1986.

Лариохина Н.М. Вопросы синтаксиса научного стиля речи. М., 1979.

Лосева Л.М. Как строится текст. М., 1980.

Митрофанова О.Д. Научный стиль речи: проблемы обучения. 1985.

Мицич П. Как проводить деловые беседы. М., 1983.

Мотовилова О.Г. Пособие по развитию навыков разговорной речи для иностранцев. М., 1986.

Мучник Б.С. Человек и текст. М., 1985.

Мучник Б.С. Культура письменной речи. М., 1996.

Норман Б.Ю. Язык: знакомый незнакомец. М., 1987.

Павлова В.П. Обучение конспектированию.1978.

«Пособие по развитию навыков монологической речи». М., 1977.

«Практическое пособие по развитию навыков письменной речи». М., 1983.

Прияткина А.Ф., Шереметьева Е.С. Что такое хорошая речь. Владивосток. 1999.

Психолингвистическая и лингвистическая природа текста и особенности его восприятия. Под ред. проф. Жлуктенко Ю. и проф. Леонтьева А. Киев. 1979.

Реферовская Е.А. Лингвистические исследования структуры текста. М., 1983.

Реферовская Е.А. Коммуникативная структура текста. Л., 1989.

Родимкина А., Райли З., Ландсман Н. Россия сегодня. Санкт-Петербург. 1999.

Рожкова И.М. и др. Культура устной и письменной речи делового человека: Справочник. М., 2000.

Розенталь Д.Э. А как лучше сказать? М., 1988.

Розенталь Д.Э. Теленкова М.А. Практическая стилистика русского языка. М., 1976.

Русский язык для научных работников-иностранцев. М., 1985.

Русско-английский разговорник по внешнеэкономическим связям. М., 1984.

Русский язык за рубежом. 1975. № 6.

Солганик Г.Я. Стилистика текста. М., 2000.

Славгорлская Л.В. Научный диалог. М., 1986.

Современный русский язык. Под ред. Розенталя Д.Э. часть 2. М., 1979.

Сорокина-Ранеева Л.Г. Обучение чтению и развитие навыков устной и письменной речи. М., 1987.

Сорокин Ю.А. Психолингвистические аспекты изучения текста. М.,
1985.

Стилистика русского языка. Жанрово-коммуникативный аспект стилистики текста. Под отв. ред. Кожина А.М., 1987.

Успенский Л.В. Культура речи. М., 1976.

Шелякин М.А. Справочник по русской грамматике. М., 1993.

Языковая системность при коммуникативном обучении. М., 1988.

日本・日本人論

菊次厚子・徳永晴美　総監修、ロシア語版『日本案内』新版、ロシア語通訳協会、1999.

Волгин Н.А. Японский опыт. М., 1998.

Дунаев В. Японцы в Японии. М., 1977.

Ефимов М.Б. Японские вертикали. М., 1987.

Завьялова О.И. Токио и токийцы. М., 1990.

Искендеров А.А. Тоётоми Хидэёси. М., 1984.

Кирквуд К. Ренессанс в Японии. М., 1988.

Конрад Н.И. Очерк истории культуры средневековой Японии. М., 1980.

Кузнецов Ю. и др. История Японии. М., 1988.

Мараини Ф. Япония. Образы и традиции. М., 1980.

Меклер Г.К. Хоккайдо. М., 1986.

Навалицкая Г.Б. Осака. М., 1983.; Нагасаки. М., 1979.

Натаров В. Записки япономена. М., 1999.
Овчинников В.В. Ветка сакуры. Изд. 2-е, доп. М., 1975.
Пронников В.А., Ладанов И. Д. Японцы. М., 1983.
Тавровский Ю. Загадки «японского духа». М., 1989.
Тавровский Ю. Двухэтажная Япония. М., 1989.
Федоренко Н. Японские записи. М., 1974.
Япония. Ежегодник 1998—1999. М., 1999.

[著者略歴]
徳永晴美（とくなが　はるみ）
1947年生まれ。1965年福岡県立戸畑高等学校卒業後、モスクワ・ルムンバ大学歴史・文学部に入学。1970年同学部を修士号（MAP）取得で終了帰国後フリーの会議通訳者に。1978年・1986年モスクワ大学に短期留学。新聞トルード東京支局、ノーボスチ通信社東京支局勤務を経て1990年から朝日新聞東京本社外報部記者。1992年5月から1995年9月まで同紙モスクワ特派員。現在同本社外報部記者兼総合研究センター主任研究員、上智大学講師を兼ねる。
1980年から1991年まで（および2000年より）ロシア語通訳協会会長。1983年から1991年までNHK教育TVのロシア語担当講師。1988年から1990年まで通訳ガイド国家試験・ロシア語試験委員会主任。
露語学位論文「チェーホフのドラマトゥルギー」、著書「ロシア語通訳読本」（共著）。最近の論文「チェチェン紛争検証」、「カスピ海石油巡る米ロの角逐」（朝日総研リポート、1999—2000年）、「旧ソ連」（朝日年鑑　1999）、など。

ロシア語通訳コミュニケーション教本
— 会話からスピーチ・交渉へ —

2001年5月25日　初版発行　　定価　本体2,800円（税別）

著　者　徳永晴美
発行者　佐藤　晃
発行所　ナウカ株式会社
東京都千代田区神田神保町2-12-3
電話 (03) 3264-0021
組　版　大谷　篤
印刷所　㈱平河工業社

ISBN4-88846-047-7
Printed in Japan